



2014年度 事業報告書 決算報告書

1月通常総会資料

事業年度 自 2014年 1月 4日
至 2014年 12月 31日

公益社団法人 長井青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humankind is the best
work of life

[邦訳]

我々はかく信じる

人生に意味と目的を与えてくれるのが信仰です

人類の同胞愛は、国家の主権すら超えたものであります

経済の正しい発展は、自由経済社会によって、最もよく成し遂げられます

政府の運営は、人によって左右されず、法によってなされるべきであります

この世の本当の宝は、人間の個性であります

人生最善の仕事とは、人類への奉仕であります

わたしたちは、以上の事を信じます

JC宣言

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り開き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと調和する確かな時代を築くために

率先して行動する事を宣言する

綱 領

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうするもの 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

社団法人長井青年会議所は1966年、長井の未来を拓く青年経済人が集い、県内4番目の青年会議所として創立されました。以来45年にわたり先輩諸兄から脈々と受け継がれた地域を愛する精神と、若さあふれる発想を持って地域社会の発展のためまちづくり運動を展開してまいりました。今年度、ひとつの節目を迎えるにあたり今まで以上に地域社会から必要とされる存在であり続けるために、活動の道しるべとなる今後5年間の運動指針を提言します。

公益社団法人長井青年会議所 運動指針 2010年～2014年

確かな地域連携社会の実現へ
～共に手を取り合うところ豊かな地域の創造～

【まちづくり】

人と人との交流の輪を広げることが、地域全体を巻き込んだ活性化とまちづくりに対する意識の向上に繋がります。我々青年会議所が主導的に地域の抱える問題をしっかりと認識し課題解決に取り組み、その地域が持つ様々な資源を最大限に引き出し活用することで、その地に暮らす人たちの愛郷心を育み、更なるまちづくりに対する参画を促し、ところ豊かに暮らせるまちの醸成に努めます。

【ひとづくり】

多種多様な個のちからを集積、融合することは様々な問題に挑戦できる「つよさ」となります。輝く地域の未来を創造する経験と学びの中から個のちからも高まり、混沌とした現状を打開出来る勇気が生まれます。地域社会の問題を解決する手法を見出し、地域資源の保全と価値を提供できる人材の育成を行います。

【ところづくり】

地域の未来を担う子供たちがところ豊かに成長するために、地域社会と家庭、学校が三位一体となり、それぞれが常に問題意識をもって、学びの機会を創出していく事が大切であると考えます。地域社会の豊富な教育資源を効果的に結びつけ活用するコーディネート機能を担いながら地域教育を更に実践して参ります。

2014年度スローガン

<公益社団法人 日本青年会議所 2014年度 スローガン>

取り戻せ、日本の矜持を！

<公益社団法人 日本青年会議所 2014年度 東北地区協議会 スローガン>

結の精神が満ちあふれる

自立した新東北の実現

<公益社団法人 日本青年会議所 2014年度 東北地区山形ブロック協議会 スローガン>

JAYCEEとしての矜持を持とう

明るく活力に満ちた「やまがた」の実現

<社団法人 長井青年会議所 2014年度 スローガン>

己を磨き行動！

～真の知を持ち 輝く地域のリーダーとなれ～



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第49代理事長 齋 藤 繁 喜

「己を磨き行動！真の知を持ち輝く地域のリーダーとなれ」のスローガンのもと2014年度の長井青年会議所がスタートし、早一年。今年度、基本理念として掲げた「知行合一」。この基本理念は、私が長井青年会議所のリーダーとして実践する事の大切さをメンバーの皆様にも自らが実践を通してお伝えしたいという想いから掲げたものであります。大きくて包容力のある、そして優しさと強さが感じられるようなリーダーとしてのあるべき姿を目指し、全身全霊で一年間実践して参りました。しかしながら、本当にメンバーの皆様のも範となれたのかどうか、100%やり遂げられたのかを自問自答すれば、まだまだやり残した事があるのが事実であります。「奉仕」「修練」「友情」の三信条のもと、JAYCEEとして常に前を向き、手を取り合い、魂を焦がしながら共に活動し、全力でご支援とご協力を下さいました同志の皆様にも心より感謝と御礼を申し上げます。

長井青年会議所の主な事業である「みんなで灯そう夢灯」、「ながい寺子屋」の両継続事業は、地域に求められる事業として定着し、多くの外部協力者のご支援とご協力のもと、より進化した形で実施する事が出来たと実感しております。また、様々なLOM事業が実施される中で、本年はJCI ASPAC山形大会副主管としての支援、東北青年フォーラムin湊町酒田への支援、そして、我々長井青年会議所として15年ぶりの第47回山形ブロック大会長井大会の主管と山形が各地から注目された一年でございました。山形ブロック大会長井大会の開催は、我々長井青年会議所メンバーの絆を深め、士気を高める事ができた本当に貴重な経験をさせて頂きました。山形ブロック協議会長谷川海秀会長をはじめとするブロック協議会役員の皆様、佐藤大輔副会長、星川務委員長をはじめとするブロック大会運営委員会の皆様にも心より感謝申し上げます。

昨年に引き続き、必死に取り組んだ会員拡大。拡大の先頭に立つ理事長として、結果が出せず大変申し訳ございませんでした。世の中の全ての事柄がそうであるように、すぐに結果が出るという事はなく地道な歩みが実り、必ずやいつか花開くのだと思っています。

次年度は、山形ブロック協議会に副会長として鈴木喜典君が向出されます。鈴木副会長のもと、長井青年会議所の拡大運動が注目される一年になります。来年は、直前理事長という立場で拡大運動をはじめ、長井青年会議所の運動がより一層地域に求められるものとなるよう精一杯努めて参ります事をお誓い申し上げます。

一年間、本当に幸せでした。大好きな皆様と共に運動が出来たことを誇りに思います。

本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 椎 名 恭 一

今年度ひとつづくり委員会担当副理事長として青少年教育に携わることができ、心から感謝申し上げます。また、小関委員長を先頭に委員会メンバーがそれぞれの役割を担い、共に事業を展開できた事大変嬉しく楽しい時間でありました。

昨年からの継続事業となる「ながい寺子屋」を夏と秋の2回に分けて開催させていただくことができました。心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となる「食育」をテーマにし、子ども達の主体性や自主性を育むことができるような様々なプログラムを実施させていただきました。

また、長井市教育委員会様、長井市PTA連合会様、長井市まちづくり青少年育成市民会議様との共催により開催しました地域教育力向上計画においては、子どもたちのネット利用の現状と大人の認識とは乖離があることを意識づけてきた内容を認識できた内容でありました。大人を対象にした講演会でしたが、是非子ども達にも聞かせたいという要望が多くあり、生徒向けに講演会をする運びとなり地域への広がりにつながった素晴らしい事業でありました。

子ども達のたくましい生きる力を育むために、学校や地域と連携して、今我々ができることは何かを考え会員の意識変革と自己研鑽を重ねた活動を次年度以降も継続して下さるようお願い申し上げます。また、子ども達の誇れる未来の為、地域の自然、歴史、文化を生かした感動体験「ながい寺子屋」が、この地域に根ざした活動となることを楽しみにしています。責任世代として皆様と共に活動できたことに心から感謝申し上げ、今後益々のご活躍をご祈念申し上げ所感といたします。

所 感

副理事長 井 上 典 嗣

今年度、副理事長としての一年間を振り返りまして、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。影山委員長を筆頭にまちづくり委員会メンバーの皆様には、それぞれの役割を全ういただくことで、私を支えてくださり本当に感謝しております。また、積極的に私達に手を差し伸べてくださった齋藤理事長にも本当に感謝しております。まちづくり委員会の事業を全うできたのは皆様のご協力のお陰であります。誠にありがとうございました。

今年度は、メイン事業である夢灯や山形ブロック大会長井大会、OMOIYARIプロジェクト等の事業が同時期の開催となり、委員会メンバーには負担をかけてしまいましたが、しっかりと役割を分担しそれぞれがこなしていけば、スムーズな運営ができることを実感しました。しかし私が至らないことで皆様にご迷惑をかけることも多く、大変申し訳なく思っておりますし今後の課題であります。

この一年間には多くの気づきと学びがありましたし、充実感と多くの課題も見つかりました。それらをしっかりと活かし自身の成長に繋げ、さらにJC運動に邁進して参りたいと思います。齋藤理事長をはじめ、長井青年会議所メンバーの皆様にご協力いただきました事に心から感謝申し上げ所感とさせていただきます。本当にありがとうございました。

所 感

専務理事 佐 藤 真 光

2014年度の専務理事を任せられてからのこの1年、これまで長井青年会議所に所属してきた中でも大変濃密な1年を過ごしたような気がしております。様々な事業や経験を通じ、そのすべてが自分の成長の糧となったと本当に感じているところです。

責任を全うするにどういった担いを自分なりに熟していったのかと考えさせられる2014年度のJC活動。また、京都會議から始まり、ASPAC山形大会、サマーコンファレンス、愛媛松山での全国大会、多くの各種大会へ参加させていただいたこと。主管として取り組んだブロック大会。組織の下支えとしての様々な担い。齋藤理事長の女房役。その一つひとつの担いが、真の知を会得できるような環境に浸してくれたように感じます。まだまだ至らなかったところも多く、ご迷惑もお掛けしましたが、様々な担いを与えてくれましたすべての縁ある方々、本当に感謝申し上げます。

時には、事務方の責任者として時に厳しい意見言動もあったかと思えます。自分でもやりすぎる感や至る所に棘があったと感じており、反省するところです。それをやんわりとフォローしていただいた齋藤理事長はじめ多くのメンバーの方々、大変ありがとうございました。

そして、事務・総務・財務の3つの職務を任せられた事務局チーム。経験豊富な小関事務局長をはじめ補佐の方々、一人で幅広い総務を務め上げた齋藤総務局長、年会費削減の最少予算を構築してくれた平財務局長、大変お世話になりました。それぞれの経験で培ったものを今後の活躍の活力としていただければと願うところです。

最後に、充実した時間を過ごせることは大変ありがたいことです。その充実感は多くの仲間と一緒に何かを必死にやり遂げるからこそ、その実感が湧くのだと私は思っています。これからもその実感を望み、多くの仲間と共にJCライフを過ごせたならと思います。一年間ありがとうございました。

所 感

未来創造会議 議長 遠 藤 浩 樹

昨年に引き続き、未来創造会議を担当させて頂きました。今年で2年目ですので昨年の反省を踏まえつつ、会員拡大、JCアカデミーをより発展させる事業組立でありました。

会員拡大について振り返ってみますと、3月入会説明会、10月異業種交流会として2回行いました。3月は、山形ブロック協議会会長、長谷川海舟君、10月は、酒田青年会議所OB、阿部敦君の講演会を開くことが出来ました。会員拡大は会員拡大強化月間として様々な人とともに新入会員候補者の方にお話しをして参りました。そして、合わせて20名も来ていただきました。しかし、直接入会していただけなかった事が、更に試行錯誤するべき、来年への課題であると思えます。

JCアカデミーについても2回行いました。4月では、過去の事業紹介と山口直人先輩をお呼びしての講演会、11月は、船山裕紀君からばくらの文楽の事業説明、KJ法などをういグループディスカッションをしました。1回目は、山口先輩の講演では、さまざまなJCの役職を通して、後輩に伝えたいことを話していただきました。2回目は、参

加者が少なく呼びかけ、熱い思いが伝わらなかったと思い反省すべき点だと思えます。

総括としては、準備は万端にしておりましたが、当日に予定の変更などもあり対応力が問われる一年だったと思います。来年度も引き続き、未来創造会議ですので今年の経験を活かしつつ、しっかりと運動をして参ります。副議長の樋口和哉君、梅津壮一郎君、御支えいただきありがとうございます。1年間ありがとうございました。

所 感

ブロック大会実行委員会 実行委員長 鈴木喜典

長井青年会議所にとって創立以来3度目のブロック大会、第47回山形ブロック大会を開催地主管させていただき、県民、県内会員会議所メンバー、長井JCOB、山形ブロック協議会、そして参加いただいた来場者の方々に心からの感謝を申し上げます。

一昨年度吉田理事長が開催地として立候補し、昨年度寒河江大会時に樋口運営委員長を輩出して十分知識と経験を経てのスタートとなり、準備万端で計画を練ろうと検討を重ねましたが開催地主管は初めてということで当初は手探り状態の準備となりました。1月は例年主管にて考えるスローガン、シンボルマークの検討から始まりましたがシンボルマークの存在、主管検討事項の賛否を巡り運営委員会と検討を重ね主管LOMにて審議せず共同で作るという方法で作成しシンボルマークは例年使用できるような形に仕上げました。そしてPRキャラバン、多くのメンバーに遠方まで足を運んでいただき県内各LOMへ大会のPRに参りました。当初県内メンバーが大会への参加は当然であるからPRは不必要でその労力を外部広報に回すべきだと考えておりましたがこれも各LOMメンバーへ参加を促すのではなく大会の意義を浸透させる目的で実施しました。このPRも次年度検討案件であると考えます。大会内容に関しては運営委員会と熟考を重ね1日開催でセミナーの裏でたからいちを開催することに決定。式典以外の各委員会主催のセミナーの内容はブロック各委員会バラバラで統一した目的がありませんでした。そこで私が自ら各委員会と調整し支援して参りました。この役目は副会長か運営委員長が担うものですが主管から輩出していない分そういった動きが難しく今後は主管から担当副会長を輩出していただき実行委員長も兼ねられればスムーズにブロック側へ主管の考えが伝わると考えます。次年度は主管実行委員長が役員会へ参加する流れになりましたのでこれも進化への第一歩ではないでしょうか。

主管検討事項は大会全体と懇親会の設営です。全体は樋口副実行委員長を中心に動いていただき各ファクションの対象者を明確に絞りそこに向けた広報を実施しました。ブロック側で輩出出来ない予算を主管は出すことで例年より予算は多くなりましたが長井JCOB会のご支援、基金取り崩しなどで何とかやり繰りし実施しました。当日は想定した参加者数には満たない結果でしたが天気にも恵まれ参加者には楽しんで頂けたと思います。懇親会は各部会長を中心に様々な設えを考えていただき成功しましたが各所で不備がありご迷惑をお掛けする結果になりました。LOM内で多くの事業を抱える中での開催で準備不足の点もあり反省しなければならぬと思います。その他、長井おどりパレードへの参加や地域内外の方が交流できる場面もあり多くの価値を提供できた機会もあり参加者には大変喜んでいただきました。

10年に一度のブロック大会開催の場面で重要なお役を務めさせていただきありがとうございます。反省点、検討点も次年度以降の大会へ引き継ぎ、より良いブロック大会になりますよう支援していきたくと考えます。一年間誠にありがとうございました。

【2014年度 常任理事会・理事会 出席状況】

役職名	理事	第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		2015年第1回		
		臨時	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任	理事	常任														
理事	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
直前理事	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監事		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副理事	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副理事	◆	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専務理事	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未来創造会議議長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未来創造会議議長	◆	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未来創造会議議長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひとづくり委員会委員長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちづくり委員会委員長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務局 局長	◆	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務局 局長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財務局 局長	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務局 補佐		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務局 補佐		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務局 補佐		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひとづくり委員会 副委員長		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちづくり委員会 副委員長		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【理事・役員会報告】

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第1回 理事役員予定者 会議	2013.9.24 19:00~ J C ルーム	<p>討議事項</p> <p>(1) 理事長所信 (案) について (事務局)</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 2013年度 基本理念・基本方針・重点事業 (案) について</p> <p>(2) 2013年度 職務分掌 (案) について</p> <p>(3) 2014年度 組織図 (案) について</p> <p>(4) 2014年基本運営 (案) について</p>	13
第2回 理事役員予定者 会議	2013.10.15 19:00~ J C ルーム	<p>協議事項</p> <p>(1) 2014年度 基本理念・基本方針・重点事業 (案) について</p> <p>(2) 2014年度 職務分掌 (案) について</p> <p>(3) 2014年度 組織図 (案) について</p> <p>2014年度 理事候補者 (案)</p> <p>(4) 2014年度 基本運営 (案) について</p> <p>(5) 2014年度 基本計画 (案) について</p> <p>(6) 2014年度 公式スケジュール (案) について</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 2014年度 基本理念・基本方針・重点事業 (案) について</p> <p>(2) 2014年度 職務分掌 (案) について</p> <p>(3) 2014年度 組織図 (案) について</p> <p>2014年度 理事候補者 (案)</p> <p>(4) 2014年度 基本運営 (案) について</p>	13
第3回 理事役員予定者 会議	2013.10.30 19:00~ J C ルーム	<p>討議事項</p> <p>(1) 基本運営について</p> <p>協議事項</p> <p>(1) 2014年度 基本計画 (案) について</p> <p>(2) 新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>(3) ホームページ管理について (総務局)</p> <p>(4) 2014年度 当初予算 (案) について</p> <p>(5) 2014年度 公式スケジュール (案) について</p> <p>(6) 2014年度 スローガン (案) について</p>	12
第4回 理事役員予定者 会議	2013.11.25 19:00~ J C ルーム	<p>協議事項</p> <p>(1) 2014年度 基本計画 (案) について</p> <p>(2) 新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>(3) ホームページ管理について (総務局)</p> <p>(4) 地域防災セミナーについて (まちづくり委員会)</p> <p>(5) 2014年度 当初予算 (案) について</p> <p>(6) 2014年度 公式スケジュール (案) について</p> <p>(7) 2014年度 スローガン (案) について</p> <p>(8) まちづくり基金助成交付申請書について (まちづくり委員会)</p> <p>(9) 子どもゆめ基金助成交付申請書について (ひとづくり委員会)</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 2014年度 基本計画 (案) について</p> <p>(2) 新春賀詞交歓会について (事務局)</p> <p>(3) ホームページ管理について (総務局)</p> <p>(4) 地域防災セミナーについて (まちづくり委員会)</p> <p>(5) 2014年度 当初予算 (案) について</p> <p>(6) 2014年度 公式スケジュール (案) について</p> <p>(7) 2014年度 スローガン (案) について</p> <p>(8) 子どもゆめ基金助成交付申請書について (ひとづくり委員会)</p>	10
臨時理事役員会議	2014.1.31 19:45~ タスパークホテル アゼリア	<p>協議事項</p> <p>(1) 2014年度理事長選定の件について</p> <p>(2) 2014年度副理事長及び専務理事選定の件について</p> <p>(3) 2014年度理事職 (案) について</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 2014年度理事長選定の件について</p> <p>(2) 2014年度副理事長及び専務理事選定の件について</p> <p>(3) 2014年度理事職(案)について</p>	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第2回理事会	2014.2.6 19:00~ J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 長井JCアカデミーについて(未来創造会議) (2) 会員拡大について(未来創造会議) (3) ながい寺子屋1(5月)について(ひとづくり委員会) (4) ながい寺子屋2(8月)について(ひとづくり委員会) (5) 『みんなで灯そう 夢灯』について(まちづくり委員会) (6) 地域防災セミナー変更事業計画について(まちづくり委員会) (7) 公益社団法人長井青年会議所公式スケジュール変更について(事務局) (8) 2014年度2月補正予算(案)について(財政局) (9) 山形ブロック大会 長井大会 主管文について(事務局) <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 会員拡大について(未来創造会議) (2) 地域防災セミナー変更事業計画について(まちづくり委員会) (3) 公益社団法人長井青年会議所公式スケジュール変更について(事務局) (4) 2014年度2月補正予算(案)について(財政局) (5) 山形ブロック大会 長井大会 主管文について(事務局) 	12
第3回理事会	2014.3.6 19:00~ J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会予算額変更について(未来創造会議) (2) 長井JCアカデミーについて(未来創造会議) (3) 会員拡大(勧誘資料)について(未来創造会議) (4) 竹田政貴君入会(仮会員)再承認について(未来創造会議) (5) 飯沢喜治君入会(仮会員)承認について(未来創造会議) (6) 第23回JC杯中学野球大会(春季)について(ひとづくり委員会) (7) 委員会予算額変更について(まちづくり委員会) (8) みんなで灯そう夢灯について(まちづくり委員会) (9) 広報誌「あゆみ」について(総務局) <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会予算額変更について(未来創造会議) (2) 会員拡大(勧誘資料)について(未来創造会議) (3) 竹田政貴君入会(仮会員)再承認について(未来創造会議) (4) 飯沢喜治君入会(仮会員)承認について(未来創造会議) (5) 第23回JC杯中学野球大会(春季)(日程、会場)について(ひとづくり委員会) (6) 委員会予算額変更について(まちづくり委員会) (7) みんなで灯そう夢灯(日時、場所、協力依頼文章)について(まちづくり委員会) 	13
第4回理事会	2014.4.3 19:00~ J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会内予算額変更について(未来創造会議) (2) 長井JCアカデミーについて(未来創造会議) (3) 飯澤栄人君入会(仮会員)承認について(未来創造会議) (4) 河合直仁君入会(仮会員)承認について(未来創造会議) (5) 中川一聖君入会(仮会員)承認について(未来創造会議) (6) 委員会予算額変更について(ブロック大会実行委員会) (7) 第47回山形ブロック大会 長井大会(仮称)決起会日程変更について(ブロック大会実行委員会) (8) 第47回山形ブロック大会 長井大会(仮称)決起会について(ブロック大会実行委員会) (9) 第47回山形ブロック大会長井大会について(ブロック大会実行委員会) (10) 第47回山形ブロック大会長井大会大懇親会について(ブロック大会実行委員会) (11) 委員会予算額変更について(ひとづくり委員会) (12) 第23回JC杯中学野球大会(春季)について(ひとづくり委員会) (13) 地域教育力向上計画について(ひとづくり委員会) (14) フラワーボランティアについて(まちづくり委員会) (15) 長井駅周辺整備事業について(まちづくり委員会) (16) みんなで灯そう夢灯について(まちづくり委員会) (17) 新春賀詞交歓会変更事業計画及び補正事業予算書について(事務局) (18) 新春賀詞交歓会事業報告決算書について(事務局) (19) 理事役員平宗正君の役員辞任について (20) 広報誌「あゆみ」について(総務局) <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会内予算額変更について(未来創造会議) (2) 長井JCアカデミーについて(未来創造会議) 	10

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		(3) 飯澤栄人君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (4) 河合直仁君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (5) 中川一聖君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (6) 委員会予算額変更についてについて（ブロック大会実行委員会） (7) 第47回山形ブロック大会 長井大会（仮称）決起会日程変更について（ブロック大会実行委員会） (8) 委員会予算額変更について（ひとづくり委員会） (9) 第23回JC杯中学野球大会（春季）について（ひとづくり委員会） (10) 地域教育力向上計画(事業名・開催日程)について（ひとづくり委員会） (11) みんなで灯そう夢灯（各依頼承諾書、企業協賛）について（まちづくり委員会） (12) 新春賀詞交歓会変更事業計画及び補正事業予算書について（事務局） (13) 新春賀詞交歓会事業報告決算書について（事務局） (14) 理事役員平宗正君の役員辞任について	
第5回理事会	2014.5.1 19:00~ J C ルーム	協議事項 (1) 委員会内予算額変更について（ブロック大会実行委員会） (2) 第47回山形ブロック大会長井大会決起大会について (3) 第47回山形ブロック大会長井大会について (4) 山形ブロック大会大懇親会について (5) 委員会予算額変更について（ひとづくり委員会） (6) 地域教育力向上計画について（ひとづくり委員会） (7) ながい寺子屋について (8) 委員会内予算額変更について (9) 長井駅周辺整備事業について (10) ふるさとOMO I Y A R I プロジェクト I Nながいについて (11) みんなで灯そう夢灯について (12) 地域防災セミナー補正予算について (13) 地域防災セミナー事業報告について (14) 委員会内事業予算変更について (15) ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパンナイトブース出展メニューについて (16) 広報誌「あゆみ」について 審議事項 (1) 委員会内予算変更について（ブロック大会実行委員会） (2) 第47回山形ブロック大会長井大会決起会について（ブロック大会実行委員会） (3) 第47回山形ブロック大会長井大会（対外依頼文章）について（ブロック大会実行委員会） (4) 第47回山形ブロック大会会員大懇親会（案内文章）について（ブロック大会実行委員会） (5) 委員会予算額変更について（ひとづくり委員会） (6) 地域教育力向上計画（アンケート、講演会講師・会場、共催等依頼文書）について（ひとづくり委員会） (7) ながい寺子屋（日程、会場）について（ひとづくり委員会） (8) 委員会内予算額変更について（まちづくり委員会） (9) 長井駅周辺整備事業について（まちづくり委員会） (10) ふるさとOMO I Y A R I プロジェクト I Nながいについて（まちづくり委員会） (11) みんなで灯そう夢灯について（まちづくり委員会） (12) 地域防災セミナー補正予算について（まちづくり委員会） (13) 委員会内事業予算変更について（事務局） (14) ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパンナイトブース出展メニューについて（事務局）	11
5月8日 臨時理事会	2014.5.8 20:30~ J C ルーム	(1) みんなで灯そう夢灯について（まちづくり委員会）	12
第6回理事会	2014.6.2 21:00~ J C ルーム	討議事項 (1) 地域教育力向上計画（講演会広報等）について (2) 地域活性化事業「夢灯」について（まちづくり委員会） 協議事項 (1) 飯沢喜治君入会（正会員）承認について (2) ブック大会実行委員会内予算額変更について (3) ブロック大会長井大会について (4) ブロック大会長井大会大懇親会について (5) ながい寺子屋について (6) 地域防災セミナー事業決算報告について (7) 広報誌「あゆみ」について	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		審議事項 (1) 飯沢喜治君入会（正会員）承認について (2) ブロック大会実行委員会内予算額変更について (3) ブロック大会長井大会について (4) ブロック大会長井大会大懇親会(外部案内)について (5) ながい寺子屋（広報、後援等依頼文書）について (7) 地域防災セミナー事業決算報告について (8) 広報誌「あゆみ」について	
第7回理事会	2014.7.1 20:30~ 商工会議所研修室 (タス内)	協議事項 (1) 川合直仁君正会員承認について（未来創造会議） (2) 中川一聖君正会員承認について（未来創造会議） (3) 飯澤栄人君正会員承認について（未来創造会議） (4) 委員会内事業予算変更について（ブロック大会実行委員会） (5) ブロック大会長井大会修正事業計画書について （ブロック大会実行委員会） (6) ブロック大会会員大懇親会について（ブロック大会実行委員会） (7) 委員会内事業予算変更について（ひとづくり委員会） (8) J C杯中学野球大会補正予算について（ひとづくり委員会） (9) J C杯中学野球大会事業報告について（ひとづくり委員会） (10) ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） (11) 地域教育力向上計画について（ひとづくり委員会） (12) 納涼パーティーについて（まちづくり委員会） (13) 8月通常総会について（総務局） 審議事項 (1) 川合直仁君正会員承認について（未来創造会議） (2) 中川一聖君正会員承認について（未来創造会議） (3) 飯澤栄人君正会員承認について（未来創造会議） (4) 委員会内事業予算変更について（ブロック大会実行委員会） (5) ブロック大会長井大会修正事業計画書について （ブロック大会実行委員会） (6) ブロック大会会員大懇親会について（ブロック大会実行委員会） (7) 委員会内事業予算変更について（ひとづくり委員会） (8) J C杯中学野球大会補正予算について（ひとづくり委員会） (9) J C杯中学野球大会事業報告について（ひとづくり委員会） (10) ながい寺子屋（夏プログラム事業計画・予算、秋プログラム日程・会場）について（ひとづくり委員会） (11) 地域教育力向上計画（講演会事前案内告知）について（ひとづくり委員会） (12) 納涼パーティー（日時、場所）について（まちづくり委員会） (13) 8月通常総会について（総務局）	12
第8回理事会	2014.7.3日 19:00~ J C ルーム	討議事項 (1) 第23回J C杯中学野球大会（秋季一年生の部）の日程について （ひとづくり委員会） 協議事項 (1) 船山裕紀君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (2) 第47回山形ブロック大会 長井大会決起会事業報告（案）について（ブロック大会実行委員会） (3) ブロック大会実行委員会委員会内予算変更について （ブロック大会実行委員会） (4) 第47回山形ブロック大会長井大会補正事業予算書（案）について （ブロック大会実行委員会） (5) 第47回山形ブロック大会長井大会事業報告書（案）について （ブロック大会実行委員会） (6) 第47回山形ブロック大会長井大会大懇親会補正事業予算書（案） について（ブロック大会実行委員会） (7) 第47回山形ブロック大会長井大会大懇親会事業報告書（案）につ いて（ブロック大会実行委員会） (8) ながい寺子屋変更事業計画について（ひとづくり委員会） (9) 地域教育力向上計画について（ひとづくり委員会） (10) 納涼パーティーについて（まちづくり委員会） (11) アワード申請資料について（事務局） (12) 東北青年フォーラムブース出店について（事務局） (13) 次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） (14) 2014年8月補正予算（案）について（財政局） (15) 2015年度理事長候補者選出（案）について（次年度選考委員会） (16) 2015年度理事候補者選出（案）について（次年度選考委員会） (17) 監事板垣洋一君辞任承認の件（事務局）	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		審議事項 (1) 船山裕紀君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (2) 第47回山形ブロック大会長井大会決起会報告書（案）について（ブロック大会実行委員会） (3) ブロック大会実行委員会委員会内予算変更について（ブロック大会実行委員会） (4) ながい寺子屋変更事業計画について（ひとづくり委員会） (5) 地域教育力向上計画について（ひとづくり委員会） (6) 納涼パーティーについて（まちづくり委員会） (7) アワード申請資料について（事務局） (8) 東北青年フォーラムブース出店について（事務局） (9) 次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） (10) 2014年8月補正予算（案）について（財政局） (11) 2015年度理事長候補者選出（案）について（次年度選考委員会） (12) 2015年度理事候補者選出（案）について（次年度選考委員会） (13) 監事板垣洋一君辞任承認の件（事務局）	
第9回理事会	2014.9.4 19:00~ J C ルーム	協議事項 (1) 山口康幸君入会（仮会員）承認について（未来創造会議） (2) 委員会予算変更（JCアカデミー）について（未来創造会議） (3) 第2回入会説明会について（未来創造会議） 審議事項 (1) 山口康幸君入会（仮会員）再承認について（未来創造会議） (2) 委員会予算変更（JCアカデミー）について（未来創造会議） (3) 委員会予算変更（JC杯中学野球一年生の部）について（ひとづくり委員会） (4) 第23回JC杯中学野球大会（秋季一年生の部）について（ひとづくり委員会） (5) 事業計画変更（地域教育力向上計画）について（ひとづくり委員会） (6) 委員会予算変更（ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパンナイトブース出展メニュー）について（事務局） (7) ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパンナイトブース出展メニュー補正事業予算書（案） (8) ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパンナイトブース出展メニュー事業報告書（案）について（事務局）	10
第10回理事会	2014.10.2 19:00~ J C ルーム	討議事項 (1) ながい寺子屋（秋プログラム）について（ひとづくり委員会） 協議事項 (1) 第2回入会説明会について（未来創造会議） (2) 第2回JCアカデミーについて（未来創造会議） (3) みんなで灯そう夢灯 変更事業計画（案）及び補正事業予算書（案）について（まちづくり委員会） (4) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～決算報告について (5) 公開討論会について（まちづくり委員会） (6) 2015年度理事候補者辞任について（2015年度事務局） (7) 置賜4JC合同例会について（事務局） (8) 10月補正予算について（事務局） 審議事項 (1) 第2回入会説明会について（未来創造会議） (2) みんなで灯そう夢灯 変更事業計画（案）及び補正事業予算書（案）について（まちづくり委員会） (3) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～決算報告について (2) 公開討論会について（まちづくり委員会） (3) 2015年度理事候補者辞任について（2015年度事務局） (4) 置賜4JC合同例会について（事務局） (5) 10月補正予算について（事務局）	12
第11回理事会	2014.11.7 19:00~ J C ルーム	協議事項 (1) 委員会内予算額変更について（未来創造会議） (2) 人材育成セミナー事業取り下げ（未来創造会議） (3) 第2回JCアカデミーについて（未来創造会議） (4) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～補正予算について（まちづくり委員会） (5) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～事業報告および決算について（まちづくり委員会） (6) 納涼パーティー事業報告および決算について（まちづくり委員会） (7) 委員会内予算額変更について（ひとづくり委員会）	10

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		<p>(8) J C杯中学野球一年生大会補正予算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(9) J C杯中学野球一年生大会事業報告および決算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(10) クリスマスパーティーについて (ひとづくり委員会)</p> <p>(11) 次年度理事長候補者所信発表例会事業報告および決算について (総務局)</p> <p>(12) 臨時総会について (総務局)</p> <p>(13) 次年度事業発表例会について (総務局)</p> <p>(14) 卒業例会について (事務局)</p> <p>(15) 特定資産取り崩しについて (事務局)</p> <p>(16) JT NPO助成申請について (事務局)</p> <p>(17) 2015年度第64回全国大会東北八戸大会大会副主管締結による全員登録 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>(18) 会員資格規程第6条の改定 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>(19) 特定資産等管理規定第3条の改定 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>(20) 長井 J C 創立50周年記念式典における会員企業協賛金協力依頼 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>審議事項</p> <p>(1) 委員会内予算額変更について (未来創造会議)</p> <p>(2) 人材育成セミナー事業取り下げ (未来創造会議)</p> <p>(3) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～補正予算について (まちづくり委員会)</p> <p>(4) みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」～2014つむぎあい～事業報告および決算について (まちづくり委員会)</p> <p>(5) 納涼パーティー事業報告および決算について (まちづくり委員会)</p> <p>(6) 委員会内予算額変更について (ひとづくり委員会)</p> <p>(7) J C杯中学野球一年生大会補正予算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(8) J C杯中学野球一年生大会事業報告および決算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(9) クリスマスパーティーについて (ひとづくり委員会)</p> <p>(10) 次年度理事長候補者所信発表例会事業報告および決算について (総務局)</p> <p>(11) 次年度事業発表例会について (日時・会場について) (総務局)</p> <p>(12) 委員会内事業予算変更について (事務局)</p> <p>(13) 卒業式について (事務局)</p> <p>(14) 特定資産取り崩しについて (事務局)</p> <p>(15) JT NPO助成申請について (事務局)</p> <p>(16) 会員資格規程第6条の改定 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>(17) 特定資産等管理規定第3条の改定 (案) について (2015年度事務局)</p> <p>(18) 臨時総会について (総務局)</p>	
第12回理事会	2014.12.11 19:00～ J C ルーム	<p>協議事項</p> <p>(1) 大泉紀也君入会 (仮会員) 承認について (未来創造会議)</p> <p>(2) 船山裕紀君正会員承認について (未来創造会議)</p> <p>(3) 山口康幸君正会員承認について (未来創造会議)</p> <p>(4) 未来創造会議内予算額変更について (未来創造会議)</p> <p>(5) 会員拡大補正予算について (未来創造会議)</p> <p>(6) 会員拡大事業報告および決算について (未来創造会議)</p> <p>(7) 長井 J C アカデミー補正予算について (未来創造会議)</p> <p>(8) 長井 J C アカデミー事業報告および決算について (未来創造会議)</p> <p>(9) 人材育成セミナー年間事業計画の変更について (未来創造会議)</p> <p>(10) ブロック大会実行委員会内予算額変更について (ブロック大会実行委員会)</p> <p>(11) 第47回山形ブロック大会長井大会補正予算について (ブロック大会実行委員会)</p> <p>(12) 第47回山形ブロック大会長井大会事業報告および決算について (ブロック大会実行委員会)</p> <p>(13) 第47回山形ブロック大会長井大会会員大懇親会補正予算について (ブロック大会実行委員会)</p> <p>(14) 第47回山形ブロック大会長井大会会員大懇親会事業報告および決算について (ブロック大会実行委員会)</p> <p>(15) ひとづくり委員会内予算額変更について (ひとづくり委員会)</p> <p>(16) 地域教育力向上計画補正予算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(17) 地域教育力向上計画事業報告および決算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(18) ながい寺子屋補正予算について (ひとづくり委員会)</p> <p>(19) ながい寺子屋事業報告および決算について (ひとづくり委員会)</p>	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		(20) ふるさとOMOIYARIプロジェクト補正予算について (まちづくり委員会) (21) ふるさとOMOIYARIプロジェクト事業報告および決算について (まちづくり委員会) (22) 長井駅周辺整備事業補正予算について (まちづくり委員会) (23) 長井駅周辺整備事業事業報告および決算について (まちづくり委員会) (24) 公開討論会補正予算について (まちづくり委員会) (25) 公開討論会事業報告および決算について (まちづくり委員会) (26) 広報誌あゆみ事業報告および決算について (総務局) (27) 次年度事業発表例会について (総務局) (28) 1月通常総会について (総務局) (29) 事務局内予算額変更について (事務局) (30) 置賜4 J C 合同例会補正予算について (事務局) (31) 置賜4 J C 合同例会事業報告および決算について (事務局) (32) 11月例会卒業式補正予算について (事務局) (33) 11月例会卒業式事業報告および決算について (事務局) (34) 平宗正君退会承認について (事務局) (35) 小松龍侍君退会承認について (事務局) (36) 特定資産等管理規定の改定案 (案) について (事務局) (37) 2015年度基本資料について (2015年度事務局) (38) 2015年度事業計画について (2015年度事務局) (39) 会員拡大事業 (拡大戦士育成塾) について (2015年度未来創造会議) (40) 新春賀詞交歓会について (2015年度事務局) (41) ホームページ運営について (2015年度事務局) (42) 2015年度 当初予算 (案) について (2015年度事務局) (43) 2015年度 長井青年会議所公式スケジュール (案) について (2015年度事務局) (44) LOMスローガンについて (2015年度事務局) (45) 全国大会東北八戸大会大会全員登録 (案) について (2015年度事務局) (46) 長井 J C 創立50周年記念式典における会員企業協賛金協力依頼 (案) について (2015年度事務局)	
		審議事項 (1) 大泉紀也君入会 (仮会員) 承認について (未来創造会議) (2) 船山裕紀君正会員承認について (未来創造会議) (3) 山口康幸君正会員承認について (未来創造会議) (4) 未来創造会議内予算額変更について (未来創造会議) (5) 会員拡大事業補正予算について (未来創造会議) (6) 会員拡大事業報告および決算について (未来創造会議) (7) 長井 J C アカデミー事業補正予算について (未来創造会議) (8) 長井 J C アカデミー事業報告および決算について (未来創造会議) (9) 未来創造会議年間事業計画の変更について (未来創造会議) (10) ブロック大会実行委員会内予算額変更について (ブロック大会実行委員会) (11) 第47回山形ブロック大会長井大会補正予算について (ブロック大会実行委員会) (12) 第47回山形ブロック大会長井大会事業報告および決算について (ブロック大会実行委員会) (13) 第47回山形ブロック大会長井大会会員大懇親会補正予算について (ブロック大会実行委員会) (14) 第47回山形ブロック大会長井大会会員大懇親会事業報告および決 算について (ブロック大会実行委員会) (15) ひとつづくり委員会内予算額変更について (ひとつづくり委員会) (16) 地域教育力向上計画補正予算について (ひとつづくり委員会) (17) 地域教育力向上計画事業報告および決算について (ひとつづくり委員会) (18) ながい寺子屋補正予算について (ひとつづくり委員会) (19) ながい寺子屋事業報告および決算について (ひとつづくり委員会) (20) まちづくり委員会内予算額変更について (まちづくり委員会) 新議題 (21) ふるさとOMOIYARIプロジェクト補正予算について (まちづくり委員会) (22) ふるさとOMOIYARIプロジェクト事業報告および決算について (まちづくり委員会) (23) 長井駅周辺整備事業補正予算について (まちづくり委員会) (24) 長井駅周辺整備事業事業報告および決算について (まちづくり委員会) (25) 公開討論会補正予算について (まちづくり委員会) (26) 公開討論会事業報告および決算について (まちづくり委員会)	

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		(27) 広報誌あゆみ事業報告および決算について(総務局) (28) 次年度事業発表例会について(総務局) (29) 1月通常総会について(総務局) (30) 事務局内予算額変更について(事務局) (31) 置賜4JC合同例会補正予算について(事務局) (32) 置賜4JC合同例会事業報告および決算について(事務局) (33) 11月例会卒業式補正予算について(事務局) (34) 11月例会卒業式事業報告および決算について(事務局) (35) 平宗正君退会承認について(事務局) (36) 小松龍侍君退会承認について(事務局) (37) 特定資産等管理規定の改定案(案)について(事務局) (38) 2015年度基本資料について(2015年度事務局) (39) 2015年度事業計画について(2015年度事務局) (40) 会員拡大事業(拡大戦士育成塾)について(2015年度未来創造会議) (41) 新春賀詞交歓会について(2015年度事務局) (42) ホームページ運営について(2015年度事務局) (43) 2015年度当初予算(案)について(2015年度事務局) (44) 2015年度長井青年会議所公式スケジュール(案)について(2015年度事務局) (45) LOMスローガンについて(2015年度事務局) (46) 全国大会東北八戸大会大会全員登録(案)について(2015年度事務局) (47) 長井JC創立50周年記念式典における会員企業協賛金協力依頼(案)について(2015年度事務局)	
2015年 第1回 理事会	2015.1.8 19:00~ JCルーム	協議事項 (1) クリスマスパティー事業報告について(ひとづくり委員会) (2) 次年度事業発表例会事業報告および決算について(総務局) (3) ホームページ運営事業報告について(総務局) (4) 1月通常総会開催日変更について(総務局) (5) 2014年度預り金残金の扱いについて(事務局) (6) 2014年度補正予算(案)について(事務局) (7) 2014年度決算(案)について(事務局) ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 ・財務諸表に対する注記 ・附属明細書 (8) その他 審議事項 (1) クリスマスパティー事業報告について(ひとづくり委員会) (2) 次年度事業発表例会事業報告および決算について(総務局) (3) ホームページ運営事業報告について(総務局) (4) 1月通常総会開催日変更について(総務局) (5) 2014年度預り金残金の扱いについて(事務局) (6) 2014年度補正予算(案)について(事務局) (7) 2014年度決算(案)について(事務局) ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 ・財務諸表に対する注記 ・附属明細書 (8) その他	11

【会 議 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
京都会議	1 月	京 都	齋藤 繁喜、佐藤 真光、平 宗正
復興フォーラム	3月8日(土) ～9日(日)	いわき	齋藤 繁喜、影山 考史、遠藤 浩樹、樋口 和哉、 梅津壮一郎
ASPAC	6月4日(水) ～7日(土)	山 形	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、椎名 恭一、 井上 典嗣、佐藤 真光、遠藤 浩樹、樋口 和哉、 梅津壮一郎、小関 弾、佐藤 和之、遠藤 譲一、 那須 丈雄、渡部 清隆、小松 龍侍、小笠原信吾、 影山 孝史、玉橋 恵子、大竹 貴之、橋本 一磨、 児玉 大輔、風間 正志、菅原 純一、齋藤 圭央、 小関 幸一、齋藤 憲幸、井上 真、鈴木亜由美、 飯沢 喜治、飯沢 栄人、中川 一聖、川合 直仁
サマーカンファレンス	7 月	横 浜	齋藤 繁喜、佐藤 真光、齋藤 憲幸
J C I 世界会議	11月24日(月) ～29日(土)	ドイツ・ ライプツィヒ	-

【会 員 動 向】

卒業者 2名	風間 正志、椎名 恭一
入会者 6名	飯澤 喜治、飯澤 栄人、川合 直仁、中川 一聖、船山 裕紀、山口 康幸
休会者 0名	
退会者 2名	平 宗正、小松 龍侍

【総 会 報 告】

総 会 種 類	日 時	場 所	議 案
1 月通常総会	1月31日(金) 19時15分～	タ ス パークホテル	第 1 号議案 会員資格規定第 5 条改定(案)承認の件 第 2 号議案 2013年度収支決算(案)承認の件 第 3 号議案 2014年度理事(案)・2014年度2015年度 監事(案)選任の件
8 月通常総会	8月21日(木) 18時～	グランパリス パーティリゾート	第 1 号議案 2015年度 理事候補者(案)承認の件 第 2 号議案 2015年度 理事長候補者(案)認の件 第 3 号議案 2015年度 監事選任の件
11月20日臨時総会	11月20日(木) 18時30分～	グランパリス パーティリゾート	第 1 号議案 特定資産の取り崩し 承認の件 第 2 号議案 会員資格規定第 6 条の改定(案) 承認の件 第 3 号議案 特定資産等管理規定第 3 条改定(案) 承認の件

【会 員 大 会 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
ブロック会員大会	7月5日(土)	長 井	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、椎名 恭一、 井上 典嗣、佐藤 真光、遠藤 浩樹、樋口 和哉、 梅津壮一郎、小関 弾、佐藤 和之、遠藤 譲一、 那須 丈雄、渡部 清隆、小松 龍侍、小笠原信吾、 影山 孝史、玉橋 恵子、大竹 貴之、橋本 一磨、 児玉 大輔、風間 正志、菅原 純一、齋藤 圭央、 小関 幸一、齋藤 憲幸、井上 真、鈴木亜由美、 飯沢 喜治、飯沢 栄人、中川 一聖、川合 直仁
東北青年フォーラム	9月5日(金) ～7日(日)	酒 田	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、椎名 恭一、 井上 典嗣、佐藤 真光、遠藤 浩樹、樋口 和哉、 梅津壮一郎、小関 弾、佐藤 和之、遠藤 譲一、 那須 丈雄、渡部 清隆、小松 龍侍、小笠原信吾、 影山 孝史、玉橋 恵子、大竹 貴之、橋本 一磨、 児玉 大輔、風間 正志、菅原 純一、齋藤 圭央、 小関 幸一、齋藤 憲幸、井上 真、鈴木亜由美、 飯沢 喜治、飯沢 栄人、中川 一聖、川合 直仁
全国会員大会	10月9日(木) ～12日(日)	松 山	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、佐藤 真光、 小関 幸一

【祝 事】

周 年 事 業 名	期 日	会 場	登 録 者
山 辺 J C 40 周 年	5月10日(土)	山辺町 中央公民館	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、遠藤 浩樹、 樋口 和哉
尾 花 沢 J C 35 周 年	6月15日(日)	大石田町 福祉会館	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、井上 典嗣、 佐藤 真光、樋口 和哉、影山 孝史、飯澤 喜治
新 庄 J C 50 周 年	7月12日(土)	新庄市民 プラザ	齋藤 繁喜、鈴木 喜典、板垣 洋一、井上 典嗣、 佐藤 真光、遠藤 浩樹、影山 孝史、梅津壮一郎、 大竹 貴之、小関 幸一

【例 会 報 告】

例会	期 日	会 場	主 管	内 容
1月例会	1月31日(水)	タスパークホテル	総 務 局	1月通常総会 第1号議案 会員資格規定第5条改定(案)承認の件 第2号議案 2013年度 収支決算(案)承認の件 第3号議案 2014年度 理事(案)・ 2014年度 2015年度監事(案)選任の件
2月例会	2月14日(金)	交流センターふらり	まちづくり委員会	地域防災セミナー
3月例会	3月20日(木)	交流センターふらり	未来創造会議	入会説明会
4月例会	4月17日(木)	タスパークホテル	未来創造会議	第1回J Cアカデミー
5月例会	5月23日(金)	タスパークホテル	ブロック大会実行委員会	山形ブロック大会長井大会決起会
6月例会	6月4日(水) ～7日(土)	山 形	事 務 局	ASPAC山形大会
7月例会	7月5日(土)	長 井	ブロック大会 実行委員会	山形ブロック大会長井大会
8月例会	8月21日(木)	グランパリス パーティリゾート	総 務 局	8月通常総会 第1号議案 2015年度 理事候補者(案)承認の件 第2号議案 2015年度 理事長候補者(案)承認の件 第3号議案 2015年度 監事選任の件
9月例会	9月18日(木)	山形県白鷹 文化交流センター あゆ～む	総 務 局	次年度理事長所信発表例会
10月例会	10月21日(火)	高畠町中央公民館	事 務 局	置賜4 J C合同例会
11月例会	11月20日(木)	グランパリス パーティリゾート	事 務 局	卒業式
12月例会	12月18日(木)	タスパークホテル	総 務 局	次年度事業計画発表会

【事業報告】

内 容	期 日	場 所	主 管
新春賀詞交歓会	1月9日(木)	はぎ苑	事務局
第11回 ながい雪灯り回廊まつり	2月1日(土)	つつじ公園 北側道路沿い	ひとづくり委員会
会員拡大ミーティング	2月6日(木)	タスパークホテル	未来創造会議
第23回 J C 杯中学野球大会 (春季)	5月3日(土) ・4日(日)	長井北中学校グラウンド、長井南中学校グラウンド、飯豊町営球場	ひとづくり委員会
長井駅周辺整備事業	5月15日(木)	長井駅周辺	まちづくり委員会
黒獅子まつり売店運営	5月24日(土)	つつじ公園	事務局
みんなで灯そう 「夢ゆめあかり灯」2014 つむぎあい～	6月14日(土)	あやめ公園	まちづくり委員会
ふるさと O M O I Y A R I プロジェクト I N 長井	6月22日(日)	最上川河川緑地公園	まちづくり委員会
ながい寺子屋	8月2日(土)	長井市平野地区公民館、うめや南店、アグリメントなかの畑、浜辺農園のハウス	ひとづくり委員会
ながい水まつり売店運営	8月9日(土)	長井市最上川河川緑地公園	事務局
納涼パーティー	8月21日(木)	グランパリス パーティリゾート	まちづくり委員会
地域教育力向上計画 講演会	9月17日(木)	長井市民文化会館	ひとづくり委員会
福祉まつり売店売店運営	9月20日(土)	置賜生涯学習プラザ	事務局
第23回 J C 杯中学野球大会 (秋季一年生の部)	10月4日(土)	長井北中学校グラウンド、長井南中学校グラウンド	ひとづくり委員会
異業種交流会	10月24日(金)	末広倶楽部	未来創造会議
フラワー長井線まつり・ 八食祭・ スマイルプロジェクト	10月26日(日)	長井駅周辺	事務局
ながい寺子屋	11月1日(土)	長井市生涯学習プラザ	ひとづくり委員会
長井市長選挙公開討論会	11月4日(火)	長井市置賜生涯 学習プラザ	まちづくり委員会
第2回 J C アカデミー	11月25日	はぎ苑	未来創造会議
クリスマスパーティ	12月13日(土)	はぎ苑	ひとづくり委員会

【2014年度 例会出席状況】

No	役 職 名	理事	氏 名	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会	例会出 席回数	例 会 出席率
1	理 事 長	◆	齋藤 繁喜	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
2	直 前 理 事 長	◆	鈴木 喜典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
3	監 事		板垣 洋一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
4	副 理 事 長	◆	椎名 恭一	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11	92%
5	副 理 事 長	◆	井上 典嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
6	専 務 理 事	◆	佐藤 真光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
7	未 来 創 造 会 議 議 長	◆	遠藤 浩樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	92%
8	未 来 創 造 会 議 副 議 長	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	92%
9	未 来 創 造 会 議 副 議 長	◆	梅津壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
10	ひとづくり委員会委員長	◆	小関 弾	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
11	副 委 員 長		佐藤 和之				○	○	○	○	○			○	○	8	67%
12			遠藤 譲一	○			○	○	○							5	42%
13			那須 丈雄						○	○						2	17%
14			渡部 清隆					○		○						2	17%
15			小松 龍侍					○		○						2	17%
16			小笠原信吾			○		○	○	○				○	○	6	50%
17			川合 直仁	/	/	/	○	○		○	○	○			○	6	50%
18	まちづくり委員会委員長	◆	影山 孝史	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	11	92%
19	副 委 員 長		玉橋 恵子	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
20			大竹 貴之	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	11	92%
21			橋本 一磨		○			○	○	○						4	33%
22			児玉 大輔		○		○	○	○	○	○					6	50%
23			風間 正志	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	10	83%
24			菅原 純一													0	0%
25			齋藤 圭央	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	92%
26			中川 一聖	/	/	/	○	○	○	○	○			○		7	58%
27			飯澤 栄人	/	/	/				○						1	8%
28	事 務 局 長	◆	小関 幸一		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
29	総 務 局 長	◆	齋藤 憲幸	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
30			平 宗正		○	○										2	17%
31	事 務 局 補 佐		井上 真	○					○	○	○			○		5	42%
32	事 務 局 補 佐		鈴木亜由美					○		○				○		3	25%
33	事 務 局 補 佐		飯澤 喜治	/	/	/		○	○	○	○	○		○	○	7	58%
34	仮 会 員		山口 康幸	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	○	○	4	33%
35	仮 会 員		船山 裕紀	/	/	/	/	/	/	/	/		○			1	8%
出 席 数				18	17	16	19	21	25	23	26	24	18	25	24		

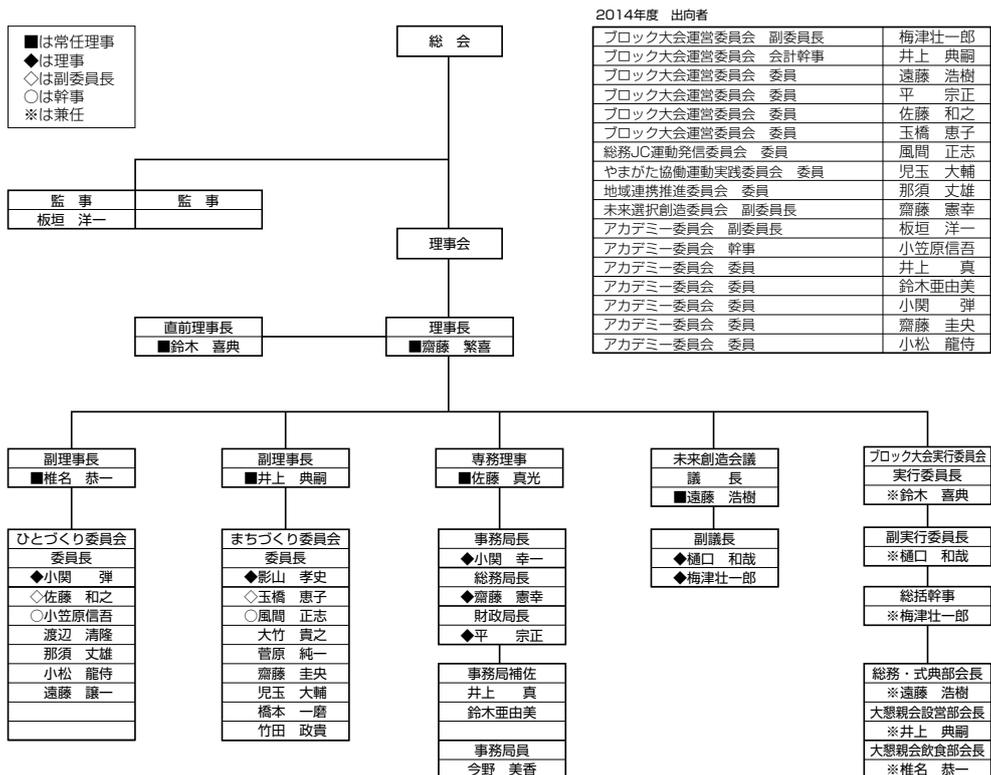
【2015年度 行事・諸会合報告】

期 日	内 容	場 所	代理出席者
11月2日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議	高島町	
11月23日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議	南陽市	
12月6日	東北地区協議会 第1回会員会議所候補者会議	秋田県 大曲市	
1月6日	長井市新春祝賀会	長井市タスパークホテル	
1月1日	長井市、白鷹町各首長へ新春のご挨拶	長井市、白鷹町	
1月1日	長井商工会議新春祝賀会	長井市タスパークホテル	
1月14日	山形ブロック協議会共同運動委員会4LOM意見交換会出席	米沢市 青葉堂印刷	
1月15日	飯豊町長へ新春のご挨拶	飯豊町	
1月15日	酒田青年会議所新春初顔合わせ会	酒田市	
1月16日	小国町長へ新春のご挨拶	小国町役場	
1月18日	長井市社会福祉協議会除雪ボランティア		
1月24日～ 26日	公益社団法人日本青年会議所 京都会議 日本J C 総会	京都市	
1月30日	山形青年会議所新春賀詞交歓会	山形メトロポリタン	
2月1日	第1回会員会議所会議&アカデミー開講式& 山形ブロック協議会新春賀詞交歓会	高島町	
2月5日	高島青年会議所2月例会	高島町	
2月5日	あやめまつり実行委員会	長井市タスパークホテル	影山孝史
2月20日	大相撲長井黒獅子場所実行委員会設立総会	はぎ苑	
2月22日	理事長会	酒田市	
2月23日	第2回会員会議所会議	酒田市	
3月3日	A S P A C 山形大会決起集会	山形メトロポリタン	
3月5日	長井市地域福祉活動計画 策定委員会		
3月8日～9日	日本J C 復興創造フォーラム2014 参加	福島県いわき市	
3月13日	長井市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定委員会	長井市民文化会館	
3月17日	長井千人芋煮会実行委員会		鈴木喜典
3月18日	長井ロータリークラブ例会 卓話	タスパークホテル	
3月20日	奥羽・羽越新幹線の実現に向けたシンポジウム	ホテルメトロポリタン山形	
3月22日	第3回会員会議所会議	西川町	
3月27日	長井市まちづくり青少年育成市民会議		小関 弾
3月28日	山形ブロック協議会会員拡大セミナー	寒河江市	
4月9日	長井市青年団体連絡協議会	長井市 平田海産物店	
4月21日	大相撲長井黒獅子場所実行委員会	はぎ苑	
4月22日	置賜4 J C 理事長・専務会	米沢市	
4月24日	大相撲長井黒獅子場所実行委員会 第2回総会	はぎ苑	
4月25日	理事長会	青森 八戸市	
4月26日	第4回会員会議所会議	青森 八戸市	
4月28日	長井市観光協会理事会	タスパークホテル	
4月28日	あやめ祭り実行員会		影山孝史
4月30日	UN MD G s 認知向上プログラムセミナー&会頭公式訪問	米沢市 東京第一ホテル	
4月30日	みんなのコミュニティFM開局実行委員会		板垣洋一
5月2日	山形ブロック協議会 未来選択創造委員会 憲法セミナー	米沢市	
5月7日	ブロック大会関連 各首長訪問	長井市、白鷹町、飯豊町	
5月8日	厚生労働大臣賞授賞式	置賜総合支庁	
5月9日	小国町長へブロック大会関連 訪問	小国町	

期 日	内 容	場 所	代理出席者
5月9日	青年団体協力会役員会議	長井市教育委員会	
5月10日	山辺 J C 40周年記念式典	山辺市	
5月12日	長井南中学校にて夢灯り 講演	長井市立長井南中学校	
5月13日	長井市政60周年記念事業推進協議会 設立総会	長井市 保健センター	
5月19日	会員拡大ロールプレイング	上市市 ニュー村尾	
5月25日	第5回会員会議所会議 理事長代理	新庄市	井上典嗣
5月27日	長井市社会福祉協議会活動計画策定委員会	生涯学習プラザ	
5月28日	長井おどり大パレード打ち合わせ会	タスパークホテル	
5月28日	長井市振興審議会会議	長井市役所	
5月28日	長井市宅地分譲推進委員会		板垣洋一
5月29日	フラワー長井線利用拡大協議会総会		板垣洋一
5月30日	ブロック大会運営委員会 オブザーブ		
5月30日	かわまちづくり推進協議会	交流センター ふらり	佐藤真光
6月4日～7日	A S P A C 山形大会 参加	山形市	
6月13日	フットパスウォーク実行委員会	交流センター ふらり	
6月15日	尾花沢青年会議所 創立35周年記念式典・祝賀会	尾花沢市	
6月24日	長井市明るい選挙推進委員会		
6月26日	長井市まちづくり青少年育成市民会議 総会		小関 弾
6月28日	第6回会員会議所会議	山形市	
7月4日	理事長会	長井市	
7月9日	フットパスウォーク実行委員会	交流センター ふらり	
7月10日	長井市社会福祉協議会 調査及び支援	伊佐沢地区	
7月11日	長井市社会福祉協議会 調査及び支援	伊佐沢地区・金井神地区	
7月12日	新庄 J C 50周年記念式典及び祝賀会	新庄市	
7月16日	南陽市 豪雨災害支援	南陽市	
7月18日	南陽市 豪雨災害支援	南陽市	
7月19日～21日	サマーコンファレンス2014 参加	横浜市	
7月24日	長井市振興審議会	交流センター ふらり	
7月25日	八戸 J C 全国大会副主幹仮締結	タスパークホテル	
7月25日	大相撲長井黒獅子場所実行委員会	はぎ苑	井上典嗣
7月25日	長井市青年団体連絡協議会	長井市教育委員会	
7月28日	南陽市 豪雨災害支援	南陽市	
7月29日	長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
7月30日	置賜 4 J C 理事長・専務会	高島町	
8月1日	長井市青年団体連絡協議会 清掃作業	最上川河川緑地公園	
8月3日	大相撲長井黒獅子場所実行委員会 総会	はぎ苑	
8月6日	フットパスウォーク実行委員会	交流センター ふらり	
8月9日	大相撲長井黒獅子場所 会場設営・準備	生涯学習プラザ	
8月10日	大相撲長井黒獅子場所 スタッフとして参加	生涯学習プラザ	
8月18日	長井市長 訪問	長井市役所	
8月22日	長井市こころのまちづくり基金審議会		鈴木喜典
8月25日	長井市シティープロモーション戦略会議	タスパークホテル	井上典嗣
8月27日	長井市まとまるといいことある座談会		影山孝史
8月29日	社会福祉協議会の災害ボランティアセンター 連絡会		
9月5日～7日	東北青年フォーラムin湊町酒田	酒田市	
9月12日	長井市中心市街地活性化協議会	タスパークホテル	
9月18日	長井1000人芋煮会 芋ほり	ニュー彩園	

期 日	内 容	場 所	代理出席者
9月23日	ほくらの文楽 駐車場スタッフとして参加	西根地区	
9月27日	第7回会員会議所会議	上山市	
9月29日	長井市地域福祉活動計画 策定委員会	保健センター	
10月6日	置賜4JC理事長・専務会	南陽市	
10月9日~12日	全国大会松山大会 参加	愛媛県松山市	
10月15日	長井JC歴代理事長会	JCルーム	
10月16日	長井市地域福祉活動計画 策定委員会	長井市老人福祉センター	
10月24日	にぎわい再現プロジェクトと意見交換会	交流センター ふらり	
10月25日	第8回会員会議所会議	南陽市	
10月26日	フラワー長井線まつり	長井駅	
10月26日	長井市防災訓練	伊佐沢地区	
11月3日	長井市市制施行60周年記念式典	長井市民文化会館	
11月8日	山形ブロック協議会会員会議所会議、卒業式	高畠町	
11月9日	山形県健全育成県民大会	南陽市民会館	
11月14日	あやめ祭り実行委員会		佐藤真光
11月19日	ながいシティポロモーション戦略会議	タスパークホテル	
11月22日	長井市まちづくり青少年育成市民会議の長井のこころを育む発表会		小関 弾
12月5日	東北地区協議会 第2回会員会議所会議	秋田県 大曲市	
12月10日	都市再生整備計画検討委員会	交流センター ふらり	
12月17日	置賜4JC新旧理事長・専務会	はぎ苑	

【公益社団法人長井青年会議所 2014年度 組織図】



未来創造会議 事業報告書

- 議長 遠藤 浩樹 ●副議長 梅津壮一郎
●副議長 樋口 和哉

議長所感

昨年に引き続き、未来創造会議を担当させて頂きました。今年で2年目ですので昨年の反省を踏まえつつ、会員拡大、JCアカデミーをより発展させる事業組立でありました。

会員拡大について振り返ってみますと、3月入会説明会、10月異業種交流会として2回行いました。3月は、山形ブロック協議会会長、長谷川海秀君、10月は、酒田青年会議所OB、阿部敦君の講演会を開くことが出来ました。会員拡大は会員拡大強化月間として様々な人とともに新入会員候補者の方にお話しをして参りました。そして、合わせて20名も来ていただきました。しかし、直接入会していただけなかった事があり、更に試行錯誤することが必要だと思えます。来年への課題であります。その点をしっかり引き継ぎをしたいと思えます。

JCAcademyについても2回行いました。4月では、過去の事業紹介と山口直人先輩をお呼びしての講演会、11月は、船山裕紀君からぼくらの文楽の事業説明、KJ法などを用いグループディスカッションをしました。1回目は、山口先輩の講演では、さまざまなJCの役職を通して、後輩に伝えたいことを話していただきました。2回目は、参加者が少なく呼びかけ、熱い思いが伝わらなかったと思えます。その点は反省すべき点だと思えます。

総括としては、準備は万端にしておりましたが、当日に予定の変更などもあり対応力が問われる一年だったと思えます。来年度も引き続き、未来創造会議を拝命しましたので、今年の実験を活かしつつ、しっかりと運動を展開して参ります。副議長の樋口和哉君、梅津壮一郎君、御支えいただきありがとうございます。1年間ありがとうございました。

年間事業報告

会員拡大について

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
ここ近年における長井青年会議所の会員動向を見てみると、新入会員数より卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいる状況です。しかし、2013年度は33%会員拡大を目標として掲げ、メンバーが一丸となって取り組んだ結果、13名の新入会員を迎える事が出来ました。そして今年度は、30名の会員で長井青年会議所の運動・活動がスタートします。
2014年度は山形県内でASPAC山形大会、東北青年フォーラム in 湊町酒田が開催されます。また、山形ブロック大会が長井青年会議所主管で開催され、山形ブロック協議会、長井青年会議所が大きく飛躍出来るチャンスです。だからこそ、より多くのメンバーを集め、知恵と汗を出し合い、大会を成功させる必要があります。そして、やり遂げた達成感や感動を共に分かち合いたいと思えます。
また、地域に根差した公益的な活動を継続し、より力強くJC運動を発信し続けていく為にも、会員拡大は今年度の重要な課題であります。
- 事業目的
一人でも多く新入会員を増やす事
- 事業の検証方法とその手段
新入会員数を以って検証とする。
- 事業概要
未来創造会議が先頭に立ち、拡大率33%（10名）を目標に今年度一年間会員拡大に取り組みました。
今年度はチーム対抗でお互い競い合いながら会員拡大に取り組

みました。チーム編成は①ひとつくり委員会②まちづくり委員会③事務局・総務局・財政局、の3チームに分け、それぞれ未来創造会議メンバーを1人ずつリーダーとして配置しました。また、理事長、直前理事長、監事もそれぞれ3つのチームに所属し、未来創造会議メンバー共に、チームを先導しました。

JCLームに進捗状況のグラフを掲示しました。
2月には会員拡大ミーティングを実施し、確実に実行できるアクションプランを作成しました。

2月～3月と9月～10月を会員拡大強化月間と位置付け、年2回の入会説明会を実施しました。

【会員拡大ミーティング】2月6日(木)

理事会前の1時間、会員拡大ミーティングを行いました。まず、ミーティング前に新入会員候補者のリストを作成し、事前にメンバーに配信しました。当日はチーム毎に分かれ、リストを基にアクションプランを作成・発表しました。

【第1回入会説明会】3月20日(木)

第1回入会説明会の前半は、山形ブロック協議会の長谷川海秀会長からJCの事業・運動にかける想いや、今までの経験談等を拝聴しました。後半は、2014年度事業紹介を各委員会から分かりやすく説明頂きました。そして、最後に未来創造会議から入会までの流れを説明しました。

【異業種交流会】10月24日(金)

前半は酒田JCのOBの阿部敦先輩をお招きし、「まちづくりと仲間づくり 感動 感激 感謝!」の演題のもと講演を頂きました。後半の交流会では、新入会員候補者との交流を通し長井青年会議所に対する理解を深め、入会するきっかけとなるような機会としました。

【講師選定理由】 阿部敦先輩

酒田JCが会員拡大率日本一になった際、理事長としてLOMの先頭に立ちメンバーを牽引された、非常に行動力・リーダーシップに長けた方です。OBになってからも全国各地で講演され、今現在も現役メンバーに様々なアドバイスをされています。

また、仕事では本業の電気工事業とは別に、JCメンバーと共に会社を設立し、焼肉店2店舗を経営されています。

JCやビジネスでの成功に至るプロセスや理念やまちづくりに対する想いなどを、会員候補者のみならず、メンバーの皆様にもぜひ聞いてほしいと思ひ、阿部先輩を講師として選定しました。

7 実施日時：通年

8 実施場所・会場：交流センターふらり

9 事業対象者 第1回入会説明会：中央会館
異業種交流会：末広俱樂部

10 参加者募集方法 メンバー：メール
入会候補者：チラシ配布、ホームページ、facebook

11 決算総額：¥111,000

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=

議決の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

長井JCアカデミー事業報告

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業
- 3 事業実施に至る背景
ここ近年における長井青年会議所の会員動向を見てみると、新入会員数より卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいる状況です。しかし、2013年度は33%会員拡大を目標として掲げ、メンバーが一丸となって取り組んだ結果、13名の新入会員を迎える事が出来ました。そして今年度は、30名の会員で長井青年会議所の運動・活動がスタートしました。
2014年度は山形県内でASPAC山形大会、東北青年フォーラム in 湊町酒田が開催されます。また、山形ブロック大会が長井青年会議所主管で開催され、山形ブロック協議会、長井青年会議所が大きく飛躍出来るチャンスです。だからこそ、より多くのメンバーを集い、知恵と汗を出し合い、大会を成功させる必要がありました。そして、やり遂げた達成感や感動を共に分かち合いたいと思いました。
新入会員対象として、JCについて原点から、基本を再確認します。現役メンバーも再確認する意味で、各パートに関わっていただき、講師をしながら、自らも再確認していただきたいと思いをしました。
長井青年会議所の組織力を強固にして、明るく豊かな社会の実現に向けて、地域の原動力となる人材の育成をしました。
- 4 事業目的
新入会員、メンバーがJCについて考え、再確認して、まちづくりを担う人材の育成を行う。
- 5 事業の検証方法とその手段
当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。
- 6 事業概要
入会3年以内の新入会員を対象にして、JCについて学びました。
昨年は、「三信条、JCイクリード、宣言文」JCイクリードや綱領、使われている用語について学びましたが、今年は、基本的なことは、配布するテキストを持ち帰り、読んでいただきました。
今年度の内容としましては、「JCと事業について」と過去に長井JCで行った事業の実施に至る経緯説明をその当時担当された委員長より説明をしていただきます。その当時担当された委員長より実施した事業に対する想いであったり、実施に至るまでの様々な経験談を説明していただき、これから理事役員職を担うであろうメンバーに対しても役職経験者に対しても、私たちが行っている事業への認識を深め今後のメンバーひとり一人の活動への糧としていただき、組織力の向上につなげてまいりました。
山口直人先輩の講演より、入会が浅いメンバーに対して特にお話いただきました。山口先輩がJCのさまざまな役職などを経験

してのJCに対する想いを語っていただき、新入会員のJC運動に対する不安を取り除き、より一層意欲を持って取り組めるよう意識の向上を図りました。また山口先輩は、40周年の理事長でもあります。来年度は50周年を控えていますので、それらのことにもふれてしお話をいただきました。来年度へ向けての意識高揚の意味でも重要な講演であったと思いをしました。

第2回のJCアカデミーは2部構成でセミナーを進めて参りました。
第1部で、私たちの住んでいる長井・西置賜には沢山の魅力ある事業があります。今回、その数ある事業から、僕らの文学についてのお話をお聞きます。事業に至った背景や苦労話などをお聞きできればと思います。その後、グループに分かれて、テーマ「長井・西置賜の問題について」を話し合います。この事業を参考にお話していただければと思います。後ほどグループごとに発表していただき、メンバーで共有しました。

第2部では、2015年度理事長候補者 板垣洋一君から、出向する意義をお聞きます。委員会の役割やどんな事業をするか、来年への意気込みなどをお話していただきます。メンバーの今後の活動、運動の一助として頂きたいと思いをします。

- 7 実施日時：第1回 4月17日(木)
第2回 11月25日(火)
- 8 実施場所・会場：第1回 JCアカデミー タスパークホテル アゼリア 第2回 JCアカデミー はぎ苑
- 9 事業対象者
長井青年会議所メンバー
- 10 参加者募集方法
メール、フェイスブック、電話にて周知
- 11 決算総額：¥13,254
- 12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 13 決議の条件
議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 14 参加員数

		【計画】	【実施】	【計画】	【実施】
		第1回		第2回	
		JCアカデミー		JCアカデミー	
内部	担当委員会	3名	3名	3名	3名
	その他メンバー	26名	17名	31名	12名
外部	仮会員	5名	名	名	名
	山口直人先輩	1名	1名	名	名
	合計	35名	21名	34名	15名

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
10月3日	J C ル ー ム	21:30-22:30	遠藤、樋口、梅津	基本計画書について
10月8日	J C ル ー ム	20:00-23:00	遠藤、樋口、梅津	基本計画書、事業計画について
10月24日	レストラン みよしの	12:00-13:00	遠藤、樋口、梅津	基本計画書、事業計画について
11月7日	J C ル ー ム	22:00-23:00	遠藤、樋口、梅津	事業計画について
11月21日	交流センター ふらり	21:00-22:00	遠藤、樋口、梅津	事業計画について
1月23日	すしてつ	12:00-13:00	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて
3月5日	J C ル ー ム	22:00-22:30	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて ブロック大会実行委員会終了後開催
4月2日	頓 珍 館	12:00-13:00	遠藤、樋口、梅津	JCアカデミーについて
4月8日	山口製作所	18:00-20:00	遠藤、樋口、梅津	JCアカデミーについて 山口先輩と打ち合わせ
7月26日	桃華楼支店	12:00-13:00	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて
9月2日	J C ル ー ム	19:00-22:30	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて
9月26日	酒田市だ るま寿司	19:00-24:00	遠藤、樋口、梅津	酒田JC阿部先輩と異業種交流会の打合せ
10月17日	J C ル ー ム	19:30-23:00	遠藤、樋口、梅津	異業種交流会、JCアカデミーについて
10月29日	J C ル ー ム	19:30-22:00	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて
11月10日	J C ル ー ム	19:30-23:00	遠藤、樋口、梅津	会員拡大、JCアカデミーについて
12月5日	J C ル ー ム	20:00-23:00	遠藤、樋口、梅津	各事業報告書について

ブロック大会支援室 事業報告書

- 実行委員長 鈴木 喜典
- 副実行委員長 樋口 和哉
- 総務式典部会長 遠藤 浩樹
- 大懇親会飲食部会長 椎名 恭一
- 総括幹事 梅津壮一郎
- 大懇親会設営部会長 井上 典嗣

副実行委員長所感

我々、長井青年会議所は15年振りに山形ブロック大会の開催地主管を担わせて頂きました。一昨年度から県民、市民を巻き込んだ公益的な大会として進化してきたブロック大会ですが、今年度もより公益的な大会とするべく主催である山形ブロック協議会、ブロック大会運営委員会と連携を図り、県内各地そして主管地域の魅力や文化を効果的に発信出来るように計画立案、実施させていただきました。

大会規模が大きかった分、大会全体を通して大懇親会でも至らぬ点、反省点等多々ありましたが、次年度主管するLOMへ引継を実施したことで次年度の大会はさらに充実した大会になる事と思えます。我々も今年度経験した事をしっかりと次年度の創立50周年や様々な事業へ活かすことで組織として、人としてより地域に求められる団体へと成長出来ると確信しております。

最後に御来場頂いた県民、市民の皆様、各地会員会議所メンバーの皆様、山形ブロック協議会役員及びブロック大会運営委員会の皆様、長井JC OB会の皆様、齋藤理事長をはじめとするメンバーの皆様、的確な陣頭指揮を執って頂いた鈴木実行委員長、運営委員会との調整等、奮闘して頂いた梅津総括幹事、各部会のリーダーとしての担いを全うして頂いた遠藤、井上、椎名部会長、全ての皆様に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

次年度以降も多くの素晴らしい機会に恵まれることを御祈念致しまして私の所感とさせていただきます。

年間事業報告

第47回山形ブロック大会 長井大会決起会事業報告

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
1999年の長井大会開催以来15年ぶりに主管することとなった、私たち長井青年会議所は主催である山形ブロック協議会と共に大会を創造する責務があります。今こそ、山形ブロック協議会とブロック大会運営委員会そして長井青年会議所全メンバーが一同に会し、英知と勇気と情熱をもってブロック大会成功に向けた決起の場を開催する必要があります。
- 4 事業目的
主催と主管が一同に会しブロック大会成功に向けての意思統一を行う。
- 5 事業の検証方法とその手段
参加人数をもって検証とする。
- 6 事業概要
ブロック大会に向けて様々な動きがあるなかで、山形ブロック協議会長谷川会長をはじめ、山形ブロック協議会役員、運営委員会、実行委員会が一同に会して、主催と主管の心をひとつに大会成功に向けた決起の場を開催しました。
- 7 実施日時 2014年5月23日(金)
18:30~20:20
- 8 実施場所・会場：タスパークホテル(3Fアイリス)
- 9 事業対象者 山形ブロック協議会長谷川海秀会長、山形ブ

ロック協議会役員、山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会
長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 長井JCホームページ、同報メール、ご案内文 長井JCメンバーに関しては例会でしたのご案内後も全メンバーに出席して頂けるように随時メールや、LINE、電話等で出席を促しました。

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事13名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=13名

決議の成立する理事数=13名(議決権のある理事数) × 2/3 以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数 × 1/2 を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	3名	3名
	その他メンバー	29名	24名
外部	山形ブロック協議会役員	22名	15名
	山形ブロック協議会役員	30名	17名
	ブロック大会運営委員会		
合計		84名	59名

16 実施プログラム

【計画】 【実施】

17:00 17:00 全メンバー集合・例会準備

17:30 17:50 例会リハーサル

18:00 18:00 受付開始

5月例会 【第47回山形ブロック大会 長井大会 決起会】

18:31 18:31 開会点鐘例 会風景写真

18:30 18:33 開会の挨拶(井上典嗣副理事長)

18:31 18:35 国歌斉唱

18:32 18:37 JCソング斉唱

18:33 18:39

JCI Creed 唱和(小関 弾委員長) → (大竹貴之君) に変更。

18:34 18:40

JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和(影山孝史委員長) → (小笠原 信吾君) に変更

18:35 18:41

JC宣言文並びに綱領唱和(遠藤浩樹議長) → (影山孝史委員長) に変更

18:36 18:42

東北JC宣言文唱和(齋藤憲幸総務局長)

18:37 18:43

日本並びにLOMスローガン唱和(風間正志君)

18:38 18:44

開催地LOM理事長挨拶(齋藤繁喜理事長)

18:43 18:50

ブロック会長挨拶(長谷川海秀会長)

18:48 18:55

ブロック大会実行委員長挨拶(鈴木喜典実行委員長)

18:53 18:58

ブロック大会運営委員長より長井大会の開催内容について(星川 務運営委員長)

19:03 19:08

ブロック大会運営委員会より詳細内容及び進捗状況について(各部会10分ずつ)

(梅津壮一郎 総務式典担当副委員長) (実施時間5分)
(高橋崇行 やまがたの元気継承担当副委員長) (実施時間5分)
(鈴木寛之 たからいち担当副委員長) (実施時間10分)
(佐藤天哉 PR担当副委員長) (実施時間5分)

- 19:43 19:33
ブロック大会メインフォーラムの内容について(星野浩志 地域連携推進委員会委員長)
※各担当者からはプロジェクターを使用して説明していただきました。
- 19:53 19:45
拡大セミナーの内容について(稲村洋一 やまがた協働運動実践委員会委員長)
- 20:03 19:49
憲法啓発事業の内容について(中村圭介 未来選択創造委員会委員長)
- 20:13 19:55
第4回アカデミープログラムの内容について(小林範正 アカデミー委員会委員長)
- 20:00
ブロック大会内容まとめ(星川 務運営委員長)
- 20:05
開催地主管LOM報告事項(樋口和哉副実行委員長)
- 20:23 20:14 質疑応答
20:26 20:14 監事講評(板垣洋一監事)
- 20:29 20:18
閉会の挨拶(椎名恭一副理事長) → (遠藤浩樹議長)に変更
- 20:30 20:20 閉会点鐘
20:40~22:00懇親会(9Fタスクス)

17 対外配付資料
資料名内容 1 決起会次第

18 人員配置・役割分担表
受付:遠藤 浩樹 総務部会長 事務局
司会:小関 幸一 事務局長
司会台本作成:樋口 和哉 副実行委員長
例会備品準備:事務局
例会横断幕作成:鈴木 喜典 実行委員長
例会事前配信資料準備取りまとめ:梅津 壮一郎 総括幹事
懇親会段取:遠藤 浩樹 総務部会長
宿泊手配:遠藤 浩樹 総務部会長

19 引用著作物の有無 無

20 事業目的達成の検証
ブロック大会の決起会ということで、長谷川会長をはじめとするブロック役員の皆様、そして全メンバーの出席は叶いませんでしたが、多くの長井JCメンバーに出席を頂き、決起会を通して主催と主管がひとつになって大会を構築していく気概と覚悟がより強固なものとなったと考えます。よって今例会の目的は達成できたと考えます。

21 実施上の問題点

- 【運営面】
・例会セレモニーの段取が悪かった。事前のリハーサルをしっかりと行う。
・メンバーの出席率が高かった。(長井JC出席率82%)
・決起会の形が良かった(外部参加者からの意見)
・実行委員会の紹介があれば良かった。
・ブロック大会に向けた良い意識付けになった。
・懇親会の設えが良かった。LOMメンバーが積極的に交流して良かった。
・各委員会が何をするのがわかった。
・とにかく決起会をとおして各LOMの方々と交流が出来て良かった。共に頑張りとう感じた。
- 【予算面】 無し
【その他】
・LOM内に対して情報共有がもう少し早くてもよかった。
・ブロック役員全員に案内をしてしまった。(当初予定、会長、副会長、委員長であった。)

26 引継ぎ事項 無し

27 審議対象資料一覧

◆電子資料
資料名内容 1 事業報告別添資料

28 各担当者所見
副実行委員長:樋口 和哉

大会開催一ヶ月以上前に実施したブロック大会決起会ですが、多くのメンバーに出席いただき心より感謝申し上げます。当初は開催時期が少し早いのではと感じておりましたが、早い段階で主催と主管が一同に会してそれぞれが大会を理解し、メンバー間の交流を深め意思統一を図れたことは非常に良かったと感じましたし、大会当日のメンバーそれぞれの気持ちが行動にも表れていたと感じました。お忙しい中、決起会に参加された皆様ありがとうございます。

実行委員長:鈴木 喜典

決起会と重なった主催、主管合同説明会の意味合いを持たせていただきました。翌日の長井黒獅子まつりの設営をブロック側に見ていただきたくて日程を定めました。ブロック大会は統一化された一つの事業だということ認識していただき良かったのですが分科会等ではやはり単独事業の感が開催まで残ってしまったこと悔いが残ります。主管である我々も当初非常に事業構築に四苦八苦していましたがこの時期になってようやく固まりつつあり、補足する内容も検討できる段階でした。次年度開催地では長井の経験をもっと活かしつつ更なるいい事業になるようしゃいっこしていきたいと思います。ありがとうございました。

第47回 山形ブロック大会 長井大会

1 事業の区分:公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

県内最大のJC運動発信の場である山形ブロック大会を1999年の長井大会開催以来15年ぶりに主管することとなり、2012年度より県民に開かれた大会を主催である山形ブロック協議会と主管である私たち長井青年会議所が共に創造し、地域の活性化へとつながるブロック大会を開催する必要があります。

4 事業目的

県民に開かれたブロック大会を通して主管地域の魅力の発信と、JC運動の発信を行う。

5 事業の検証方法とその手段

参加人数とアンケートをもって検証とする。

6 事業概要

山形ブロック協議会と共に会員の研修、交流、情報交換の場を提供するとともに、一般来場者に対しても意識変革の場を創出することで、よりよい地域の活性化に寄与します。

主管LOM担当案件

広報 あゆみ(総務局にて単独上程)新聞折り込み
CM(動画)30本 10日間
甞るプロジェクトチラシ(外部団体にて新聞折り込み)

アトラクション

式典アトラクション 白山皇大神社夫婦獅子 9:00~
たからいちオープニング 白山皇大神社夫婦獅子 10:30~
たからいち出演アトラクション シンガーソングライター AKEMIさん 14:00~
たからいち出演アトラクション 総宮神社黒獅子 16:00~
たからいち出演アトラクション バルーンアートたけさん 12:00~
たからいちブース 主管として食4ブース担当 飲料2ブース 10:30~17:30

西置賜4市町村ブース

ブース1 長井 丸川精肉店 甞るハンバーガー

草岡ハム 甞るフランク

ブース2 長井 ブランドオレ 甞るジェラート

萬寿屋 馬肉おこわ

福幸ファーム レインボー野菜

ブース3 長井 平野屋 玉こん

飯豊 田中畜産 米澤牛牛串

ブース4 白鷹 i-make 白鷹トマトパーラー

小国 小国産山形地鶏いも煮

飲料ブース1 まるきち酒店 生ビール ソフトドリンク
五蔵会 地酒
飲料ブース2 じゅえる カクテル ソフトドリンク
テンカラット カクテル ソフトドリンク
ブロック提出資料、ブロックチラシ、ブロックチラシ2
対外ポスター、メインフォーラムチラシ
たからいち協賛企業及びスケジュール看板設置 2基
(夢灯協賛看板を使用)
エクスカッション
長井おどり 18:30～ ジャンボタクシー
(定員10名)×2台にて送迎 一般来場者も搭乗可能

7 実施日時 平成26年7月5日(土) 午前10時～午後7時

8 実施場所・会場:

式典会場 長井市民文化会館
メインフォーラム会場 長井市民文化会館
分科会会場 長井市民文化会館
たからいち会場 白つづじ公園多目的広場
エクスカッション会場 長井駅前市道

9 事業対象者 県民、各地会員会議所会員

10 参加者募集方法

主管長井JC 長井JCホームページ、折込チラシ、CM、HP、
Facebook等
主催山形ブロック協議会 ブロック大会広報誌、ポスター、置チ
ラシ、うちわ、HP、Facebook等

11 決算総額: ¥975,990

12 特別の利害関係を有する理事 小関幸一

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有
する理事1名=13名
議決の成立する理事数=13名(議決権のある理事数)×2/3
以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	3名	3名
	その他メンバー	27名	29名
外部	各地会員会議所会員	800名	500名
	一般来場者	3000名	4000名
合計		3830名	4532名

15 外部協力団体及び協力種別

山形ブロック協議会	主催
各地会員会議所	協力
小出獅子連	協力
総宮獅子連	協力
長井市観光協会	協力
白鷹町観光協会	協力
飯豊町観光協会	協力
小国町観光協会	協力

16 実施プログラム

7月4日(金) 9:00集合 準備設営
■長井市役所表敬訪問 13:00～14:00
長井市役所 長井青年会議所
ブロック会長 担当副会長 主管理事長 実行委員長 玉橋委員
■成功祈願祭 16:00～17:00
総宮神社 長井青年会議所
会員会議所理事長 ブロック役員 ブロック大会運営委員会
長井青年会議所 長井JCメンバー
■式典リハーサル 17:30～18:30
長井市民文化会館
ブロック大会運営委員会 ブロック役員 会員会議所理事長
■メインフォーラムリハーサル 18:30～19:30
長井市民文化会館 地域連携推進委員会
地域連携推進委員会 前日酒宴はなし
■分科会リハーサル 19:30～20:30

長井市民文化会館 やまがた協働運動実践委員会
理事長専務会開催予定 歴代ブロック会長会開催予定
7月5日(土) 6:00集合

■大会式典 9:00～10:30(8:30開場) 長井JC
全員(6時集合)

長井市民文化会館ホール ブロック大会運営委員会(第4小委
員会)

来賓 県内外JCメンバー
■拡大セミナー(分科会) 10:40～11:40
長井市民文化会館 ホール

やまがた協働運動実践委員会
一般市民・メンバー

■地域活性化たからいち 10:30～17:30
白つづじ公園多目的広場 ブロック大会運営委員会(第2小委
員会) 6ブース長井JCブース担当者3名

一般市民・メンバー
■憲法啓発事業 11:00～17:30
たからいち会場ブース内 未来選択創造委員会

一般市民・メンバー
■やまがたの元気発信 10:30～17:30
たからいち会場ブース内 ブロック大会運営委員会(第3小委
員会)

一般市民・メンバー
■やまがたの元気継承 8:30～17:30
長井市民文化会館ホワイエ ブロック大会運営委員会(第3小
委員会)

一般市民・メンバー
■第4回アカデミープログラム 12:00～13:15
たからいちステージ アカデミー委員会

一般市民・メンバー
■メインフォーラム 13:30～15:00 長井JCより
3名支援

長井市民文化会館ホール 地域連携推進委員会
一般市民・メンバー

■フォーラムII 15:15～16:30
長井市民文化会館 大会議室 地域連携推進委員会

一般市民・メンバー
■エクスカッション(ながいあやめ踊り) 16:30～19:30
長井市 駅前までジャンボタクシーにて送迎

長井青年会議所 長井JCより5名支援
メンバー

■会員大懇親会 おもてなし GRANDE in長井西置賜
19:30～22:00 長井青年会議所全員

タスパークホテル
メンバー

人員配置、タイムスケジュール、駐車場人員配置、駐車場注意事項

17 対外配付資料 資料名内容
1 長井JC広報誌 あゆみ

18 人員配置・役割分担表
理事長:齋藤 繁喜 君
実行委員長:鈴木 喜典 君
専務理事:佐藤 真光 君
副実行委員長:樋口 和哉 君
総括幹事:梅津 壮一郎 君
総務・式典部会長:遠藤 浩樹 君
大懇親会設営部会長:井上 典嗣 君
大懇親会飲食部会長:椎名 恭一 君

19 引用著作物の有無 無

20 事業目的達成の検証
計画目標参加人数を大きく上回り、山形ブロック協議会側アン
ケートよりも好意的意見が多くみられた。地域の食文化の発信、
JC運動の発信がこれまでのどの事業よりもできたことは事情目
的を達成したと考える

21 実施上の問題点
【運営面】
(1)準備

1、全メンバー出席すると過信していたので正式にメンバーの出
欠を取らず、間際になって欠席が出たためそれぞれのメンバー
担当部分の変更が相次ぎ、人員配置に手間取った。

2、会場道路案内看板は目に入りやすい場所には必ずといってい
いほど、あやめ祭りの看板が設置されていたため他の電柱に設
置したが、しっかりと案内看板としての役割を果たせたかは疑問。

(2) 式典

- 1、式典リハでは統括すべき梅津副委員長がPP操作に追われ全体の指揮ができなかった司会台本も準備不足、2日間のリハだけでは不足。もっと準備すべき 人数不足
- 2、黒獅子の方に控室はどこか聞かれた時に即答出来なかった。受付始まる前に説明がほしかった。黒獅子アテンド不在、控室案内がない

(3) フォーラム、分科会

- 1、メインフォーラムは一般参加者が入ってきているのにJCメンバーが開始前はほぼおらず、ギリギリになって入ってくるという状態で、参加者もまばらだったためよけいに後から入ってくるメンバーが目立った。JCが時間が守れないと思われないうちに今後注意が必要ではないか。
- 2、参加者が150名程度だった。うちJCメンバーが7割~8割。JCメンバー向けではなく、一般の地域の方に対してもう少し集客を考えていかなければならないのではないか。
- 3、会場までの案内がない。人員が割かれたものの比較的スムーズにいったと思う。だが、誘導に際し看板を設置するなどし、もう少し人員は減らして現場の段取りの方に回る方がいいと思う。

(4) たからいち

- 1、午後4時前のフォーラムなどが始まった際には、ブースの出店者から人が居なくて1時間くらい売れてないので、撤収作業を行っていか相談があった。本部にも問合せたが、決まりでは5時30分となっているので、その時間まで居てほしいとのことだった。少し長すぎたのではないかと感じた。午後3時くらいまででも良いかと感じた。
- 2、机としますが、中央に集中し、売店との距離がありもう少しコンパクトにすると活気も中心に集中し、売店にも行きやすいと感じた。
- 3、ご飯ものをもっと用意すべきだった 昼ご飯対策 来場者、JCメンバーに楽しんでもらえてよかった アルコール提供はよかった5日は多くの学校で参観日があり、またながい踊り準備のためたからいちへの来客が出来なかったようです。

- 4、バルーンアートたけさんの場所を確保しておらず当日に場所と机を準備する事態となった。
テントあったほうがよかった

- 5、運営委員会側でも献血ブース?の場所をとっていなかったため急遽テントを準備して対応していた。骨髓バンク登録の場所

(5) 駐車場

- 1、駐車場~会場までの距離が少しあり近くに駐車場がもう少し確保できたほうが集客に結び付けることができたのかと感じました。知り合いも子どもづれで何かやっているから来てみたと言っていました。
- 2、メンバーと一般の駐車場入り口、分け方がわからなく、参加者を混乱させた。誘導人員配置を的確に行うべきだったと思う。看板が目立たない。式典会場への案内図がない。人員の割り振りがいまい
- 3、つつじ公園北口駐車場は、事前にななポート社員、アルカディアネットワーク社員専用駐車スペースがあることを認識しておらず、迷惑をかけてしまった。
- 4、つつじ公園北口駐車場はメンバーが駐車しないことになっていたが、運営委員会某メンバーや他JCメンバーが駐車して移動を促したが応じてもらえず、十分な駐車スペースが確保出来なくなり図書館利用者や、近隣飲食店利用者から苦情を多々受けた。
- 5、障がい者用の駐車スペースを確保すべきだった。(実際に一組来場された) 駐車場担当者に欠席者が出たためローテーションが計画どおり進まなかった。つつじ公園南側グラウンド駐車場はグラウンド奥から止めてもらう考えていたが誘導が甘く、入ってすぐのアスファルト部分に大半の車が駐車していた。ダム跡地駐車場だけで一般来場者、JCメンバーの駐車スペースが確保出来たのでは? 駐車場看板が見辛かった。
- 6、駐車場の看板が見辛かったようで、走行車線とは反対側の駐車場に入っていく人がいた。私は駐車場入口を担当しましたが、場内の誘導をしていた運営委員会の方が奥へ誘導していないようだった。駐車場の看板ですが、一般の人には「おいし~なたからいち駐車場」としたほうが分かりやすかったのでは。
- 7、日陰になる部分が全くない。テントの一つでもあるとだいぶ違った感じはあった。看板が見えないせいか、白鷹方面から来る車のほとんどが向かいの公園グラウンドの方に入って行った。
- 8、一人で担当したのだが、出入口が二つ有る為なかなか対応が不十分だった。二人は要ると思う。武道館で部活動をしている子供を迎えに来る親御さんもいて、少々対応が面倒だった。

【予算面】

- 1、計画段階で消費税増税がわかっていたにも関わらず加味していなかったため大幅に増額してしまった。

- 2、ブロック委員会の予算内情を把握できなかったためたからいちアトラクションなど過大な演出に費用を使ってしまった
- 3、CMは費用対効果を考えると効果が得られなかった、CMも有効に公開していければよかった

【その他】

- 1、式典アトラクション黒獅子舞は良かったという評価を多く受けた、タイムキーパーがしっかりしていて時間通りに終了した
- 2、予想を超える多くの参加者で急遽椅子を追加したりしたが本場に多くの参加者が来場された。
・地域とJCが有事の際に連携をとれるいいきっかけになったと思う。
- 3、エクスカッションながい踊りは意外とよかった 市長があいさつで盛り上げていた大予想を上回る参加者 200名 市民と触れ合い交流できた 面白かった 踊る時間が短かった
- 4、エクスカッションは市民にとってJCの印象を良くしたみたい。多くの方より好印象のお言葉を頂いた
長井おどりへの参加された方が多くいた。とても楽しそうにしていた。バスもちょうど良かったと思う。長井おどりはもう少し参加する時間があれば、長井のメンバーも楽しめた。

2 2 公益目的事業の種類 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

1 9. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2 3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2 4 公益目的事業のチェックポイント (1) 《公益事業の場合のみ記載》

9. 展示会、〇〇ショー

2 5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。たからいちという山形県内各所の食や特産品をPRするイベントで不特定多数の利益の増進に寄与している
- ②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例: テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/ 出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/ テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか (注) / 入場者を特定の利害関係者に限っていないか (注) 公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。
防災や公開討論会コーディネーター養成などのセミナーを開催し公益的テーマを実現するプログラムとなっている
- ③ (出展者を選定する場合、) 出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例: 出展料に不当な差別がないか) たからいちへの出展料は無料、選定に関しては公開して募集するなど公正に選定している

2 6 引継ぎ事項

公益大会になって3回目のブロック大会であったがそれぞれの目的が全く別のため同時間帯に開催することができると判断した結果集客を分散してしまった。式典、フォーラムなどは会員向けなのか一般向けなのかをはっきり区別しそれに伴う広報をすべきであった。今大会は広報面では十分な質と量を提供できたが集客が思った以上ではなかったということは内容が現代ニーズに合致していないということを考えねばならない。たからいちに関しては大会とは別日程で開催すれば前回までの各地お祭り文化などの発信を効果的できると思う。この2つの事業を別日程で開催することにより更なる価値を提供できるのではないだろうか。また主管LOMの費用負担が膨大なためブロック側で十分な予算供出を実行してほしい。主管実行委員長もブロック役員として会議に参加できれば情報の共有化にもつながると考える。主管側からも担当副会長などを排出できればいいと思う。

2 7 審議対象資料一覧

◆電子資料

資料名内容 1 事業報告別添資料

2 8 各担当者所見

副実行委員長: 樋口和哉

「第47回山形ブロック大会長井大会」皆様いかがでしたか

しょうか。山形ブロック協議会が主催する県内最大のJC運動発信の場であるブロック大会を15年振りに開催地主管として運営に携われたことは自分自身にとってもメンバーひとり一人にとっても良い経験になったことと思います。準備当初は運営委員会と我々実行委員会の協力体制がいまひとつかみ合っていなかったために互いの想いに温度差が感じられた部分はありましたが、本番が近づくとつれ、ひとつになって大会を成功に導くという覚悟が出来ていったと感じました。

当日は晴天に恵まれたなかでの開催、自分自身は主に裏方でしたので各ファンクションに参加することは出来ませんでした。式典やたからいち、それぞれの事業等で果たすべき目的は達成できたのではないのでしょうか。ブロック大会はJCが存在する限り続くと思いますが、その時代やその地域にあわせた大会を創造していくことが大切なのではないかと改めて感じました。協力していただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

実行委員長：鈴木 喜典

長井青年会議所としては15年ぶり4回目のブロック大会主管、前回のノウハウは無いにも等しいなか当時のOBからも様々な情報をお聞きし想いを参考にさせていただきました。また昨年度寒河江大会にて運営委員会委員長長樋口和哉君他多くのメンバーを輩出して学ばせていただきました。多くの学びを得ての今年度大会主管となりましたが主管側は無知識、目指すべきかたちの創造からのスタートとなりました。ブロック運営委員会とも手探り状態での計画となりましたが主管側考えを早期に伝え、ブロック側もそれを受け計画決定を前倒して実施しました。ブロック役員もお呼びした決起会を開催し高揚感を盛り上げ、メンバー全員が大会成功を目指してまい進できる体制をとることができるようになったことは大変評価できるのではないのでしょうか。ブロックの委員会それぞれ提供するフォーラムの想いを大会として統一できたかはまだまだでした。この課題はお伝えし、検証材料としてもらいたいと強く考えます。大会全体としては成功の形ではありましたが箇所箇所様々な問題がありそれを事前に対処するためには組織力、上司力の向上が必要です。それをしっかり学ぶことができた大会でありました。それにつけても楽しかった、ほんとは楽しかった、多くの同志と共にこの大会を築けたことは私自身のJC生活、人生において大きな意味を持つものだと思います。齋藤理事長をはじめとした委員会メンバー、ブロック協議会すべての同志、この大会に関わったすべての皆様に最上の感謝をお伝えします。来年の村山大会では今年度学んだスキルを十分にお伝えし関わっていきたいと思います。最後に私がOBとして参加するであろう15年後の長井JC主管ブロック大会を楽しみにして所見とさせていただきます。ありがとうございました。

第47回 山形ブロック大会 長井大会 大懇親会

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
今年度2014年、山形ブロック大会長井大会が15年ぶりに長井青年会議所主管のもと開催されます。ブロック大会が公益的の大会になって事業目的もわかれてきました。たからいちでの主管地域及び県内の地域活性化、フォーラムや分科会によるJC運動の発信、そして県内JCメンバーの交流とスキルアップ。この最後の目的を達成すべくブロック大会の最後に会員による交流の場、ブロック大会大懇親会が必要と考え長井JC主催によって開催します。
- 事業目的
会員の交流と親睦そしてJC三信条の一つ、世界との友情を育むことを目的とする
- 事業の検証方法とその手段
県内会員の登録数100%、参加した会員の口頭での評価を検証方法、手段とする
- 事業概要
会員間の交流を主目的に長井西置賜の地場の食、酒を提供、アトラクションでは会員すべてが楽しめる内容にします。また次回

開催地への大会成功の鍵、ブロック旗の伝達、最後は参加会員全員での若い我ら合唱 主題 第47回山形ブロック大会
長井大会 山形ブロック大会 大懇親会
副題 Link Together 山形の矜持は我々が取り戻す！
おもてなしGRANDE IN 長井西置賜
～ごぞつておごやつて おしよしなっし(*^-^*)～

◇コンセプト

今年度山形ブロック大会主管公益社団法人長井青年会議所より山形ブロック協議会各地委員会会議所メンバー、来賓JCメンバー、長井JC OBメンバー皆様に対し、心からの感謝、御礼を込めまして歓迎振る舞いをいたします。
デステイネーションキャンペーン期間中
この思いを「おもてなしGRANDE」として称して提供開催いたします
会費 ￥3,000 ×約473名
外部参加者会費 ￥6,000×8名

- 実施日時 平成26年7月5日(土)
午後7時半～午後10時
- 実施場所・会場：タスパークホテルコンベンションホール1, 2
- 事業対象者 各地委員会会議所会員、長井JC OB
- 参加者募集方法 各委員会会議所へのPR、事前登録
- 決算総額：￥283,214
- 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 決議の条件
議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名
議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	3名	3名
	その他メンバー	31名	31名
外部	各委員会会議所メンバー	400名	443名
	来賓JCメンバー	20名	0名
	長井JC OB	40名	6名
合計		494名	483名

16 プログラム

18:30 受付開始 総務部会担当 受付
18:30 開場 ウェルカムドリンク提供 ノンアルコール
総合司会 風間総務副部長 司会台本
アトラクション司会 齋藤圭大 鈴木あゆみ 司会衣裳

次第PP

19:30 席次 看板
次年度ブロック大会開催地への成功の鍵伝達式
運営委員会担当
オープニングムービー
ブロック会長挨拶
主催理事長挨拶
乾杯 鹿又直前プロ長
食材紹介 ランタン
アトラクション アトラクションスケジュール
ストップモーションムービー
ダンスアトラクションダンス スタジオイブさん
17LOM対抗戦
若い我ら合唱
中締め 大竹長井JC OB会会長
クロージングムービー
20:00 御礼 鈴木実行委員長
2次会のご案内 コンシェルジュ 総務部会

17 対外配付資料

資料名内容 1 山形ブロック協議会対内ポスター

18 人員配置・役割分担表

理事長：齋藤 繁喜 君

実行委員長：鈴木 喜典 君 人員配置
専務理事：佐藤 真光 君
副実行委員長：樋口 和哉 君
総括幹事：梅津 壮一郎 君

総務・式典部会長：遠藤 浩樹 君 風間副部会長 総務部会資料
◇総務部会
事前登録案内 5月理事会時に審議
領収書
通帳作成管理 金銭管理
会場予約
宿泊事前登録管理
受付、司会、司会台本
2次会設営、コンシェルジュ、ナイトガイド、ナイトブース
観光マップ作成

大懇親会設営部会長：井上 典嗣 君 影山副部会長 設営部会資料
◇設営部会
会場設営、席次、設置備品、看板、国旗 J C 旗等
会場装飾、出演者控室アテンド
アトラクション全般
アトラクションについて
観光的アトラクション、参加型アトラクションを検討していただき
とにかく笑顔あふれ時間を忘れさせてくれるひと時を提供する
西置賜独自の文化を盛り込んでいただく
ゲーム要素も盛り入れて
友情と交流そして J C としての矜持を取り戻す
トロフィー順位

大懇親会飲食部会長：椎名 恭一 君 小関副部会長 飲食部会資料
◇飲食部会
会場会費交渉
休憩所 ウェルカムドリンク
会場側からの食事、飲料の交渉、
持ち込みし飲食の検討、ブース設置
飲食説明
飲食について

5年前の長井 J C 周年を参考に長井西置賜の食、飲料を提供検討
ただ提供するだけではなくおもてなしの要素を盛り込んであつと
言わせる美味を!!

19 引用著作物の有無 無

20 事業目的達成の検証

県内メンバー約700名中懇親会登録者は473名68% 登録100%を
としていたためこの事業目的は達成できなかった。参加者からの
口頭での意見は多くの参加者より着座によってゆっくり交流、親
睦ができたとお声を頂き、また笑顔で懇親会を楽しんで頂いて
いる様子が多く見られたことはもう一方の事業目的を達成したと
思う。

21 実施上の問題点

【運営面】

- 1、会場との打ち合わせ、リハーサルをもっと時間をかけて行い、
当日もリハーサルをするべきだった。また、会場担当者にわかり
やすいシナリオを渡すべきだった
- 2、事前リハーで打ち合わせた事(照明、音楽のタイミング。音量等
伝わらなかった)
音量はハウリングするのでこれ以上は無理と断られましたため
音量が小さかった
- 3、とにかく準備するのが遅く余裕が無かった。
- 4、OBの方々は非常に居心地悪そうに見えた、現役会員のみでい
いと思う
- 5、成功の鍵の伝達はブロック段取りでしたので、油断していたた
め、鍵の受け渡しがおたつてしまった
- 6、料理がいっきに無くなり、食べられない会員がいました。テー
ブル毎に分けて配膳した方がよかったのでは
- 7、受付でシールを全員にひかせる方法だったために受付会場が
混乱。各LOMに受付時一括して渡してもよかったのではないか。
受付時に、スムーズに会場内に入ってもらうように声がけて
誘導しなければならなかったが、メンバーに声を出していただ
くことが不足していた。
- 8、各LOMのPRの時間で、事前調整を忘れていた。特に1番目の
LOMの準備時間がない状態だった。
- 9、実参加者のチェックができなかったため、結局正確な参加人数
は不明だった
- 10、PCの映像と音声のセッティングがよくなかったためにもたつ

いた

【予算面】

- 1、昨年同様な会費を3000円に設定していたがたからいちと別の内
部会場だったため設定予算を大きく上回ってしまった。料理な
どで減額したため参加者には十分な提供をできなかった。内部
会場の場合は5000円を登録料設定したほうが妥当だった。
- 2、アトラクション、設営などでは支出金額で十分なサービスを提
供することができたと思う。
- 3、衣装などは一回のアトラクションのためには金額が多かったと
思う。

【その他】

- 1、夢灯ランタンに手書きのメッセージは良かった。理事長が挨拶
で触れてくださったので多くの方が見てくれた
- 2、17LOM対抗アトラクションが思っていた以上に盛り上がった
- 3、地酒が大変好評だった
- 4、しっかり椅子とテーブルがあつてしかも屋内での大懇親会は経
験したことがないので良かった。との声を多くの方から頂戴した。
メンバーによる検証報告一覧、総括報告書

26 引継ぎ事項

公益の大会となって3回目の山形ブロック大会の懇親会、今ま
での2回は前夜祭の要素がある懇親会として主に屋外会場で開催
されてきましたが長井大会では1日開催の最後のフィナーレとし
て夜間、屋内で大懇親会を設営させていただきました。次年度以
降への伝達提案としてはブロック大会登録料とは別に懇親会会費
をしっかりと頂く。屋内着座だと疲れを癒すことができる。主管
LOMのご当地食を目いっぱい提供して参加者楽しんでもらいた
い。PRに時間をとられがちなので検討する。交流要素をもっと盛
り込んでもらいたい。準備、リハは何回してもやりすぎはないの
で十分な時間をとって準備してもらいたい。

27 審議対象資料一覧

- ◆電子資料 資料名内容 1 事業報告別添資料
- ◆配付資料・回覧資料 資料名内容 1 無

28 各担当者所見

副実行委員長：樋口 和哉

開催地主管である我々、長井青年会議所が総力を挙げてOBの皆
様、県内各地よりお越しのメンバーの皆様で最高のおもてなしの
心をもって設えた大懇親会。準備段階から場所の選定、アトラク
ション内容、料理メニュー選定等、設営部会、飲食部会メンバ
ーが中心となって悩み苦しみ汗水流し、日夜協議を重ね準備して当
日を迎えた大懇親会。

細かい部分での反省点は尽きませんが、何よりも最後までおれ
ずにメンバーひとり一人がおもてなしの心をもって接したことで、
来場された皆様に満足の頂ける大懇親会だったと感じました。こ
のように多くの長井青年会議所メンバーと共にひとつのことに一
体感を以って取り組めたことは今後の我々の運動への糧となるこ
とでしょう。

協力していただきました皆様、本当におしよしなっし!

実行委員長：鈴木 喜典

この大懇親会はブロック大会主管である我々長井JCのメイン
事業というべきものです。実行委員会組織ではすべてのメンバー
が立案、実行に取り組んで頂き、その力を十分に発揮していただ
きありがとうございます。多くの参加者よりお褒めの言葉を頂
き、達成感で胸熱くしました。立案の初動段階で様々な意見を頂
き調整し築き上げたものを実行に移すには100倍も困難を要します。
私自身ブロック大会本会の計画実施で手いっぱいになり、大懇親
会をしっかりと管理できなかったことを反省しております。LOM
事業の忙しいさなかの実施ということで各部会には苦勞を掛けま
したがやはり準備不足があり多くの反省点を残すこととなりました。
これを糧に更なる未来へまい進できるようメンバー全員の成長
を期待します。あと15年、私がOBとなり、長井JCが主管する
ブロック大会懇親会へ参加できることを期待し所見とさせていた
だきます。誠にありがとうございました。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2013/10/22 (火)	J C ル ー ム	19:00～ 24:00	鈴木喜典・樋口和哉	長井大会について
2013/10/28 (月)	J C ル ー ム	20:00～ 22:45	樋口和哉	議案修正
2013/11/11 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉	長井大会日程、スケジュール、職務分掌について
2014/1/13 (月)	J C ル ー ム	19:00～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤浩樹・星川ブロック大会運営委員長	実施までのタイムスケジュール、シンボルマーク、スローガン、主管文について
2014/1/20 (月)	寒河江市技術 交 流 プ ラ ザ	19:00～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤浩樹・齋藤理事長・佐藤専務・ブロック大会運営委員会スタッフ	実行委員会とブロック運営委員会との合同委員会 大会名称 シンボルマーク スローガン
2014/1/28 (火)	J C ル ー ム	19:00～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤浩樹・齋藤理事長・佐藤専務	大会名称 シンボルマーク スローガン
2014/3/5 (水)	J C ル ー ム	19:00～ 22:00	樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤浩樹・椎名恭一・井上典嗣・齋藤理事長・佐藤専務	大会内容について
2013/3/12 (水)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/3/13 (木)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/3/18 (火)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/3/24 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/3/31 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/4/18 (金)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長	大会内容について
2013/4/2 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務・鈴木BL副委員長	大会内容について
2013/5/7 (水)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務・運営委員会	大会内容について
2013/5/21 (水)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務	大会内容について
2013/6/9 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務	大会内容について
2013/6/18 (水)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務	大会内容について
2013/6/24 (火)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務・椎名恭一・井上典嗣・小関弾	大会内容について
2013/6/30 (月)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・梅津壮一郎・遠藤弘樹・齋藤理事長・佐藤専務・椎名恭一・井上典嗣・小関弾	大会内容について
2013/7/22 (火)	J C ル ー ム	19:30～ 22:00	鈴木喜典・樋口和哉・齋藤理事長・椎名恭一・井上典嗣・小関弾	大会決算報告について

ひとつくり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 椎名 恭一
- 委員 遠藤 譲一
- 委員長 小関 弾
- 委員 小松 龍侍
- 副委員長 佐藤 和之
- 委員 川合 直仁
- 幹事 小笠原信吾
- 委員 山口 康幸
- 委員 那須 丈雄
- 委員 船山 裕紀
- 委員 渡部 清隆

委員長所感

青少年育成事業を担当する当委員会では、子どもたちの健全育成のためにできることを真摯に考え、全員全力で取り組んでまいりました。事業を遂行するにあたっては、地域の多くの皆様にご理解ご協力をいただけたことを心から感謝しております。また、運営にあたっては、個性豊かで多彩な技能を持った委員、そしてメンバー全員の力なくしては、いずれの事業も完遂できなかったものです。当委員会の事業に参加・協力・支援いただいたすべてのみなさまに、尊敬の念を込めてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

地域の子どもたちが明るい未来を築いて暮らしていくために、公益法人たる長井J.Cのメンバーが一丸となって今なすべきことに取り組んでいくことを願い、次代に襷をつないでいこうと思います。一年間、ありがとうございました。

年間事業報告

第23回J.C杯中学野球大会（春季）

- 1 事業の区分：公2. 青少年育成事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（1） 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業
- 3 事業実施に至る背景
22年間継続してきたJ.C杯中学野球大会は、中学生が日々の練習の成果を発揮する貴重な経験の場です。この実戦の場を通して、練習の成果を確認しつつ、新たに自らの課題を見出し、さらにその課題に対して目標を持って取り組んでいくことができます。また、共に試合に参加していくことで仲間とのコミュニケーションを深める絶好の機会にもなり、対戦相手との関係性を保っていく社会性を身に付けていくことができます。こういった場が成長期の中学生には必要です。
- 4 事業目的
中学生の自己分析力と課題解決力を高め、また、社会性を身に付けていくことを目的とした。
- 5 事業の検証方法とその手段
参加者にアンケートをとり、集計することで検証を行った。
- 6 事業概要
地域の中学校に参加を呼びかけ、学校対抗のリーグ戦を行った。
- 7 実施日時：平成26年5月3日（土）、4日（日）
- 8 実施場所・会場：長井北中学校グラウンド、長井南中学校グラウンド、飯豊町営球場
- 9 事業対象者 長井市、西置賜地域及び近隣の地域の野球部に所属する中学生
- 10 参加者募集方法 長井・西置賜地域のすべての中学校6校に案内を送付。また中学校より推薦があった長井・西置賜以外の中学校へも案内を送付した。

- 1.1 決算総額：¥102,794
- 1.2 特別の利害関係を有する理事 以上0名
- 1.3 決議の条件
議決権のある理事=理事12名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=12名
決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 1.4 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	6名	6名
	その他メンバー	10名	14名
外部	中学生	150名	125名
	先生（顧問）	9名	8名
	審判員	6名	4名
	合計	181名	157名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井市野球協会	共催
西置賜地区中学校体育連盟野球専門部	主管
すば一つ品ミヤカワ	協賛

1.6 実施プログラム

【参加校】長井南中学校・長井北中学校・白鷹東中学校・白鷹西中学校・飯豊中学校・小国中学校・宮内中学校・沖郷中学校の8チームによるリーグ戦。

【会場】下記組み合わせ結果表記載のとおり

【流れ】

- 5月3日（土）※各会場ごとに実施
- 6：00 飯豊会場にて天候判断
- 7：30 メンバー集合
- 7：35 メンバー内会議
- 7：40 グラウンド担当学校にあいさつ
運営責任者にあいさつ
参加校顧問にあいさつ
審判員にあいさつ
- 8：00 監督会議
- 8：10 開会式
開会の言葉（会場担当の先生）
主催者あいさつ（理事長および副理事長）
選手宣誓
注意事項連絡・閉会の言葉（会場担当の先生）
- 8：30 シートノック（各チーム7分）
- 8：55 始球式
- 9：00 第1試合開始
- 11：00 第2試合開始
- 11：15 弁当配布
- 14：00 第3試合開始
- 16：00 2日目会場の調整連絡
会場一時撤収（施錠等の確認、備品の確認）
グラウンド担当学校にあいさつ
- 5月4日（日）

8:30 メンバー集合
 8:35 メンバー内会議
 グラウンド担当学校にあいさつ
 参加校顧問にあいさつ
 審判員にあいさつ
 9:00 第1試合開始
 11:00 第2試合開始
 11:15 弁当配布
 14:00 第3試合開始
 15:30 閉会式(南中会場)
 開会の言葉(競技委員長)
 結果発表
 トロフィー授与
 講評(審判員代表)
 閉会の言葉(競技委員長)
 会場撤収
 グラウンド担当学校にあいさつ

【組み合わせと結果】

優勝：長井南中学校
 2位：飯豊中学校
 3位：白鷹東中学校
 4位：宮内中学校
 5位：沖郷中学校
 6位：長井北中学校
 7位：白鷹西中学校
 8位：小国中学校

1日目(5月3日)

Aブロック 飯豊会場(飯豊町営球場)

第1試合 8:45~10:25

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
飯豊	0	2	0	3	1	1					7
白鷹西	0	0	0	0	0	0	x				0

第2試合 11:00~12:20

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹西	0	0	0	0	0	0	0				0
沖郷	0	0	0	0	1	0	x				1

第3試合 13:10~14:50

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
沖郷	1	0	0	0	0	0	0				1
飯豊	0	1	1	2	0	0	x				4

Bブロック 南中会場(長井南中グラウンド)

第1試合 8:40~10:30

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井南	6	0	0	2	0	0	0				8
宮内	0	0	0	1	1	0	0				2

第2試合 11:40~ 1時間30分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
宮内	0	3	0	2	0	1	8				14
小国	0	5	0	0	0	0	1				6

第3試合 13:50~15:10

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
小国	0	1	1	0	0						2
長井南	2	2	2	0	3	x					9

Cブロック 北中会場(長井北中グラウンド)

第1試合 8:45~10:15

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井北	0	0	0	0	0						0
白鷹東	0	5	3	0	x						8

第2試合 10:45~12:00

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹東	0	1	1	2	1	4	0				9
長井北	1	1	0	0	0	1	0				3

2日目(5月4日)

予選1位リーグ 南中会場(長井南中グラウンド)

第1試合 9:00~10:45

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井南	2	0	5	2	4						13
飯豊	0	1	0	1	1	x					3

第2試合 11:00~12:30

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
飯豊	1	1	0	0	1	0	2				5
白鷹東	0	0	2	0	0	0	0				2

第3試合 13:45~15:20

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井南	1	1	0	0	0	2					13
白鷹東	0	0	0	0	0	0	x				0

予選2位リーグ 北中会場(長井北中グラウンド)

第1試合 8:40~10:00

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井北	3	0	0	0	3						6
沖郷	4	0	1	0	8	x					13

第2試合 10:20~11:50

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
沖郷	0	0	0	1	1	0	1				3
宮内	0	1	1	0	2	0	x				4

第3試合 12:50~14:20

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井北	0	0	1	0	2						3
宮内	2	5	3	0	x						10

予選3位リーグ 飯豊会場(飯豊町営球場)

第1試合 8:50~10:25

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹西	1	0	5	9	0						15
小国	0	2	0	0	1	x					3

第2試合 10:50~12:25

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹西	3	1	0	0	1	0	2				7
小国	0	0	0	0	0	0	0				0

17 対外配付資料

資料名内容

- 2014 J C 杯賞状デザイン
- 2014 J C 杯お礼状
- 2014 J C 杯アンケート集計

18 人員配置・役割分担表

当日まで

備品購入：遠藤譲一、小関弾
 文書発出：小関弾
 賞状印刷依頼：小関弾
 トロフィー準備：小関弾
 メガホン準備：各会場担当
 横断幕準備：小関弾

当日

会場担当(兼写真係)
 飯豊：小関弾

北中：小笠原信吾，那須丈雄
南中：佐藤和之，遠藤謙一
会場担当役員（主催者あいさつ）
飯豊：齋藤繁喜
北中：井上典嗣
南中：椎名恭一

弁当購入・配布：玉橋恵子
事後

アンケート回収：小関弾
アンケート集計：小関弾
賞状持参：小関弾

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

中学生のアンケート結果から次のとおりを検証した。

2014 J C杯アンケート集計

回答総数：106 1年 4 (3.8%)
2年 49 (46.2%)
3年 53 (50.0%)

Q2：今大会を通じて次の課題や目標を見つけることができましたか？

A2：はい 101 (95.3%)

いいえ 5

※「いいえ」としても次の目標を記載している。

★大会に参加して課題を見つけたと回答している中学生が100%に近い。本事業の目的において、中学生が自己分析により課題を見つけることについて、100%近く達成していると考え。

Q3：今まで J C杯野球大会に出場した事はありますか？

A3：5月 ある 65 (61.3%)

ない 37 (34.9%)

無回答 4

10月 ある 71 (93.4%) 西置賜のみ

ない 5

★5月・10月時点での課題を解決したか否かについて、このアンケートのみではわからない。しかし、今大会が中体連直前期に課題を発見するための位置づけととらえる回答が少なくな（アンケート集計参照）、必然的に自分の課題を短期的に解決していくための行動をとることが容易に想像できる。よって、本事業の目的において、中学生が課題解決力を高めていくことについて、おおむね達成していると考え。

★回答中、自己分析にとどまらず、他メンバーとの関係について言及するもの（声がけ、確認の大切さ等）、他チームとの関係について言及するもの（マナー、実力差等）などが少なからずあった。本事業の目的において、中学生が社会性を身に付けていくことについて、達成していると考え。

21 実施上の問題点

運営面において、J Cが主催であることを明確に理解した上で、関係者間でちょうどよい距離に立ち位置をとらえて当日参加をしていくべきだが、そのために綿密な準備が必要である。特に、競技委員長・当会議所委員長間の意思疎通が重要。直前期には、会場担当者・運営責任者、備品担当者・協賛会社といった各レベルでの関係調整が大切である。

予算面において、審判員への謝礼の見直しを行う必要があると考える。正式な審判員の負担が大きいことから、昨年よりグラウンドに立つ審判員が球審・塁審ともに保護者となった。いまは従来通り一試合あたり2,000円を正式な審判員にお支払しているが、減らすことも検討してはいかかかと考える。

その他として、先生方からのアンケート回答で、球審は公式審判員にしてほしいという声が多い。前回から保護者にした経緯は、昨今の公式審判員の高齢化や、なり手不足の問題によるとのことだが、何とか解決をして参加者の希望に沿える工夫をしたい。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると

考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

15. 競技会

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井市、西置賜地域のすべての中学校の野球部へ案内を送付して、参加の機会を得られるようにした。

②公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。

（例：親睦会のような活動にとどまっていないか）

野球大会として公式戦に準じて運営を行うことや、競技を通じて中学生の心身の健全な育成を目的としており、公益目的の趣旨に沿った。

③出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

対象地域の野球部のあるすべての中学校に対して案内を送付した。競技は、公式審判員を起用した。ルールについては、公式競技規則等に則り、大会要項において事前に送付案内をした。

④0

26 引継ぎ事項

・運営責任者、会場、審判、会場担当者間での打ち合わせ・調整を綿密に行うこと。

・北中会場のトイレは、生涯学習課および地元消防団で体育館のカギを借りる必要がある。

・予備日を設け、優勝校が決まらないことがないようにすべき。

・段取りはマニュアル化して進めてしまうべき。その上で臨機応変に対応することを心掛けるべき。

・2日目の会場について、会場担当校が極力離れないように配慮するように要項を作り直すこと。

・審判員の領収書に住所を記載してください。

・審判員の謝礼が適切かどうか、しっかり検討してください。

・公式審判員の負担が大きいため球審も保護者が担当しているが、学校顧問からは公式審判員に担当していただくことを望んでいる。今後、その希望に沿えるよう、かつ、現実的な対応について検討を重ねていく必要がある。

・今後の開催において、単に継続するだけではなく、参加校を広域化したり、地域を巻き込んだりなど、さまざまな工夫を期待したい。

27 審議対象資料一覧

◆電子資料

資料名内容 1 事業報告書（別添）

28 各担当者所見

委員長：小 関 弾

早めに連絡調整して準備を進めた結果、準備期間から開催当日に至るまで、スムーズに運営することができ、参加した中学生やその保護者、先生方すべての関係者が試合に集中することができたと思われる。特に大きなトラブルもなく、突然の組み合わせ変更や会場変更にも臨機応変に対応することができた。今後も、当日は何らかの緊急対応があることを心にとどめ、平常の準備はマニュアルに基づいて入念にしておくべきだろう。当会議所内部としては、会場担当のメンバーが初めての対応であるにもかかわらず、とても的確な対応をしていただいたことや、多くのメンバーに参加していただいたことが、今大会の成功を裏付けるものと考えられる。

担当副理事長：椎 名 恭 一

今年は数年ぶりに2日間開催することができ、新しい優勝カップを授与することができた。また、多くのメンバー参加いただき大いに盛り上がった大会となりました。また、各会場、会場責任者と J C会場担当者が事前に打ち合わせをしたことでスムーズな運営をすることができました。中学生にとっては、数少ない公式戦という貴重な場で、課題解決力を高める素晴らしい事業なので、今大会の問題点、引継事項を踏まえ、J Cが学校と審判との仲介者となり、来季以降もよりよい大会となることを望みます。

第23回 JC杯中学野球大会（秋季一年生の部）

1 事業の区分：公2、青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1） 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

22年間継続してきたJC杯中学野球大会1年生の部は、中学1年生が対外試合に臨むことができる数少ない実践の場であり、貴重な経験の場です。この実践の場を通して、自らの課題に早期に気付いていくことや、その課題に対して目標を持って取り組んでいくことができます。また、共に試合に参加していくことで仲間とのコミュニケーションを深める絶好の機会にもなるし、対戦相手との関係性を保っていく社会性を身に付けていくことができます。こういった場が、中学1年生には特に必要だと思います。

4 事業目的

経験の少ない中学1年生において、早期に自己分析力と課題解決力を高め、また、社会性を身に付けていくことを目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

参加者にアンケートをとり、集計することで検証を行った。

6 事業概要

地域の中学校に参加を呼びかけ、学校対抗のリーグ戦を行った。

7 実施日時：平成26年10月4日（土）

8 実施場所・会場：長井北中学校グラウンド、長井南中学校グラウンド（飯豊町営球場 ※親善試合のみ）

9 事業対象者

長井市、西置賜地域の野球部に所属する、1年生を中心とした中学生

10 参加者募集方法

長井市、西置賜地域の中学校6校に案内を送付。

11 決算総額：¥41,157

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事12名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=12名

決議の成立する理事数=12名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	6名	3名
	その他メンバー	10名	8名
外部	中学生	120名	68名
	先生（顧問）	6名	6名
	審判員	2名	3名
合計		144名	88名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市野球協会	共催
西置賜地区中体連	協力
西置賜地区中学校体育連盟野球専門部	主管
榎末広スクール・スポーツ部門	協賛

16 実施プログラム

【参加校】長井南中学校・長井北中学校・白鷹東中学校・白鷹西中学校・飯豊中学校・小国中学校
6チームによるトーナメント戦

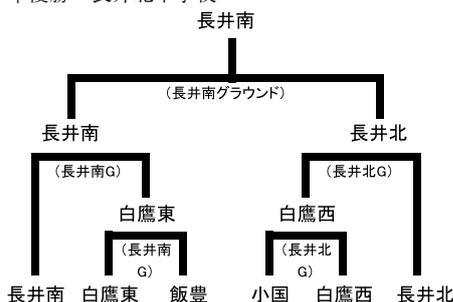
【会場】下記の組み合わせ結果表記載のとおり

【流れ】

10月4日（土）※各会場ごとに実施
7：00 南中会場にて天候判断
7：30 メンバー集合
7：35 メンバー内会議
7：40 運営責任者にあいさつ
参加校顧問にあいさつ
審判員にあいさつ
8：00 監督会議
8：30 シートロック（各7分）
9：00 第1試合開始
11：00 第2試合開始
11：15 弁当配布
14：00 第3試合開始
16：00 表彰式：大会副会長梅津校長先生（北中）
会場撤収（施錠等の確認、備品の確認）

【組み合わせと結果】

優勝：長井南中学校
準優勝：長井北中学校



長井南中グラウンド

第1試合 9：00～10：00

	1	2	3	4	5	合計
白鷹東	0	1	0	1	0	2
飯豊	0	1	1	2	x	4

第2試合 10：30～11：30

	1	2	3	4	5	合計
白鷹東	0	0	1	0	0	1
長井南	0	2	2	3	x	7

決勝 13：30～14：30

	1	2	3	4	5	合計
長井南	1	3	8	x		12
長井北	1	0	1			2

長井北中グラウンド

第1試合 9：00～10：05

	1	2	3	4	5	合計
小国	1	0	0	3	0	4
白鷹西	1	0	1	0	0	2

第2試合 10：20～11：30

	1	2	3	4	5	合計
長井北	4	1	3	1	0	9
白鷹西	4	0	3	0	1	8

17 対外配付資料 資料名内容

- 2014 JC杯賞状デザイン
- 2014 JC杯一年生お礼状
- 2014 JC杯アンケート集計

18 人員配置・役割分担表

当日まで
備品購入：遠藤譲一
文書発出：小関 弾
賞状印刷依頼：小関 弾
その他備品準備：小関 弾
当日

会場本部担当(兼写真係)

北中:小笠原信吾

南中:小関 弾

会場役員

北中:椎名恭一

南中:齋藤繁喜

弁当購入・配布:山口

事後

アンケート回収:小関 弾

アンケート集計:小関 弾

賞状持参:小関 弾

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

中学生のアンケート結果から次のとおりに検証した。

2014 J C 杯中学野球一年生大会アンケート集計

回答総数:32(生徒30,先生2)

Q1:試合を通して思った事、感じた事を自由に書いてください。

Q2:今大会を通じて次の課題や目標を見つかることができましたか?

A2:はい30(100.0%)
いいえ0

Q:どのような課題ですか?

A:バッティング 22 走塁 9
守備 18 声掛け 13
精神面 5 体力面 8
チームワーク 8 その他 0

★実戦経験の少ない中学一年生が自己分析をして課題を見つけ、その解決に向かって動き出すきっかけとすることを目的としているところ、アンケートで課題を見つけたと回答した生徒が100%であり、本事業の目的を達成していると考え。

★アンケート内容からは、チームとしての声かけや自分のことだけでなく全体についての感想も散見され、社会性を身に付ける上での意識付けの機会にもなったと考える。

★アンケート内容からは、まだ強い目的意識を有していない一年生が、これからの成長に向けてモチベーションを上げられた様子が見て取れ、本事業の存在意義が明確にされている。

21 実施上の問題点

運営面において、競技委員長たる顧問の先生と審判の方、J C 側の担当者の三者において、事前に連絡調整することで、かなり運営がスムーズに進む。要綱を事前に顧問の先生に確認いただき、修正しておくことが必要。

予算面において、審判への謝礼は、一試合3,000円が平均的な中、税別2,000円は安い。これ以上の値下げは望めないと考える

その他において、公式の審判員に球審をしていただけたことはとても良かったことであるが、今後、審判のなり手不足や高齢化に伴い、直接審判をお願いすることも難しくなるのかもしれない。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

15. 競技会

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

① 当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。長井市、西置賜地域のすべての中学校の野球部へ案内を送付して、参加の機会を得られるようにした。

② 公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。(例:親睦会のような活動にとどまっていないか)

野球大会として公式戦に準じて運営を行うことや、競技を通じて中学生の心身の健全な育成を目的としており、公益目的の趣旨に沿った。

③ 出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

対象地域の野球部のあるすべての中学校に対して案内を送付した。競技は、公式審判員を起用した。ルールについては、公式競技規則等に則り、大会要項において事前に送付案内をした。

④ 0

26 引継ぎ事項

・運営責任者、会場、審判、会場担当者間での打ち合わせ・調整を綿密に行うこと。

・北中会場のトイレは、生涯学習課および地元消防団で体育館のカギを借りる必要がある。

・段取りはマニュアル化して進めてしまうべき。その上で臨機応変に対応することを心掛けるべき。

・審判員の領収書に住所を記載してください。

・今後の開催において、単に継続するだけではなく、参加校を広域化したり、地域を巻き込んだりなど、さまざまな工夫を期待したい。

・日本 J C において 2015 にサッカー大会が開催される予定なので、取り組み内容について参考にして下さい。

27 審議対象資料一覧

◆電子資料

資料名内容 1 事業報告書(別添)

28 各担当者所見

委員長:小関 弾

今年も中学一年生野球大会を開催することができたのは、顧問の先生や審判の方、そしてご協賛いただいた企業様のご支援があったからこそです。今後も事業継続していくにあたり、お力添えを賜りたくお願い申し上げます。一年生野球大会の運営についての課題は、一年生が少なくなってきたこと、一年生だけでチームを構成できない学校が出てきているということです。また、来年は西置賜の中学校が統合により1校減ることになります。継続事業として開催を続けていくにあたっては、これからの一年生大会のあり方について、関係者みなさまと共によりよい方向性を探ってまいりたいと思います。

担当副理事長:椎名 恭一

中学一年生野球大会において、会場担当者を中心とした設営にご協力頂きましてありがとうございました。この大会をとおして、試合経験の少ない一年生が自らの課題をみつけ今後の部活動等に元気に取り組んでいただけたものと感じております。中学一年生大会も学校の統合や、少子化の影響により今一度見直す必要がある時期に来ているのではないかと感じました。担当顧問の先生や野球連盟などの方々のご意見も伺いながら検討できたらいいいのではないのでしょうか。ありがとうございました。

ながい寺子屋

1 事業の区分:公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

今の日本の子ども達が生きている社会は、物がたくさんあり、生活が便利になっている一方で、地域の中で積極的に活動をしていく体験が少なくなっていると思います。豊かな地域の自然や、さまざまな考えを持った人の中で、苦勞しながらも自分の力で考えて行動していく機会が薄れているように思います。

特に食生活は便利になっていて、簡単に加工食品が手に入り、忙しい保護者たちもそれに頼るようになってきました。子ども達は、食品が元々どういう形で存在していて、どのような過程で自分の口に届いているかということを知る機会が少ないのかもしれない。また、目の前の食品が自分の体にどのような影響があるのかという、命のために大切なことについて深く考える機会を失っているのかもしれない。

私たちの住む山形の地は、良質な食素材や、食の生産に携わる人々が多い地域です。その地域資源を存分に活かして、子ども達

に主体的に食に関わる体験や、仲間と一緒に協力して考えたり行動したりする体験をしてもらい、自主性や社会性を身に付けて生きる力を向上させることが大切だと思います。

4 事業目的

食に関わる体験を通して、子ども達に主体性を身に付けさせ、自立した人間として生きる力を育成する

5 事業の検証方法とその手段

参加した子ども達と保護者にアンケートを行い、集計して検証する。

6 事業概要

地域の小学生に参加を呼びかける。

1. 五感をフルに使うって味覚を再発見するプログラム
2. グループで相談しながら、自分たちが作る食事の献立を立案して買い物をするプログラム
3. グループで協力しながら、自分たちが食べる食事を調理するプログラム
4. 自分たちが食べる農作物を植栽するプログラム
5. 自分たちが食べる農作物を収穫をするプログラム（雨天により製粉体験に変更）
6. 高校生が小学生のグループをリードすることを体験するプログラム

7 実施日時：平成26年8月2日（土）、11月1日（土）

8 実施場所・会場：長井市平野地区公民館、うめや南店、アグリメントなかの畑、浜辺農園のハウス、長井市生涯学習プラザ

9 事業対象者

小学生および高校生（夏プログラム）、小学生とその保護者（秋プログラム）

10 参加者募集方法

【夏プログラム】

- ・区域全小学校の全児童にチラシを配布。
- ・公共の目立つ場所にポスターを掲示する。
- ・プレスリリースする。
- ・市町報への掲載依頼をする。

- ・ホームページ、フェイスブックに掲載する。

申込は、チラシに記載した申込書でFAX、または、事務局への問い合わせ申込による。

- ・高校生は、高校に募集依頼に赴く。

【秋プログラム】

夏プログラム参加者に郵送にて案内。

11 決算総額：¥206,596

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事12名（総理事）-特別の利害関係を有する理事1名=12名

決議の成立する理事数=12名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	7名	10名
	その他メンバー	20名	18名
外部	小学生	23名	35名
	高校生	4名	3名
	担当講師・協力者	3名	4名
	保護者等 (秋プログラム)	20名	5名
		77名	75名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市	後援
長井市教育委員会	後援
飯豊町教育委員会	後援
白鷹町教育委員会	後援

小国町教育委員会	後援
県立置賜農業高等学校	協力

16 実施プログラム

- 8月2日（土）
- 7：50 メンバー集合・準備（地区公民館）
あいさつ 委員長
理事長：5分
- 8：05 準備開始
- 8：15 参加者集合（平野地区公民館）
4グループ（構成 小学生6名、高校生1名、メンバー1～2名）
- 8：30 開校式（研修室） 進行：副委員長
開会あいさつ（5分）：理事長
趣旨説明・注意事項（3分）：委員長
グループ内自己紹介（10分）
小学生のグループリーダーを決める（5分）
- 8：55 移動
- 9：00 1時間目開始『体育』 担当：山口康幸
体育館集合。食育ウルトラ○×クイズ。
- 9：20 1時間目終了
休憩・移動
- 9：30 2時間目開始『理科』（研修室） 担当：佐藤和之
味覚の授業：玉谷貴子先生（45分）
- 10：15 2時間目終了
片付け、休憩
- 10：25 3時間目開始『社会』（研修室）
担当：小笠原信吾
グループごとに献立確認、役割分担、下準備（30分）
- 10：50 青木さん、キュウリと味噌提供、一言（5分）
- 10：55 買い物移動（メンバー車分乗）
- 11：05 うめや南店到着
買い物（35分）
- 11：40 移動（メンバー車分乗）
- 11：50 公民館到着
- 11：55 4時間目開始『調理実習』 担当：小笠原信吾
グループごとに調理（1時間30分）
- 13：25 昼食の時間（研修室）
『いただきます』～『ごちそうさま』、
片付け、昼休み（55分）
- 14：00 寺子屋看板作成
- 14：15 食育クイズパート2
- 14：40 畑に移動（メンバー車分乗）
- 14：55 畑到着
- 15：00 5時間目開始『農作業』 担当：渡部清隆
そばの種まき・農作業体験（40分）
- 15：40 ハウスに移動（メンバー車分乗）
- 15：50 ハウスに到着
トマト摘み体験（40分）
- 16：30 公民館に移動（メンバー車分乗）
- 16：40 公民館到着
- 16：50 閉校式 進行：副委員長
おわりのあいさつ（5分）：理事長
閉会の言葉（2分）：副理事長
- 17：10 参加者解散
- 17：15 片付け開始
- 17：30 片付け完了、閉会
あいさつ（5分）：理事長
監事講評（5分）
事務連絡（2分）：
閉会あいさつ：副委員長
- 11月1日（土）（親子参加）
- 7：00 雨天のため屋外での刈り取り体験中止。
連絡網連絡
- 8：30 メンバープラザに集合
- 8：45 参加者集合（プラザ）
- 8：30 開会あいさつ 進行：副委員長
開会あいさつ（5分）：理事長
説明・注意事項（3分）：委員長
- 9：10 『そばの実製粉体験』 担当：弾
※刈り取り体験を急遽変更
- 9：50 『そば打ち体験』開始 担当：弾
鈴木雄一郎先生
- 12：30 いただきます

- 12:45 片付け開始
 12:55 閉会あいさつ 進行：副委員長
 おわりのあいさつ（5分）：理事長
 閉会の言葉（2分）：副理事長
 13:00 解散
 13:05 メンバー片付け
 13:20 メンバー閉会（外で）
 あいさつ（5分）：理事長
 閉会あいさつ：副委員長
 13:30 メンバー解散

（晴天時の当初予定）

- 8:00 メンバー畑に集合
 8:15 希望参加者集合・受付開始
 8:30 開会あいさつ 進行：副委員長
 開会あいさつ（5分）：理事長
 説明・注意事項（3分）：委員長
 8:40 『そば刈り取り体験』開始
 9:40 作業終了、生涯学習プラザに移動（各自）
 10:00 『そば打ち体験』開始
 （以降は同左）

17 対外配付資料

資料名内容 1 実績報告書（助成金）元ファイル

18 人員配置・役割分担表

8月	
高校生対応	玉橋 恵子
オールサブ	小関 弾
1時間目	山口 康幸
2時間目	佐藤 和之
3～4時間目	小笠原信吾
5時間目	渡部 清隆
麦茶、機材、救急班	遠藤 浩樹
受付	飯澤 栄人
グループAメイン	板垣 洋一
グループBメイン	影山 孝史
グループDメイン	齋藤 圭央
グループDサブ	佐藤 真光
グループAサブ	齋藤 憲幸
グループCメイン	中川 一聖
グループBサブ	鈴木 喜典
グループCサブ	井上 典嗣
グループAサブ	樋口 和哉
グループDサブ	梅津 壮一郎

11月

進行役	小関 弾
受付	小笠原信吾
グループ	渡部 清隆
グループ	齋藤 繁喜
グループ	椎名 恭一
グループ	和之 康幸
グループ	山口 康幸
グループ	玉橋 恵子
グループ	大竹 貴之
グループ	中川 一聖
グループ・記録係	小関 幸一

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

アンケートの集計から アンケート集計結果

子ども達のアンケート回答からは、他の参加者との協力や、グループでの活動について肯定的な意見が多数（16件中15件、回収率66.7%）で、協調性を発揮する場が作られていたことがわかる。また、協力することに対して積極的な意見を持つことができたということについて、主体的な参加をしていたことがわかる。さらに、食に関する意見（料理のこと、買物のこと、お米がおいしかったこと、種をまいたことなど）もあり、食についての体験ができたと思われる。

保護者のアンケート回答からは、寺子屋に参加してよかったという声が11件中11件であり、子どもを参加させたことに肯定的な意見を得られている。特に、「異年齢の仲間と過ごすことができたこと」や、「苦手なものでも食べることができた」という

意見があり、子どもの成長が感じられる体験になったと思われる。高校生のアンケート回答からは、「準備にとっても大変だった」ことはあるものの、「小学生に教えることの難しさ」「小学生が嫌いだったが、参加したら好きになった」ことなど、通常は得られない体験ができたことと思われる。

なお、秋プログラムの内容については、事前に告知をしており、アンケート回答時点でも体験の存在を前提に回答いただいている。（ただし、刈り取り体験が雨天中止となったため、そばの実製粉体験に置き換えた）

以上のことから、本事業の目的は概ね達成しているものと考えられる。

21 実施上の課題点

運営面について、多くのプログラムを連続させた事業であったため、作業工程を細切れにして各担当に割り振り、総合的に全体をまとめていくことがとても重要であった。特に、子ども達を対象にしたプログラムでは、余裕を持たせたプログラムにすることを意識する余地、手待ち時間の状態が発生しかねないため、あくまでも子ども達が体験するプログラムであることを念頭において人員配置やプログラムを綿密に検討していく必要があった。

予算面について、助成金の申請時期が予定段階であったため、早々にプログラム内容を確定させる必要があり、かなりの事務的負担となった。また、助成対象となるもの・ならないものについて厳密な基準があるなど、最終的な支給決定まできわめて大変な作業となった。

助成金交付が事業実施後ということで、事業費を一時立替で実施している。補助金等の交付時期なども考慮した事業費の交付について検討する必要があるように思える。

その他として、実施プログラムを2日に分け、間に3か月の期間があるところ、その連続性を意識させられるような工夫が必要であり、刈り取り体験が中止になるとたまたまそば打ち体験になってしまうことに注意をしており、急遽、そばの実を製粉する体験で代替した。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気づきを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
地域のすべての小学生に向けて、貴重な体験ができる機会として募集告知をした。
- ②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）
食に関する体験をもって、子ども達の自主性や社会性を身に付けられるというプログラムを構築した。
- ③体験活動に専門家が適切に関与しているか。
味覚コーディネーター、農業生産家、そば打ち指導者、農業高校の先生（高校生での授業）が関与した。
- ④0

26 引継ぎ事項

ながい寺子屋の基本理念は次のとおり。

■基本ビジョン

・ながい寺子屋は、地域の自然、歴史、文化を活かした体験を通じて成長することを目指す。

■寺子屋における事業プラン

- 1) 自然体験・・・山・川・湖など
- 2) 学習体験・・・ものづくりや工場見学など
- 3) 伝統体験・・・書道・武道・茶道・華道・囲碁・将棋など
- 4) 芸術体験・・・陶芸・音楽・絵画・演劇・朗読など
- 5) 知識体験・・・講演会・体験学習など
- 6) 職場体験・・・地域産業・職業体験
- 7) ボランティア活動・・・河川浄化・地域清掃など

【運営面】

- ・高校などの学校に協力を求める場合は、年間計画立てのため、前年度の予定立案の段階で交渉を開始していく必要がある。
- ・目的を達するための方法として、より効果的なプログラムを立案していくべきである。
- ・地域連携を意識する場合、地区の公民館などに助言を求めると適切な人材支援がありうる。
- ・小学生の応募は大半が学校経由のチラシであるので、今後も効果的な広報方法として位置付けていくべきである。

【予算面】

- ・参加人数に対して広報の予算が妥当であるか継続して検討していただきたい。

27 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

- 1 実績報告書（助成金）元ファイル
- 2 事業報告書（別添）

28 各担当者所見

委員長：小 関 弾

ご協力いただいた置賜農業高校の先生と生徒のみなさん、指導をいただいた玉谷さま、浜辺さま、青木さま、鈴木さま、渡部さまには、本事業のために準備・ご参加をいただいたことを心から感謝申し上げます。また、多くのメンバーに準備・運営のご対応をいただき、おかげさまで無事開催できたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

昨年からの継続事業となる「ながい寺子屋」を、今年は食に関する内容としました。子ども達の主体性を育むことを目的としつつ、様々なことを体系的に盛り込んだプログラムで、参加者が「お腹いっぱい」で「幸せいっぱい」になるようにしたいと考えました。

今後も、ながい寺子屋の基本理念をより深く追求し、地域に定着し、地域のみなさまに必要とされるような事業にしていきたいと思っています。

担当副理事長：椎 名 恭 一

2年目を迎える「ながい寺子屋」に多くのメンバーにご協力いただきありがとうございます。

現代社会における子ども達に不足していると思われる、主体性や自立性を育むことを目的に、子ども達が主役になって行動するための仕掛けが随所に見られた事業であったと思います。また、多くの地域の方々や高校生のボランティアの協力をいただき新たな気づきも多くあった事業でありました。

2年連続の参加者や、また参加させたいという意見も多く、この事業を継続する意義は非常に大きいと思います。このながい寺子屋が地域に根ざした継続事業となることを祈念いたします。ありがとうございます。"

地域教育力向上計画

1 事業の区分：公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1） 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

スマートフォンやゲーム機器などを通じたインターネットコミュニケーションが普及し、子ども達にとっても日常的なツールとなっている一方で、ネットいじめや、ネット依存による生活リズムの乱れなどの問題が発生している。これらを家庭や地域として放置せず、積極的にに関わり、子ども達の健全な人間関係の構築や、根本的な生きる力を育むための意識を高めることが必要であると考える。

4 事業目的

ネットいじめやネット依存による生活リズムの乱れなどの子ども達の問題に対して、家庭や地域として積極的に関わっていく意識を高め、子ども達への適切な対応を促す。

5 事業の検証方法とその手段

参加者にアンケートをとり、集計することで検証を行った。また、講演参加者が地域において事後に行った活動からも事業目的達成の検証がなされた。

6 事業概要

特に、消極的な大人に参加してもらい、または、趣旨を伝えられるような工夫を検討して取り組む。

1. ネットいじめやネット利用事情について、教育者や心理カウンセラーなどの専門家のアドバイスを受けながら保護者向けのアンケートを作成する。
 2. 地域の小中学校に協力を求め、全保護者に対して、アンケート調査を行う。
 3. アンケート集計を行い、子どもと大人の意識差などを把握する。
 4. 保護者と地域の大人を対象に、講演会を開催する。
 5. 講演会は、高校生による自主会議の報告と、専門家による講評と講演を行う。
- 講演会：アウトメディア講演会 大人が知らない子どものインターネット事情 ～ネット社会で生きる力を育む～

6. 講演会報告および調査報告をまとめたレポートを地域の小中学校全保護者に配布する。

7 実施日時：平成26年度（アンケート：6月第1週、講演会：9月17日（水）、レポート：12月～1月）

8 実施場所・会場：講演会：長井市民文化会館 ホール
（最大収容人数1016名）

9 事業対象者

長井市・西置賜地域の大人（20歳以上）を対象とする。

10 参加者募集方法

【講演会】

- ・地域の小中学校の全児童および保育施設にチラシを配布。
- ・PTA連合会や市民会議等の諸団体に参加を呼びかける。（PTA連合会へは、整理券発行）
- ・取材依頼する。
- ・市報・町報への掲載依頼する。
- ・ホームページ、フェイスブックに掲載する。

11 決算総額：¥346,015

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事＝理事12名（総理事）－特別の利害関係を有する理事0名＝12名

決議の成立する理事数＝12名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権＝出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	7名	5名
	その他メンバー	20名	16名
外部	一般（講演会）	500名	280名
	合計	527名	301名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市教育委員会	共催
長井市PTA連合会	共催
長井市まちづくり青少年育成市民会議	共催
白鷹町教育委員会	後援
飯豊町教育委員会	後援
小国町教育委員会	後援
長井市校長会	協力

16 実施プログラム

6月第1週

アンケート用紙と依頼文を重ねて3つ折りにして封筒に入れる。各小中学校のクラスごとの世帯数で分ける

各小中学校に配布

6月第2週～7月末

各小中学校から封筒入りのアンケート用紙回収
クラスごとに集計、データ上でまとめる

9月17日（水）

- 18:30 開会
- 18:30 主催者あいさつ(青年会議所理事長)
- 18:35 共催代表あいさつ(教育長)
- 18:40 メディア会議代表発表(長井高校生徒会)
- 18:50 アンケート報告(JC担当)
- 19:00 講師紹介(市民会議会長)
- 19:00 講演
- 20:25 謝辞(P T A 連合会会長)
- 20:30 閉会

12月～1月 (※配布時期は共催団体と調整の上、適時に行う。)

保護者向け報告書を配布

- 市内小中学校 2300枚
- 市内高等学校 1100枚
- 市内隣組回覧 1500枚
- その他・予備 100枚

- 17 対外配付資料 資料名内容
- 1 保護者向け報告書 ワードデータ

18 人員配置・役割分担表
アンケート

- 作成:小関弾
- 監修:共催関係団体代表および講師
- 印刷:教育委員会
- ※印刷費用は共催団体の教育委員会にて負担
- 封筒発注・印刷:小関弾
- 配布・学校調整:小関弾
- 回収:小関弾
- 集計:小関弾, 佐藤和之, 小笠原信吾

講演会準備

- 講師調整:小関弾
- 広報:那須, P T A 連合会
- チラシ作成:小関弾
- チラシ印刷:教育委員会
- ※印刷費用は共催団体の教育委員会にて負担
- チケット作成:小関弾
- 会場:小関弾
- ※会場費用は教育委員会が共催のため免除
- 駐車場:山口康幸
- 看板:佐藤和之
- 託児:佐藤和之, 教育委員会
- メディア会議調整:小関弾, 市民会議
- アンケート・当日配布資料印刷:教育委員会
- ※印刷費用は共催団体の教育委員会にて負担
- 次第・来賓発出文書等資料作成:小関弾

講演会当日責任者

- 司会:小笠原信吾
- 来賓対応:板垣監事
- 講師対応:椎名副理事長
- メディア会議対応:玉橋恵子
- 託児:佐藤和之
- 駐車場:山口康幸
- 受付:小笠原信吾
- 会場内案内:佐藤真光専務理事
- ステージ:川合直仁

報告

- 報告書案作成:小関弾

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

講演会に関して 当日アンケート集計

アンケート結果を見ると、子ども達のネット利用について、地域・家庭として何らかの関わりが必要であると感じたという回答が9割以上であり、本事業の目的は達成できたと考える。

また、本講演会に参加した方から、安川講師の講演を子ども達にも聞かせたいという声が多く上がり、来年5月に市内の生徒全員(市内小学校5・6年生約500名とその保護者、市内中学生約800名、市内高校生約900名)に対して同氏の講演会を教育委員会等の主催により開催されることになった。本事業の波及効果であり、事業目的を達成以上に大きな影響をもたらすことができたものと考えられる。

アンケートに関して 保護者向けアンケート集計

アンケートの回収率が9割を超え、市内の保護者全員に行きわたらせるという目的は達成できたと考える。

また、保護者向けのアンケートについて、学校が強い関心を持っており、その存在意義があるものとする。レポートに関して

市内の小中学校全保護者に対して、学校を通じて配布するものであり、アンケートおよび講演会の内容を行きわたらせるための方法として有効であり、共催団体からも必要とされていることから、事業目的達成に資するものとする。

21 実施上の問題点

運営面において、学校の協力を得るには、教育委員会と各学校との両面において個別かつ統一的に依頼を发出していく必要がある一方で、P T A 連合会について、各学校P T Aとのつながりを個別に持つていくことためには、周知な調整の上で行動することが必要である。それぞれの団体の特性を把握し、こまめに準備を進めていくことが必要である。

予算面において、教育委員会の共催により、印刷費がかなり軽減された。時宜に応じた内容で教育委員会と共催できる場合は良いが、当青年会議所としての特色も明確に出していくことも必要であり、その兼ね合いをうまく見極めていくことが大切である。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気づきを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

3. 講座、セミナー、育成

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該講座、セミナー、育成(以下「講座等」)が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

チラシ配布やテレビ告知等の参加募集の際に目的・内容を明らかにした。

②当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。(注)ただし、高度な専門的知識・技能等を育成するような講座等の場合、質を確保するため、レベル・性格等に応じた合理的な参加の要件を定めることは可。

チラシ配布やテレビ告知等により、地域の大人一般に広く参加を呼びかけた。

③当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為(受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為)に当たって、専門家が適切に関与しているか。(注)専門的知識の普及を行うためのセミナー、シンポジウムの場合には、確認行為については問わない。

教育関係者が参加をし、講演会の内容を確認していただいている。アンケート集計報告をまとめた資料を教育関係者等に配布をして確認していただいている。

④講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。最近メディアにも露出し始めた最先端の実務研究者である二人(講師およびアシスタント)の専門家を招くにあたっては、平均以下の低廉な費用でご対応いただいた。

26 引継ぎ事項

※講演会について

【運営面】

・P T A 連合会との共催をするにあたっては、早めの綿密な打ち合わせが必要である。特に、連合会内部の事情までは関わるべきではないものの、より多くの理解者・協力者を得るにあたっては内部の会議にもオブザーブ参加させていただいて説明の機会を得るなどの積極性が必要であるとする。

・参加者の募集方法(広報)については、さまざまな方法を考えて実践していくべき

【予算面】

・託児を完全に外部委託すると費用はかかるが、メンバーも講演を聴講できるので、前向きに検討してもらいたい。

【その他】

・目的を達成するためには、「講演」という形式が常に最適であるわけではない。テーマや対象などによって、より効果的な形式を模索していただきたい。

27 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

- 1 保護者向け報告書ワードデータ
- 2 事業報告書(別添)

28 各担当者所見

委員長：小 関 弾

参加者が限定される講演の開催という形式に加え、事業目的をより効果的に達成するための方策として、市内の全小中学校の全保護者に対して意識アンケートを行いました。アンケートを実施するにあたり、作成に携わっていただいた先生、配布収集にご協力いただいた各学校の先生、ご回答下さった地域のすべての保護者のみなさまに、心から感謝申し上げます。また、ご講演いただいた講師の先生やご報告いただいた高校生、ご集いただいた地域のみなさまに、深く御礼申し上げます。

講演会に参加された方から、「先生の講演をぜひ子どもたちに聴かせたい」という声が多々上がり、そこから長井市内の小中学校、高校が共同して生徒に向けた講演をするために先生をお呼びすることになったとお聞きました。今回の事業につながり、本来の目的対象である子ども達に広がることをとても嬉しく感じ、声を上げてくださったみなさまと実行に移してくださったみなさまに対して尊敬の念でいっぱいです。

準備や運営に携わっていただいたメンバーをはじめとするすべての関係者に感謝申し上げ、長井青年会議所としてこれからも地域の青少年のために必要な運動を継続していく気持ちを新たにいたしました。

担当副理事長：椎 名 恭 一

長井市内小中学校でアウトメディアという取り組みが推進されている昨今であるが、ネット利用の子ども達の現状と親の認識とは乖離があるということ意識付けできた事業であったと思います。その事により学校側でも危機感を持った、新たな動きが確認できたことが大変嬉しく感じます。

PTAや教育委員会、その他団体との事業をうまく協力・連携することで、より良い青少年育成に繋がると感じます。

多くの方々のご協力をいただき、この事業を実施することができたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

クリスマスパーティ

- 1 事業の区分：他 1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
日頃、会員がJC運動に専念できるのは、家族の支えがあるからに他なりませんし、日々、家族に感謝しながら運動に参加していくべきだと思います。JCとしては、会員が家族に対して感謝する場を設けたり、会員が家族と共に過ごす時間を設けていくことが、これからの運動のためにも大切なことだと思います。年に一度、クリスマスパーティとして家族を招き、共に参加してもらう機会が最適だと思います。
- 4 事業目的
会員とその家族、さらには組織としての信頼関係を深めることを目的とした。
- 5 事業の検証方法とその手段
会員とその家族に対してアンケートを行い、集計して検証した。
- 6 事業概要
会員が家族と一緒に参加して楽しめるプログラムを実行した。
- 7 実施日時：平成26年12月13日(土)
午前11時30分～午後1時30分
- 8 実施場所・会場：はぎ苑 本館 エオシャンブル

9 事業対象者 会員とその家族

10 参加者募集方法

FACEBOOK、LINE、メール、直接連絡等で会員個人に参加を呼びかけた。

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=12名

議決の成立する理事数=12名(議決権のある理事数) × 2/3 以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数 × 1/2 を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	7名	7名
	その他メンバー	25名	7名
外部	家族	18名	20名
	合計	50名	34名

16 実施プログラム

11:00 担当メンバー集合

11:30 受付開始

11:45 開会

11:46 歓迎のあいさつ：理事長

11:50 いただきます：こども代表

12:10 アトラクション1

(けん玉名人四釜淳悟さんの技披露)

12:25 アトラクション2 (フラワー戦隊ナガレンジャーの

ロボのけん玉披露、ロボふれあい)

13:00 アトラクション3 (JC戦隊寺子屋レンジャーの

けん玉披露、プレゼント)

13:20 2014感謝ムービー

13:25 感謝お礼：椎名副理事長

13:28 ごちそうさまでした：こども代表

13:30 閉会

17 対外配付資料

資料名内容 1

18 人員配置・役割分担表

司会：小笠原信吾

受付：山口康幸

音響：影山孝史

照明：齋藤圭央

記録：齋藤憲幸

アトラクション1：船山裕紀

アトラクション2：小関弾

アトラクション3：椎名恭一、小関弾、佐藤和之、

船山裕紀、山口康幸

会場：影山孝史、小関弾

書類：小関弾

19 引用著作物の有無 有

20 事業目的達成の検証

アンケート集計

アンケート集計からすると、参加した配偶者の方からはJCに対して概ね肯定的なイメージを持っていただいている。また、内容についても概ねご満足いただけている。しかし、特に参加できないメンバーを中心に、例年と異なる内容に異論が少なくない。目的としては一応の達成をしているとみるが、あくまでも今回の家族向けに特化した目的に過ぎず、既存メンバーに対しては目的達成とは言えないと考える。

21 実施上の問題点

・家族向けの事業として位置付けると、単身会員等の参加が難しくなり、次年度発表等含めた例会事業として会員向けに設定すると、子供含む家族の参加がしにくい状況になる。なお、今回は家族向けに特化した。

・開催時間帯を夜にするか昼にするか、それに合わせて費用をどうするか、予算面でギリギリの設定をした。

- ・家族向けとはいえ、JCの一事業であり、より多くのメンバーに参加していただくための準備が不足していた。
- ・家族の参加しやすさを第一に考えたが、それでも都合が合わないこともあり、総意に沿うことは困難であった。

2.6 引継ぎ事項

- ・家族向けの内容でいくのか、会員主体で考えるのか、毎回悩むところだと思われるが、今回の家族向けに特化し、会員向けは別日程で忘年会と分ける方法は簡明であるので、ぜひ参考にさせていただきたい。
- ・そもそも家族向けの事業を開催するかどうかを検討していかねばならず、開催するのであれば家族向けの内容であることを忘れずに事業構築することが必要だと思われる。
- ・予算設定には、費用負担側からの一面ではなく、内容の充実を図った上で考慮すべきで、目に見えない会場費や準備関係費よりも、目に見える食事やアトラクションで参加者の満足度を向上することを念頭に置く方法も考えていただきたい。
- ・外部プレゼンターには、会食中のプログラムであることをあらかじめ伝え、失礼の無いように綿密な打ち合わせをしていくべきである。

2.7 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告書(別添)

2.8 各担当者所見

委員長：小 関 弾

今回のクリスマスパーティーは家族向けに特化しました。土曜日のランチタイムに開催し、子どもを中心として親子で楽しめるアトラクションや、女性配偶者の方々に喜んでいただけるような食事内容など、的を絞って準備を進めました。幸い、当日は事故もなく、来場者みなさんの笑顔で終わることができました。

プレゼンターとしてご協力いただいたけん玉名人の四釜淳悟さん、スーパーロボット・フラワー戦隊ナガレンジャーのみなさんをはじめ、参加ご協力いただいたメンバーとご家族のみなさんに、心から感謝申し上げます。なにより、準備設営をした私と委員メンバーみんなが心から楽しませていただいた事業でした。本当にありがとうございました。

担当副理事長：椎 名 恭 一

クリスマスパーに参加いただいたメンバーの皆様ありがとうございました。

家族に感謝するという事業目的を達成するため、ランチパーティという形で開催させていただきました。委員会メンバーによるアトラクションもたいへん盛り上がり、また新たな長井西置賜の発見があるアトラクションもあった内容となりました。ひとつくり委員会が担当する今年度最後の事業にふさわしく委員長中心に委員会メンバーが団結しておもてなしさせていただくことができたと感じております。しかし、日中の開催ということで、参加出来ないメンバーも多くいらっしゃいましたので、多くのメンバーが参加しやすい日時選定などより楽しい事業となるようご祈念申し上げます。ありがとうございました。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2013年10月9日	茶屋	19:00~22:00	小関弾, 佐藤和之, 遠藤譲一	基本方針および事業の概要について
2013年10月18日	JCルーム	20:00~21:20	小関弾, 佐藤和之, 遠藤譲一, 齋藤繁喜(obs), 佐藤真光(obs)	個別事業の内容について
2013年10月28日	JCルーム	20:00~21:00	弾, 和之, 那須丈雄, 小松龍侍, 小笠原信吾, 齋藤繁喜(obs), 平宗正(obs)	ながい寺子屋と講演会について
2013年11月11日	JCルーム	20:00~21:00	小関弾, 遠藤譲一, 小笠原信吾, 齋藤繁喜(obs)	ながい寺子屋と講演会について
2013年11月19日	JCルーム	20:00~21:00	小関弾	予算について
2014年1月16日	赤頭巾	19:00~20:00	椎名恭一, 弾, 和之, 遠藤譲一, 小松龍侍, 齋藤繁喜(obs)	中学野球と寺子屋について
2014年2月1日	ココット	18:00~20:00	椎名, 弾, 和之, 譲一, 小松, 風間(obs), 玉橋(obs)	寺子屋について
2014年2月24日	JCルーム	20:00~21:00	椎名, 弾, 和之, 譲一, 小笠原	中学野球, 寺子屋などについて
2014年3月13日~ 2014年3月19日	オンライン	~23:59	全員	事業全体について
2014年4月14日	JCルーム	20:30~22:00	弾, 那須丈雄, 遠藤譲一, 小笠原信吾, 鈴木喜典(obs), 樋口和哉(obs)	事業全体について
2014年5月13日	JCルーム	20:00~21:30	弾, 和之, 小笠原, 譲一	寺子屋について
2014年6月10日	JCルーム	20:00~21:30	弾, 和之, 小笠原, 譲一, 川合, 山口	寺子屋について
2014年6月17日	平野地区 公民館	19:00~21:30	弾, 和之, 小笠原, 山口, 玉橋(obs), 典嗣(obs), 影山(obs), 大竹(obs), 圭央(obs)	ながい寺子屋~おとなの下ごしらえ委員会~
2014年7月11日	JCルーム	19:30~23:30	弾, 和之, 小笠原, 梅津壮一郎(obs)	アンケート集計, 寺子屋について
2014年7月23日	JCルーム	20:00~22:00	弾, 和之, 小笠原, 那須, 山口	寺子屋について
2014年8月25日	JCルーム	20:00~22:00	弾, 和之, 小笠原, 那須, 山口, 川合	講演会について, JC杯について
2014年9月11日	JCルーム	20:00~21:30	弾, 和之, 小笠原, 川合, obs玉橋ほか多数	講演会最終準備委員会 ~講演会はこれで完璧!~
2014年11月4日	IZA	21:00~22:00	椎名, 弾, 和之, 山口, 船山	クリスマスパーティーについて
2014年11月18日	JCルーム	20:00~21:00	弾, 山口, 船山	クリスマスパーティーについて
2014年12月8日	たむろ	20:00~21:30	弾, 和之, 小笠原, 山口, 影山(obs)	クリスマスパーティーについて, 地域教育力向上計画レポートについて

まちづくり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 井上 典嗣
- 委員長 影山 孝史
- 副委員長 玉橋 恵子
- 幹事 風間 正志
- 委員 大竹 貴之
- 委員 児玉 大輔
- 委員 橋本 一磨
- 委員 中川 一聖
- 委員 飯沢 栄人
- 委員 菅原 純一

委員長所感

まちづくりには色々な手法があると委員会メンバーや協力者、各関係団体の皆様に教えていただいた一年でした。一年を通して友情を育み、時間を共有したメンバーに心から感謝申し上げます。皆様がいたから、行動し事業を立案できたと思ひ返します。お陰様で色々な会合に積極的に行くことで、その時々事業に役に立つ多くのアドバイスをいただき、行動することの重要性に気付きました。

また、みんなで意思を共有することの大切さを痛感しました。リーダーシップについての考えが変化し、情熱をもって明確な方法で仲間と問題を解決することを学び、日々の生活に取り入れました。

全ての事業が一本の糸で繋がっているかのように一年が過ぎ、まちの人と一緒に何事にも興味を持ち、縦と横の糸がつむぎあうように、人と人の繋がりがまちの魅力となると感じることができました。

一年間まちづくり委員会委員長を務めさせていただきましてありがとうございます。そして、支えてくれた委員会メンバー本当にありがとうございます。

年間事業報告

地域防災セミナーについて

- 1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業
- 2 定款上の根拠：第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景

東日本大震災から3年近くを過ぎ去ろうとしている今、私達の防災に対する意識が少しずつ薄れてきているように感じます。この地で縄文の時より息づく文化が証明するように、私達の住む地域は、災害が少なく、安心して人々が暮らせる場所なのかもしれません。しかし、近年予想もできない災害が相次いで起こっている現状から、不安な思いが生まれているのも事実です。私たちが有事の際に備えること、初動支援の強みを活かし迅速な対応が出来るように組織体制を確認することは必要だと考えます。そして、諸先輩方の経験に基づいた地域防災についての考えを引き継ぎ、後世に伝えていくことは今の現状で重要であると思ひます。
- 4 事業目的

防災意識の向上を図る。
- 5 事業の検証方法とその手段

メンバーアンケートにより検証とします。
- 6 事業概要

東北地区協議会災害支援ネットワークTADSネットの情報共有及び、県行政との連携した情報連絡経路を持つ山形ブロック協議会との関わりについて、4月から運用される長井市災害ボランティアセンターマニュアルについてのワークショップを実施した。JCOBの横山敬生先輩をお招きし、防災に関わる実体験をお話して頂き、新入会員向けのセミナーを実施した。
- 7 実施日時：2月14日（金） 19：00～
- 8 実施場所・会場：交流センター ふらり 1F視聴覚室

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法

メール配信

11 決算総額：¥9,766

12 特別の利害関係を有する理事 無し 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

内部	担当委員会	8名
	その他メンバー	11名
外部	長井JCOB 横山敬生様	1名
	長井市社会福祉協議会 荒井信毅様	1名
	合計	21名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市社会福祉協議会	協力
------------	----

16 実施プログラム

- 19：00～ 例会セレモニー
- 19：15～ 開会：風間正志司会：斎藤圭央
- 19：17～ 趣旨説明：影山委員長
- 19：19～ 山形ブロック災害支援ネットワークについて：影山委員長
- 19：35～ 長井市災害ボランティアセンターマニュアルについて説明：荒井様
- 19：50～ ワークショップ：荒井様
- 20：06～ 東北地区協議会災害支援ネットワークTADS ネットについて：橋本一磨
- 20：16～ 「実体験から語られる地域防災への思い」：横山先輩
- 20：51～ 謝辞：井上副理事長
- 20：55～ 閉会：大竹貴之
- ～21：00 撤収完了

17 対外配付資料

資料名内容

- 1 2014地域防災セミナーアンケート. doc
- 2 案内文. docx
- 3 講師選定理由. docx

18 人員配置・役割分担表

- ・司会【斎藤圭央】
- ・開会【風間正志】
- ・趣旨説明【影山委員長】
- ・県行政と連携した山形ブロック協議会の情報連絡経路説明【影山委員長】
- ・東北地区協議会災害支援ネットワークTADS ネット説明【橋本一磨】
- ・ボランティアセンターマニュアル説明【長井市社協 荒井様】

- ・ボランティアセンターについてのワークショップ
【長井市社協 荒井様 サポートを委員会メンバーで行う】
- ・講話【JCOB横山先輩】
- ・謝辞【井上副理事長】
 - ・閉会【風間正志】
 - ・受付【玉橋副委員長】

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

19名中8名の方よりアンケートの回答を頂いた…回答率42%

- この度のセミナーで、地域防災に関わるJCの役割を感じて頂けたか。
すごく感じた・・・75% 感じた・・・25% 感じなかった・・・0%
- 4月から運用される災害ボランティアセンターマニュアルについて理解できましたか。
よく理解できた・・・37.5% まあまあ理解できた・・・62.5% 理解できなかった・・・0%
- メンバーが災害ボランティアセンターに参加する重要性を理解できましたか
よく理解できた・・・100% まあまあ理解できた・・・0% 理解できなかった・・・0%
- TADS-NETの仕組みについて理解できましたか。
よく理解できた・・・62.5% まあまあ理解できた・・・25% 理解できなかった・・・12.5%
- この度のセミナーで、地域防災意識の向上・気づきがありましたか。
向上した・気づきがあった・・・87.5% 向上しなかった・・・12.5%
- 5番で「向上した・気づきがあった」とお答えした方はどのような知識についてか記入してください。
・横山先輩の話から、震災がおきた当時の事が思い出された。代表として動かれた先輩の苦勞がしのばれました。
・平時から顔が見える状態を作ること。定期的に関係者が集う機会をつくる。
・ボランティアの精神を全ての人が理解した上で個人の判断で行動する動きをしたい。
・行政と民間組織との違い。民主体だからこそできることがある。
・有事の際にボラセン運営にJCが積極的に関わっていかねばならないこと。
- 有事の際、あなたは協力できますか。
協力できる・・・100% 協力できない・・・0% その他・・・0%
- 7番で「協力出来る」とお答えした方にお聞きします。どのような協力ができますか。
・自分の仕事に関する事柄について特に協力します。
・日本JC、地区協議会、山形ブロック協議会との連絡調整。先頭に立って行動して参ります。
・人員協力。
・人的、食料協力。
・発電機、作業車の貸出。
・資材提供。
・コピー、ファクス等の機器レンタル、事務用品の提供
- この度のセミナーについて、時間配分は適当でしたか。
長い・・・12.5% 丁度良い・・・87.5% 短い・・・0%
- その他、ご自由にお書きください
・定期的に防災に関するセミナーやボラセンについての勉強会を実施する事が望ましい。
・ボラセン運営、資格等JCとして携わる部分をしっかりと構築できるセミナーがあればいいと思います。
・緊急連絡網は現代のツールに合わせる（ライン、フェイスブック等）
・委員長の説明がわかりにくい。
・TADSネットをもっと詳しく知りたい。訓練も。
・ボラセン訓練しようよ&緊急連絡訓練も合わせて。
・ボランティアの根本を理解したい。
・ワークショップをもっとしたほうが良い。

上記のアンケート結果のとおり、87.5%の方がこの度のセミナーで、地域防災意識の向上・気づきがあったと答えております。

したがって、防災意識の向上を図るという目的は達成できたと考えます。

しかし少数ではありますが、防災意識が向上しなかったとの答えもあり、セミナーの内容に課題が残りました。

また、説明や講和の時間がほとんどでありましたので、ボランティアセンター運営や緊急連絡のシュミレーションといったより実践的な内容を検討すれば良かったと感じました。

当初予定には無かった防災セミナーではありますが、メンバーの防災意識の継続や、長井市社会福祉協議会との連携をより深められたと感じますので、開催した意義はあったと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】

リハーサルを十分に行わなかったため、説明者の説明がうまく伝わらなかった。

説明や講和がほとんどでしたので、ボランティアセンター運営や緊急連絡の訓練等シュミレーションを行えば良かった。

【予算面】 特になし。

【その他】 特になし。

22 引継ぎ事項

- ・説明のみではなくワークショップ時間を長くした方が良い。
- ・ターズネットについて、実態に即した内容にしたほうが良い。
- ・リハーサルは時間をつくってしっかりと行った方が良い。
- ・メンバーの防災意識向上や長井市社会福祉協議会との連携を深めたいと開催しましたが、来年度は開催するかどうかも含め開催するのであれば、内容を十分に吟味する等検討する必要がありますと感じました。

23 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告書（別添）

24 各担当者所見

委員長：影山孝史

防災について勉強することから始まった「地域防災セミナー」。メンバーの皆様にはご心配をお掛けしながら、多くのご協力いただきましたこと改めて御礼申し上げます。

今思い返しても計画から実施、その後の日常生活にも「地域防災」の学びは尽きることがありません。顔と顔がわかる関係性をつくり出すことが防災でも青年会議所運動でも大切だと改めて感じることができました。卒業されても我々のことを思い、我々が行動に移せるように背中を見せてくれる横山先輩や、防災についての考え方をわかり易く丁寧に説明していただいた荒井様の経験に基づく講演は我々の防災意識の向上に繋がったと感じています。受け継いだことを行動に移せるように今後とも地域防災に関わる気持ちを持ち続けると誓って2014年度地域防災セミナー所見とさせていただきます。ありがとうございます。

担当副理事長：井上典嗣

お忙しいなか2月例会に参加いただきましたメンバーの皆様にご挨拶申し上げます。

昨年に引き続きの防災セミナーの開催になりましたが、私達JCは常に防災に備え有事の際にはすぐに動けるようにしておかなければなりませんので、このような機会は定期的に開催すべきだと考えております。そのようなことから有意義な時間であったと思っております。

講師を務めてくださいました荒井様、横山先輩には心から感謝申し上げます。

長井駅周辺整備事業

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（2） セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

長井駅は『水と緑と花のまち 長井』の玄関口として、その周辺の風景も含めとてもどこかで趣きがあります。創立40周年の記念事業として製作した巨大壁画も駅の顔として訪れる人々を迎えております。来年、長井青年会議所が創立50周年を迎えるにあたり、長井らしさが存分に詰まっている壁画の保全と周辺整備は、描いてくれた子供たちはもちろん、地域住民や観光客にきれいな状態で見頂くために必要であると考えます。また、壁画と共に周辺の景観を整備することで花のまち長井としての魅力を発信するとともに、和みと癒しの空間を提供できると考えます。

4 事業目的

長井の玄関口である長井駅周辺を整備し、地域の魅力を発信する。

5 事業の検証方法とその手段

山形鉄道関係者の意見や感想を聞き、地域の魅力発信に繋がっているのかを検証した。

6 事業概要

長井駅の花壇の植栽を行った。また、駅周辺の整備を実施した。雑草に強い性質を持ち5月～11月までの期間、花を咲かせるメランポジウムを植栽した。

同時に壁画や周辺の状態を確認し、雨や雪などから長期間保護するように目視による点検を行った。

7 実施日時 5月15日(木)

18:00～19:10

8 実施場所・会場：長井駅プラットホーム向い壁画周辺 及び主に花壇

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 メール配信

11 決算総額：¥10,806

12 特別の利害関係を有する理事 齋藤憲幸 以上1名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事1名=13名

議決の成立する理事数=13名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	10名	8名
	その他メンバー	20名	7名
外部			
合計		30名	15名

15 外部協力団体及び協力種別

山形鉄道	協力
------	----

2.1 実施プログラム

・5月13日(火) 全メンバーに協力を仰ぎ 雑草除去作業、堆肥の散布、耕運作業を行う

18:00～19:00

・5月15日(木)

16:30 委員会メンバー集合、打ち合わせ

18:00 メンバー集合 作業内容説明

18:10 作業開始

19:10 作業終了

・整備作業設定日 18:00～19:00 整備作業を行う

・メンバーで定期的に行う

・8月以降も委員会メンバーで月1回整備作業を行い撤収日を決める

1.8 人員配置・役割分担表

齋藤圭央君・・・耕運機の手配、山形鉄道様との連絡係
板垣洋一君・・・耕運機運搬用トラック用意(5/13)
齋藤憲幸君・・・花苗、肥料の手配、運搬(まちづくり委員会メンバーは運搬補助をする)
影山孝史君・・・備品の確認係、マルチシートの手配
兄玉大輔君・・・壁画の状態確認係
玉橋恵子君・・・facebook担当、整備作業連絡係

1.9 引用著作物の有無 無し

2.0 事業目的達成の検証

・山形鉄道関係者ならびに駅利用者の方とお話させていただいたところ、整備された花壇や壁画は観光や仕事で訪れる方々に

とって魅力となる風景となっていること分かりました。毎日利用する人、近隣の方も同様で、私たちが整備していると「おつかれさまなー。」と何度も温かいお言葉を頂戴しました。ある人からは「気持ちよく駅を利用できる、ありがとう。」とおっしゃっていただきました。また、「壁画ももう10年だべ?あの時手伝ったんだよ。」とお聞きし、継続しているこの事業が人それぞれの記憶に残るものだと感じました。関係者の方からは、私達が整備作業をなかなかできなかった時に、「今度時間教えてくれば一緒にできるかもしれない…」と翌年にも繋がる話をして頂いた次第です。

・年々集客を集める長井線まつりにも担当委員会として積極的に関わり、駅周辺の景観だけでなく長井市PRの一助となれたこと。委員会メンバーが自主的に声がけし、黒獅子祭り前などの整備作業を行えたこと。
以上を山形鉄道関係者及び、地域住民の声を活かした目的達成の検証の材料とさせていただきます。このような観点から、行動や交流を通じてこの事業からは地域の魅力発信する要素があると判断します。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

・春植えだけの対応について、一年草のメランポジウムを選定し植栽したが雑草の処理作業に多くの時間を使った。その反面、雑草にも負けない品種の強さを感じた。

【予算面】

・なし

【その他】

・雑草の除去作業を委員会メンバーへの案内で不定期に行った。
・長井線まつり前には委員会2名での雑草除去作業を行ったが、オールメンバーへの声がけも積極的にすべきだった。

2.2 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

1.9. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井駅を訪れ利用する人にとって、ホームから壁画と花壇が目に入ることから、適切な方法で明らかにしていると考えます。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。(例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか)

不特定多数が利用する長井駅を整備する事から、公益目的を実現するためのプログラムになっていると考える。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

花卉発注業者に苗の選定・時期・数量等をアドバイス頂いている事から、適切に関与していると考えます。

④0

2.6 引継ぎ事項

・例年板垣洋一君に耕運機をお借りしている経緯もあり軽トラックを必用としている。

・多年草の植栽、雑草対策、品種の検討も含め専門家の意見をいただくこと。

・駅花壇整備時に、山形鉄道様に整備スケジュールをお渡しすることを検討。

※時間など明記して、協力できる時に一緒に作業できるように協力を求める内容。

・草むしりのアナウンスを十分にできなかった。委員会内や全メンバーでお祭りや

事業の前に草むしりをする時間を設けることを検討して下さい。

2.7 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告別添資料

28 各担当者所見

委員長：影山孝史

多くのメンバーの皆様と一緒に植栽したメランポジュームの花壇は長井駅を訪れた皆様に見守られ無事に1年間咲くことができましたこと誠に感謝申し上げます。ありがとうございました。ブロック大会、黒獅子祭り、長井線まつりでは、駅を利用した方々とも交流できて、長井駅の壁画も含め9年目を迎えた長井の風景として魅力を発信していると強く感じました。整備作業の重要性をメンバーの皆様にもっとお伝えし、一緒にしたかったという反省点もありますが、代々責任を持ち事業継続してきたこの事業に関われたことを嬉しく思っています。

担当副理事長：井上典嗣

まずは、長井駅周辺整備事業にご協力いただきましたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。毎年継続して行っている事業ですが今年は春植えのみとし、その後は定期的に草むしりを実施しました。案内をしっかりと行っておらず、ごくごく少数の委員会メンバーでの草むしりとなってしまったことは非常に残念ではありますが、定期的に整備を行えばお花を長持ちさせられることを実感いたしました。これからも『水と緑と花のまち 長井』の玄関口として美しい景観を保つためには、花植え後の整備が重要であると痛感いたしました。

みんなで灯そう「夢ゆめあかり灯」 ～2014つむぎあい～

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

長井青年会議所として取り組む「まちづくり」とは、このまちに関わる全ての人々による多角的・協調的・持続的な活動を通じた明るい豊かな社会の創造です。地域活性化事業 「みんなで灯そう夢灯」を継続事業とし実施、検証することは、よりよいまちづくりに向けて実態に沿った効果的な施策を追求していく事でもあります。前年度の夢灯は震災後の復興期を歩む為に、子ども達と地域の人々が元気でなければならぬという思いから「元氣創造プロジェクト～みんなの心に太陽を！～」と同時開催し、地域の若者にスポットを当てた文化祭型イベントとして来場者を増やし、大人は勿論のこと、特に子ども達に笑顔や元気を与えるような賑わいを創りだしました。私達にとっても行動することで多くの人との繋がりを感じ、元気になることができた1年でした。日々変化する日常の中で、今後も時代を担う一人一人が時代と共に歩み、空間づくりや暮らしづくりといったまちづくりに見識を持ち、行動する機会が増えれば、交流人口の増加、地域の魅力の発信に繋がっていくと考えます。

5年間継続してきた夢灯は、子ども達の夢や願いが描かれたランタンに明りを灯し、確かな地域連携社会の実現の為に、子ども達や地域の人達と手を取り合いながら、今年度6年目も行います。「夢見ることができるとすれば、それは全て実現可能なことである。」という理事長の思いを胸に、本当の豊かさを改めて気づかせてくれるこの事業の素晴らしさを、多くの人に体験していただける様に思いを込めて行動し発信していきます。

4 事業目的

地域住民やまちづくりを共に行う方々との連携・協働により、まちづくりの輪を広げると共に、地域の魅力を内外に発信し、交流人口の増加を図る。

5 事業の検証方法とその手段

- ・事業にかかわる方の参加人数及びアンケート実施により検証とする。
- ・協力団体・協賛企業数などの目標数を設定し、目標達成率をもって検証とする。

6 事業概要

「みんなで灯そう夢灯」は6年目変わらず思いで子どもたちの夢や願いを描いたランタンにあかりを灯すことができました。

今年度のテーマは「つむぎあい」です。縦糸と横糸をつむぎあって布を織るように、子どもたちが描いた夢を地域の参加者や協力者が手を取り合って一つの幻想的な空間を創り上げました。

事業の内容として、長井市内の子供たちや地域住民の「夢・希望・願い」を描いた小型ランタン3000基、大型ランタン80基をあやめ公園内外に設置・点灯しました。小型ランタンは市内小学校に依頼し、児童一人ひとりに制作してもらい、学校毎にランタン用紙を色別に分け、公園内の各学校のエリアに設置しました。また、事業当日は市外から来られた一般入園者にも事業に参加頂けるよう、小型ランタン制作ブースを公園内本部に設置しました。今年では来場者が事前にランタンを作成し持参できるように、長井JCホームページにランタン用紙ダウンロードページを作成します。小型ランタン3000基の内訳は、市内小学校依頼分1500基、当日制作(来場者持参分)500基、既製ランタン1000基でそれぞれのエリアに設置しました。

大型ランタンは40基を長井市内の中学校・高校に依頼し、クラスや部活単位で制作してもらいます。学校制作分が40基を下回った場合は、不足分は昨年作成した用紙を使用しました。また、当事業に協賛いただいた企業名を記載した大型ランタン型看板を昨年同様設置しました。生徒作成大型ランタンは、公園内に設置し、企業協賛大型ランタン型看板は公園々内北口に設置しました。

園内イベントとして、ミニSL乗車コーナー、バルーンアートたけさんのバルーンアートパフォーマンスや園内各地でバルーンアート実演、山大ジャグリングサークルメンバーの演技も園内各地で披露しました。そして、夕暮れの前にはあやめ会館前に長井市内外で活動しているJazz演奏集団mojoのライブを行いました。

点灯式セレモニー時には、3年前の震災後に行われた夢灯の思いを引き継ぎ、地域の人達が夢や希望をはがきに描いた「未来便」の発送式を行いました。3年前に描いたはがきが自分からのメッセージとして届くことで、その先の未来へ夢や願いを大切にすることを誓うことができました。

2014年夢灯、素晴らしい日常の空間を創るのは、子どもたちと私達大人が手を繋ぎあい、その場の経験や体験により、地域を愛する心を養い、こころ豊かに生活する気づきとなるように思いを込めて取り組みました。

7 実施日時 6月14日(土) 13:00~20:30

8 実施場所・会場：あやめ公園

9 事業対象者 西置賜地域、及び近隣地域の児童、一般の方。

10 参加者募集方法 新聞折込、チラシ、ポスター、市報町報、TV出演PR、フェイスブック等のツール、ホームページ記載など。

11 決算総額：¥852,414

12 特別の利害関係を有する理事
井上典嗣 小関幸一

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

【計画】 【実施、
延べ人数】

内部	担当委員会	9名	25名
	その他メンバー	20名	33名
外部	仮会員	3名	3名
	関係諸団体	50名	76名
	一般参加者人数	2000名	2500名
	合計	2082名	2637名

【計画】

内部	担当委員会	7名
	その他メンバー	19名
	仮会員	2名
外部	関係諸団体	28名
	合計	56名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市	後援
長井市観光協会	後援
長井市教育委員会	後援
長井市青年団体連絡協議会	協力
山形県立長井高等学校	協力
山形県立長井工業高等学校	協力
長井市立長井北中学校	協力
長井市立長井南中学校	協力
長井市立長井小学校	協力
長井市立致芳小学校	協力
長井市立西根小学校	協力
長井市立平野小学校	協力
長井市立豊田小学校	協力
長井市立伊佐沢小学校	協力
山形県立米沢養護学校 やまなみ学園分教室	協力
山形県立米沢養護学校 長井校	協力
坂野パレエ教室	協力
飯豊にぎわい再現プロジェクト	協力

16 実施プログラム

6月14日(土) 事業開催日

7:00 ※天候不良時は随時、理事長、副理事長、委員長で判断する

9:00 まちづくり委員会メンバー集合
北口駐車場のスペース確保 借用物の運搬作業

10:00 あやめまつり野点茶会開始 (～16:00)
JCメンバー集合(休憩所内)
メンバー当日打ち合わせ
本部テントセッティング開始
本部テント(音響演出も含む)班
当日ランタン作成コーナー、アンケート記入コーナー
用意 本部テント(音響演出も含む)班
ジャグリングサークル迎え出発

10:30 ランタン運搬開始(はき苑 バス車庫へ搬出、無料休憩所へ)
小型ランタン班、大型ランタン班、本部テント班手の空いている方で行う
北口子供向け会場 備品運搬 SL担当班

11:00 あやめまつりオープニングセレモニー開始
あやめ会館前(～12:00) 鏡開き、
あやめ苗プレゼント
SL会場セッティング開始 北口子供向け会場
SL担当班

11:30 ミニSL到着後レール設置など準備開始
北口子供向け会場班

12:00 あやめまつり長井黒べこまつり開始
(～15:00) 高台
本部テント運営開始 本部テント(音響演出も含む)班(～20:50)

12:45 協力団体集合、説明(12:45～13:00)
ランタン設置開始(13:00～15:00)
小型、大型ランタン班

13:00 ミニSL乗車コーナー開始 北口子供向け会場班
(～17:00)
当日ランタン作成コーナー、アンケート記入コーナー
開始 本部テント(音響演出含む)(～19:00)

13:10 1回目 山形大学ジャグリングサークル演技開始
北口子供向け広場
2～3名のグループの演技(20分予定～13:30)
本部テント(音響演出も含む)班

14:00 楽器搬入～14:50 セッティング完了まで
(時間あればリハーサルをする)

14:10 2回目 1回目 山形大学ジャグリングサークル演技開始
縁結び橋広場
2～3名のグループの演技(20分予定～14:30)
本部テント(音響演出も含む)班

15:00 小型、大型ランタン設置完了

15:00 バルーンアートタケさん演技
あやめ会館前(～15:20)
※その後園内各地で笑顔になれる風船実演を行う。
その後の音響機材持ち込み有

15:30 3回目 山形大学ジャグリングサークル演技開始

あやめ会館前

6名のグループの演技予定(20分予定～15:50)
本部テント(音響演出も含む)班
15:50 セレモニー会場セッティング開始 あやめ会館前
本部テント(音響演出も含む)班
15:55 セレモニー参加呼びかけアナウンス
16:00 セレモニー参加者集合時間
16:10 夢灯 点灯式セレモニー開始 未来便の紹介、JCが復興への関わりで今動いていること、長井JCで行った支援の在り方をプロジェクターを使って暗くしてから行うことをアナウンス(～16:30)
あやめ会館前
16:10 ランタン点灯作業 見回り作業 開始 小型、大型ランタン班(～20:30)
16:35 mojo PA合わせ(軽くりハーサルを予定)
あやめ会館前
17:00 あやめまつり赤ちょうちん屋台オープン(～20:30)
イルミネーション点灯予定(～20:50)
mojo演奏開始 あやめ会館前(～17:40)
本部テント(音響演出も含む)班
17:00 ジャグリングサークル送り出発
ミニSL乗車終了 北口子供向け会場 撤収作業開始
SL担当班
17:45 mojo撤収作業 本部テント(音響演出も含む)班
18:00 ミニSLコーナー撤収完了、mojo撤収完了
20:30 ランタン片付け開始
22:00 JCメンバー、協力スタッフ団体、本部集合 各班完全終了

17 対外配付資料

1	学校協力依頼文 小学校
2	学校協力依頼文 中学校
3	学校協力依頼文 高校
4	学校協力承諾書
5	巡回警備協力依頼文
6	名義使用申請書 長井市
7	名義使用申請書 教育委員会
8	名義使用申請書 観光協会
9	団体協力承諾書
10	長井市市報掲載文
11	白鷹町町報掲載文
12	飯豊町町報掲載文
13	企業協賛依頼文
14	点灯式 案内状(市長)
15	点灯式 案内状(観光協会長)
16	当日作成用ランタン用紙
17	2014年度既製ランタン
18	長井小学校ランタン用紙
19	致芳小学校ランタン用紙
20	西根小学校ランタン用紙
21	伊佐沢小学校ランタン用紙
22	平野小学校ランタン用紙
23	豊田小学校ランタン用紙
24	やまなみ学園ランタン用紙
25	米沢養護学校長井校ランタン用紙
26	ポスター
27	チラシ(配布用) 表面 裏面
28	新聞折込チラシ 表面 裏面
29	会場案内看板
30	夢灯 横看板 Bタイプ採用
31	アンケート(一般来場者)
32	アンケート(ボランティアスタッフ用)
33	2014大型既製ランタン
34	企業協賛大型ランタン型看板イメージ
35	長井市報掲載 6月1日 本号掲載
36	白鷹町町報 6月12日情報あらかると掲載
37	夢灯 会場誘導看板
38	ランタン設置方法 説明会用①
39	あやめ公園 会場レイアウト説明会用②

40	雨天時状況判断について 説明会用③
41	ランタン砂入れ見本図
42	当日スケジュール
43	mojo 出演承諾書
44	ジャグリングサークル 出演承諾書
45	バルーンたけさん 出演承諾書
46	東北ライブsteam 柴田様 出演承諾書

18 人員配置・役割分担表

- ・まちづくり委員会メンバー 役割分担表
- ・事業当日 役割分担表
- ・点灯式内容

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

目的別

- ・事業にかかわる方の参加人数及びアンケート実施により検証とする。

当初、夢灯事業を行う日時が6月14日、あやめ祭り初日であり、あやめもほとんど咲いていない状況で行うのは、目的達成数を超えられないのではないかと、アンケートの内容も次に繋がられる良い内容を把握できなかったからその賜でもあると考えます。また、アンケートの集計を見ても、皆様楽しんでこの事業に携わって頂いたことがわかりましたし、これから先の発展した夢灯事業を皆様が進んでいる回答と認識しました。準備段階から多くの方々に会いに行く行動と、先輩方から受け継いだこの事業への情熱は、協力団体を増やすことに繋がりました。よって、今年度夢灯事業は目的を大幅に超えた形で検証が出来たと考えます。

- ・協力団体・協賛企業数などの目標数を設定し、目標達成率をもって検証とする。

計画段階で、準備日数、当日参加人数の、延べ人数（50名）を計画していました。この部分でも、結果76名という目標設定率を大幅に超えたことを嬉しく思います。（前年度、説明会及び事前準備に参加した人数は66名、今年度の人数は76名。）また、企業協賛数においても、メンバーの協力をいただきまして目標の220口を上回り、261口という企業協賛金を頂く事が出来ました。昨年度よりは下回りましたが、多くの企業様より激励の言葉を添えた協賛金を賜りました。

よって、認知度が増加し、協力者数（夢灯事業の大切さを理解して下さる地域の人々）が増加していることから目標を達成したと考えます。

- ・事業参加人数前年資料
- ・アンケート集計結果について・企業協賛数、口数について

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・当日のランタンの設置場所が分かり辛く探している人を見受けられたので、見易い配置図にするなど配慮が必要。理由としては、会場で設置場所を聞かれる事が多かったという意見があった。来場者が配布チラシを手にとって探す、設置看板を見て探す楽しみを重視していた。当日用配布チラシ（安価なものでも）の作成、案内看板の設置場所の工夫が必要。
- ・公園入口のランタンマップの設置場所、目につく場所に変更すべきだった。理由としては、入口付近に案内看板を設置したが入場した全ての人を通る場所ではなかった。
- ・1市3町で実施する案や、文化団体の出演を実現することができなかった。予定者段階で事業立案時に重要な今年のテーマが決まらなかった。実現するための準備が遅れた。
- ・学校に協力依頼する時期が遅かった。理由は夢灯で何をやるのかが決まらなかったため。
- ・準備の日程、時間が理事会に重なっているミスがあった。理由はスケジュールの確認不足があった。
- ・学校へのお礼状が遅くなった。（7月後半）理由としては、委員会メンバー全体で割り振らなかった。
- ・当日協力スタッフで小型ランタンを多く作成した。事前にランタンを描いたりすることも可能だったのではないかと。

理由としては、当日作成500基を書いてもらう設えが不十分だったため。

- ・資料の事前配信が全くなくて事前スケジュールも含め全体の動きがわからなかった。情報共有の意識が不足していた。共有すべき情報を全メンバーに随時配信すべきであった。
- ・飯豊町町報での告知ができなかった。依頼が遅くなり掲載欄が埋まっていた。
- ・ティピ、1市3町マップなど構想があっても実現できなかった。実現するための行動力に欠けていた。
- ・観光協会とメイン会場レイアウトまで打ち合わせが出来なかった。赤ちょうちん屋台に背を向ける形になった。書面やレイアウト図を観光協会側と共有しなかった。あやめまつり委員会での回覧資料を提出する方法が良い。観光協会局長との打ち合わせを組むことが多忙につき難しかった点を回覧資料で補うことができるのではないかと。
- ・電源の確保。あやめ会館廻り以外の部分で電源の確保を事前に申請しなかった。観光協会に打診、電源のレイアウトを回覧できるようにする方法で改善できるのではないかと。
- ・大型ランタン用紙の依頼が遅くなり回収日に間に合わない学校があった。約20日間の制作期間では短かった。改善策として年間スケジュールが決まる前に計画を学校側に伝えることが必要。
- ・設置作業時に、台車があると良かった。作業計画に配慮が欠けていた。2台以上を必要とする。
- ・企業協賛集めの部分で個人の温度差があった。皆でやるという意識向上の配慮に欠けていた。個人目標を設定することで改善できるのではないかと。
- ・事前準備でメンバーが指示を出せるように担当割りをするべきだった。担当割りにはしたが配信資料を全員に見てもらおうような配慮が無かった。事前説明会に参加できなかったメンバーへの対応が無かった。
- ・ボランティアスタッフの当日の行動表も準備しておりましたが、急に来て下さった方への指示や配慮が不十分であった。当日参加者を想定した行動表を作成する、今後のボランティア参加者増にも繋がるのではないかと。
- ・ジャグリングサークルとの打合せが不十分であったために、開催間際に送迎をお願いしたいと依頼があった。そのことにより、急遽メンバーを送迎に行ってもらうことになってしまった。
- ・坂野パレエ教室さんとの書面によるやりとりが無かった。依頼文、承諾書は必須でありました。

（良かった点）

- ・純粋にランタンを見せることを重視した内容で開演初日としては例年の約2倍の来場者があったこと。
- ・各メンバーが率先して当日の運営に参加、協力をいただいた事。
- ・新しい取り組みとして、HPから小型ランタン用紙をダウンロードできるようにしたことで、来場へ繋がった。
- ・養護学校の生徒、先生の協力を得られたこと。
- ・6年目も継続して他団体と積極的に交流が行えたこと。

【予算面】

- ・支払いが遅くなった。協賛金、領収証の回収期限を事業前後に明確に指示しなかったため。
- ・事前に見積りを取っていないものがある。委員会での割り振りが不十分で正確な見積りが取れなかった。

【その他】

- ・観光協会、あやめまつり委員会と共有できる資料を作成した方がわかり易かった。あやめまつり委員会に観光協会局長は参加しないので担当者に書面で伝えることが必要。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19.地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

9.展示会、〇〇ショー

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。行政やまちづくりの団体と協働し、地域の魅力の発信や交流人口の増加を目的としていることから公益性が認められる。

- ②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例：テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。
- 目的通り、地域住民やまちづくりを共に行う方々との連携・協働により、まちづくりの輪を広げると共に、地域の魅力を内外に発信し、交流人口の増加を図る内容であることから公益的事業だと認められる。
- ③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例：出展料に不当な差別がないか)出店者が事業内容を理解し出店できる周知方法であり、理事会での決議に基づいて選定指定しているため公益的事業だと認められる。

④0
無し

26 引継ぎ事項

- ・飯豊町報に掲載する場合は、発行日から数日配布までに1週間程度かかるため注意が必要。
- ・メールでの依頼が届いてなかったことがあった。メールの返信が必要な重要な確認は必ずする。
(長井市総務課、飯豊町役場総務企画課情報防災室 2件にメールが届かない事例があった。)
- ・観光協会とのやり取りは局長が多忙なため、書面に提出すること。
- ・小型ランタン用カップの損傷があり、カップの購入を検討して下さい。
- ・大型ランタンの損傷がある。木ねじ、ろうそく立ての欠品が見受けられる。修理を検討して下さい。約20基損傷あり。
- ・風間正志君卒業により夢灯備品保管場所について検討して下さい。
- ・テレビ伝言板について、那須丈雄君に協力・打診を依頼していただいている状況。各局へのお礼を検討して下さい。
- ・夢灯横看板、会場誘導看板を例年使用できるように作成しました。オオタケ装芸に保管しています。
- ・黒獅子祭り売店で親子連れへのチラシ配布・告知が効果的だった。ポスターの掲示も実施してください。
- ・ランタンカップに入れる砂の量で転倒、焼失が防げた。事前準備でランタン砂入れ見本図を使用しました。
- ・小型ランタン(砂入)保管・運搬用の箱を検討して下さい。段ボールの底が抜ける心配があり、樹脂製の衣装ケースのようなものを検討してはどうか?という意見があった。
- ・集客人数の集計は観光協会局長のみ把握している状況。事前に集客数をカウントしていただけるように依頼すること。今年度は依頼しておらず、8月下旬でも返答いただけませんでした。
- ・各団体、各事業に携わっている方をリストアップし、事務局に伝える事。(予定者段階、新春賀詞交歓会審議前に行動するのが望ましいし、将来事業を進める中で必ず役に立つ)
- ・チェックリストをより正確にすること。(何月に誰と打ち合わせしてきた等)
- ・夢灯事業は、計画そのものが大変なので、委員会内で担当割すること。(案：設営班、広報班、ランタン班等)
- ・一般のアンケートをより多く集める工夫を考えるか、アンケートによる検証をやめるかも含め検討ください。
- ・企業協賛名は絶対に間違っはけませんので、複数人の目で何度も確認を行いました。継続してください。
- ・心推進校(今年は南中)へ開催前に向き全校生徒の前で事業の説明を行い、とても反応が良くランタン作成には積極的に協力いただいた。しかし、当日見に来た生徒は僅かだったので、来場してもらえらる仕掛けを検討してください。
- ・ミニSL、ジャグリングサークル、バルーンアートたけさんは好評で集客に結びついたと思います。しかし点灯後の集客を更に増やしていくには、夕方まで足を止めてもらえるイベントを考えることもやはり必要だったと思います。

27 審議対象資料一覧

- ◆電子資料 資料名内容
- 1 夢灯事業報告書(別添)

28 各担当者所見

委員長：影山孝史

6年目のみんなで灯そう夢灯を担当させていただきましたあり

がとうございました。振り返っても感謝の気持ちしかありません。メンバーの皆様のおかげで、学びと気づきを得ることができました。諸先輩の言葉や、協力していただいた団体の方々の笑顔、ラメメッセージや絵を書いてくれた子どもたちのランタンや会場まで見に来てくれた親子さんの笑い声にも、そして当日もってくれた天気にも感動しました。ご協力いただいた全ての皆様と感謝の気持ちをつむいでいけたら平和な世界や、環境に対する配慮する優しい人々、地域文化を愛する風土といった本来あるべき姿に向かう揚力となり、それぞれが持つ明るい未来のイメージに向かう行動力となり、感動や幸せを感じることができる次の時代となるのだと感じました。あの空間、あの設えて開催できて本当によかったです。そして、今まで以上の協力団体とお話できたこと、今後も関係を持ち続ける夢灯を愛する人と会うことができたことが次年度以降夢灯事業の発展につながれば幸いです。本当にありがとうございました。

28 各担当者所見

担当副理事長：井上典嗣

まずは、事業当日参加いただいた皆様、実施までの計画段階、準備作業とさまざまな場面でご指導、ご協力いただきました方々へ心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。継続して行ってきた夢灯事業も今年6年目を迎え、これまでに培ってきた経験あるメンバーから支えられ、大きな問題もなく実施できたのは皆様のお陰でございます。事業自体の知名度も高まっておりますので、多くの来場者のなか子ども達の夢や願いを公園内いっばいに彩ることができたことは大変嬉しく思っております。そして、今年も多くのお他団体や市役所の方々とともに準備段階から協働できたことは、まちづくりの輪を広げるといった目的は達成できたのではないかと考えております。また、個人的には派手なイベントやステージを行わず、純粋に子ども達の夢を灯すことで本来の目的を見つめ直す機会となりました。しかし、広域LOMとして実施場所や開催方法等を検討は行ったものの、実行できなかったことは担当の副理事長として指導力の無さを痛感したところでございます。また、準備作業等の日程調整、担当割り等、多々至らないところがあり、協力いただいた方々に混乱を招いてしまったこともあり大変申し訳なく思っております。今年度の反省点を次年度へしっかりと継承し、2015年度はより素晴らしい事業に進化するよう引き続きで参ります。

ふるさとOMO I Y A R IプロジェクトIN長井

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

私たちの住む郷土は多くの自然に囲まれ四季の移ろいを感じとれる素晴らしいところで自然と共存してまいりましたが、この豊かな自然は私たち自身の手によって様々な「環境問題」へと変化し、地球規模で解決していかなければならない問題のひとつとなっております。その為、ひとりひとりが環境に対する意識を向上させ、身近なところからOMO I Y A R Iの心を持って緑豊かできれいな環境を自分たちの手で作り出す事が重要だと考えられます。

長井青年会議所が10年以上長井市内の子ども達と一緒に花を植えるフラワーボランティア教室を実施している経緯から、17LOMで一斉に実施されるクリーン作戦とフラワーボランティアを同時開催することで、更なる「OMO I Y A R Iの心」の広がりと自分たちの地域が誇りに思えるような環境作りに通じると考えます。

4 事業目的

地域の方々と花植え、維持管理作業、撤去を行うことで、郷土愛を持ち、まちづくりに関わるきっかけとなる事業。

5 事業の検証方法とその手段

・事業にかかわる方の参加目標人数を設定し、目標達成率をもって検証した。
・アンケートの実施により検証を行った。

6 事業概要

「ふるさとOMOIYARIプロジェクト」は県内17カ所で同日一斉に清掃活動を行っており、長井青年会議所としては長井市の最上川河川緑地公園内に於いて環境美化運動として花植えと清掃活動を実施しました。開会セレモニーで長井市民憲章を参加者全員で唱和し参加者に認知していただけるように実践しました。そしてこれを実践したことはその土地に住み暮らす者の責務であることを伝えることでより身近に感じていただき、市民意識変革へ繋げる試みとなりました。幼稚園、保育園、児童センター園児や保護者に広報をする、またそれぞれの施設で参加者の取りまとめをしていただく。花壇を活用し、その後、定期的な維持・管理作業をする呼びかけをすることで「花と緑と水のまちながい」の魅力を発信するまちづくり事業を行いました。

7 実施日時 6月22日(日) 9:30~12:00

8 実施場所・会場:最上川河川緑地公園

9 事業対象者 長井市内幼稚園、保育園、児童センター園児とその保護者。参加者目標を100名とする。

10 参加者募集方法 長井市内の幼稚園、保育園、児童センターに直接訪問し周知する。その他、他団体の方や、一般参加者へ事業参加を促す方法としてホームページ・facebook等での告知をした。

11 決算総額:¥59,850

12 特別の利害関係を有する理事 井上典嗣 以上1名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事1名=13名

議決の成立する理事数=13名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	10名	9名
	その他メンバー	20名	14名
外部	長井市まち・住まい整備課	2名	3名
	青年団体連絡協議会	10名	5名
	一般参加者	30名	21名
	園児、保護者	100名	95名
	合計	172名	147名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市	共催
長井花卉生産組合長井花卉生産組合	協力
平野児童センター	協力
豊田児童センター	協力
致芳児童センター	協力
西根児童センター	協力
伊佐沢児童センター	協力
めぐみ幼稚園	協力
小桜幼稚園	協力
白山保育園	協力
白ゆり保育園	協力
はなぞの保育園	協力
長井市老人クラブ連合会	協力
長井市社会福祉協議会	協力
山形銀行長井支店	協力
あいおい損保	協力

16 実施プログラム

6/22(日) 事業開催スケジュール
司会進行(事務局)

9:00 メンバー集合

9:30 一般参加者集合 清掃活動準備

9:40 理事長あいさつ(齋藤理事長)

9:45 班分け、活動内容説明(影山委員長)

10:00 清掃活動開始

10:40 植栽準備 説明

10:50 植栽開始

11:50 閉会(児玉大輔君)

12:00 完全撤収

管理について全メンバーに案内した内容

8/1(金) 18:00~

青团連 水まつりお天気まつり時に除草作業を実施

11/15(土) 花壇撤去作業を全メンバーに案内して実施

その他委員会メンバーの声かけにより実施した。

17 対外配付資料

資料名内容

1 OMOIYARI協力依頼文(企業・団体)

2 OMOIYARI協力依頼文(幼稚園・保護者)

3 おたよりチラシ

4 長井市市報掲載文

5 メンバー案内文

18 人員配置・役割分担表

司会進行:事務局

作業説明・班分け:影山委員長

園児誘責任者:児玉大輔君

19 引用著作物の有無 無

20 事業目的達成の検証

・参加員数について・・・参加目標人数を100名とした今回の事業に悪天候の中多くの参加者を集めることができた。当日は園児、児童40名に対して、保護者が約49名の参加があった。

参加員数についての検証・・・事前におたより型のチラシを全児童向けに配布できた点。

保育園、幼稚園、児童センター側が協力的で、積極的に取りまとめを行っていただいた点が参加員数増につながった。

また、事務局の協力により、社会福祉協議会様、老人クラブ連合会様、山形銀行長井支店様あいおい損保様の協力・参加推進につながった。

・ふるさとOMOIYARIプロジェクトとフラワーボランティア共同開催について

ふるさとOMOIYARIプロジェクトに初めて参加した人が多かった。※児童を含め

問3、このプロジェクトに参加した回数は?

1) 初めて	24名	77.42%
2) 2回目	5名	16.13%
3) 3~5回目	0名	0.00%
4) 5回以上	2名	6.45%
	31名	100.00%

フラワーボランティアとの共同開催のような事業で県単位の事業に参加でき、家族や仲間と過ごせる時間であったことから郷土愛を育むことにつながったと内容となっている。

問7、このプロジェクトに参加してみてもうどうでしたか?

1) とておもよかった	28名	90.32%
2) よかった	0名	0.00%
3) よくなかった	3名	9.68%
4) なんとも思わない	1名	0.00%
	31名	100.00%

問8、来年も参加してみたいですか?

1) ぜひ参加したい	31名	91.18%
2) 参加したくない	0名	0.00%
3) どちらとも言えない	2名	5.88%
4) 記入なし	1名	2.940%
	34名	100.00%

以上のことから・・・多くの参加者を集い開催した本事業で郷土愛を持ち、まちづくりに関わるきっかけをつくることができた

と判断する。

アンケート集計結果

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・主旨説明、段取りがスムーズでなかった。当日の担当割り振りを事前に説明することで改善される。
- ・当日人員配備が不十分だったためメンバーに混乱を招いた。一般参加者と何を行うか事前にメンバーに周知が必要だったと感じた。
- ・防草シートを張る事前準備を再考した結果、草むしりに時間を要した。子どもたちが集まることを考えるとシートの必要性には疑問が残った。
- ・各園、児童センターの取りまとめの方法に苦慮する中、事務局の皆様には社会福祉協議会（老人クラブ連合会）、山形銀行長井支店、あいおい損保など取りまとめをしていただいた。当日も司会進行や運営に関わっていただき事業を実施することができた点は良かった。

【予算面】

- ・各園に配布する資料の必要枚数が正確に予算に反映されていなかった。その反面、児童に配布が徹底されたことは良かった点。
- ・ベグの購入をしなかったこと。しかし、撤去作業で回収したベグを保管し次年度以降に使えることがわかり良かった。

【その他】

- ・長井青年会議所で区画をいただいて花植えをしたが、参加者が少なかった。管理も曖昧で委員会ごとに管理推進を促す必要があった。
- ・管理作業が出来ずにいる中、青年団体連絡協議会のパーベキューを実施する前段で整備作業を実施していただいた。他団体の協力をいただけたことが良かった。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19.地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4.体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
子ども達やその家族、一般の方が自主的に参加できる環境にあり公益性があると考えられる。
 - ②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）
自主的に清掃活動と花植えに参加するプログラムになっており、内容が目的から逸脱しておらず、公益性があると考えられる。
 - ③体験活動に専門家が適切に関与しているか。
花苗の準備や花壇の下準備に、長井市まち・住まい整備課、長井市花卉生産組合が協力しており、公益性があると考えられる。
- ④0

26 引継ぎ事項

- ・ベグの購入は必要ない。影山保管
- ・立て看板は市役所まち・住まい整備課で用意いただいた。
- ・メイン花壇の他、青年会議所区割り当て区画の担当を明確にすることを検討。
- ・草むしりの案内を全メンバーで実施しなかった。急な案内となり委員会メンバーで対応した。
- ・青年団体連絡協議会の事業の際に、整備作業を手伝っていただいた。他団体との連携も検討が必要だと感じる。
- ・撤去作業の参加者は3名だった。人数の確保が必要。

27 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告別添資料

28 各担当者所見

委員長：影山孝史

例年とは違うフラワーボランティアの取り組みにご協力いた

きまして誠にありがとうございました。市役所メンバー、関係各所の前向きなご協力を賜りまして幼稚園や保育園、児童センターの児童の皆様と一緒にふるさとOMOIYARIプロジェクトというビッグプロジェクトに参加できたことに感謝しております。参加されたかたからは「親子で土に触れあう機会がなかなかない中でこのような事業に参加できてよかった。ありがとうございました。」というご意見をいただきましてこの地域でこのような機会をつくれたことに大変うれしく思っています。そして、ブロック協議会からもアワード受賞をいただいた一因として、先輩諸兄が築かれた社会福祉協議会様との連携、各幼稚園、保育園、児童センターとの良い関係性・協力体制があったからではないかと思うところです。住みよいまち長井のために今後もフラワーボランティア、ふるさとOMOIYARIプロジェクトに関わっていきたいと思っております。

担当副理事長：井上典嗣

今年度は新しい取り組みとして「ふるさとOMOIYARIプロジェクト」と「フラワーボランティア教室」を同時開催として開催いたしました。多くの子供たちと共に無事開催できましたのもご協力いただいたメンバーの皆様のお陰でございます。誠にありがとうございました。課題も多く残りましたが、ブロック協議会のアワードを取ることもできましたし、少なからずこの事業に対して評価をいただいたことを嬉しく思っております。

納涼パーティー

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

J C 活動の経験や知識を持つ数多くの先輩方と、今後のまちづくりに活かすことができる情報交換ができる貴重な場となります。また、今年度ブロック大会長井大会でお世話になった先輩方への感謝の気持ちをお伝えするとともに交流を深め、この機会を活かし会員拡大にもつながる一体感が感じられる雰囲気をつくり出したいと考えます。

4 事業目的

メンバー・先輩方との交流、親睦を深め地域全体の一体感を育むことを目的とします。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーにアンケートを実施し検証とします。

6 事業概要

J C 活動の多くの素晴らしさを知る先輩方とのアットホームな懇親の場を創出します。参加者全員が楽しめるようなアトラクションを考えております。

7 実施日時 8月21日（木）

8 実施場所・会場：グランパリス パーティリゾート

9 事業対象者 メンバー・長井JC O B会員の皆様

10 参加者募集方法 メール配信、同報FAX

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事＝理事12名（総理事）－特別の利害関係を有する理事0名＝12名

決議の成立する理事数＝12名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権＝出席理事数×1/2を越える員数

1.4 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	10名	7名
	その他メンバー	22名	17名
外部	長井JCOB会	25名	15名
合計		57名	39名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井JCOB会	協力
---------	----

1.6 実施プログラム

- 19時00分：開会司会：玉橋恵子
- 19時02分：理事長挨拶 齋藤理事長
- 19時05分：長井JC OB会長挨拶 大竹薫先輩
- 19時08分：乾杯 鈴木直前理事長
- 19時20分：2014活動報告
※主にブロック大会報告PV
- 19時35分：次年度役員紹介 次年度専務理事候補者
次年度役員が登壇し次年度理事長挨拶をする。
- 20時00分：新入会員紹介 佐藤専務理事
- 20時10分：アトラクション「チーム対抗パターゴルフ対決」
(～20:30)
- 20時35分：若い我ら 樋口副議長
- 20時45分：中締め 飯田武志先輩
- 20時50分：閉会の挨拶
- 20時52分：メンバーお見送り
- 2次会へ バス第1便・・・OB会、理事長、次年度理事長候補者 バス第2便・・・現役メンバー ※同会場で実施

1.7 対外配付資料 資料名内容

1 次第

1.8 人員配置・役割分担表

- 司会：玉橋副委員長 補助 齋藤圭央君
- 受付：風間正志君、影山委員長
- 補助 橋本一磨君（誘導も含む）
- 補助 中川一聖君（誘導も含む）
- 補助 飯澤栄一君（ ）
- プロジェクター：大竹貴之君
- 全体統括 井上副理事長
- 補助 児玉大輔君

1.9 引用著作物の有無 無し

2.0 事業目的達成の検証

納涼パーティーアンケート集計結果

問1、OBの方やメンバーとの懇親は深めることができましたか？その理由もお書き下さい。
懇親を深めることができた・・・93%
懇親を深めることができなかった・・・7%

問1、理由

多くの先輩と話すことができた。アトラクションが盛り上がった。今後に活かせる経験ができた。
ゴルフをするいい機会になった。普段話す機会が無い方とも話すことができた。
良い雰囲気で行進もスムーズでよかった。色々な情報交換ができた。
初対面のOBの方と名刺交換ができてお話ができたこと。

問2、会場の設営（雰囲気・料理・アトラクション・おもてなし）はいかがでしたか？

よかった・・・100% よくなかった・・・0%

問2、理由

料理が美味しかった。司会が上手かった。初めての経験だったが楽しめた。
大竹さん親子のお蔭で盛り上がった。
罰ゲームのリアクションが取り辛かった。
圭央さんお疲れ様でした。司会とてもよかったです。

問3、OBの先輩方からのアドバイスや参考になったことをお書きください。

- ・心の幹を太くしなさい。
- ・コンパニオンがいればよいのではないかと。
- ・もっと遊ぶこと。
- ・最後の挨拶より、心を鍛えることの大切さを感じました。心の話が考えさせられました。

- ・来年はコンパニオンを検討して下さい。
- ・50周年のゴルフコンペを計画して下さい。

問4、来年の納涼パーティーにご意見・ご要望等があれば、お書きください。

- ・楽しい時間、来年も繋げて欲しい。
- ・後半はOBの方も時間を気にしていた。終了時間を検討して下さい。
- ・もっと楽しめ！
- ・やはり、参加者の数を増やせたらいい。
- メンバー・先輩方との交流、親睦を深め地域全体の一体感を育むことを目的としていることから先輩達との交流が盛んに行われ目的を達成したと思われる。
- アンケート内容から、先輩の言葉から会員としての在り方、次年度へのアドバイスや交流があったことが見て取れる。個々のモチベーションの向上に繋がる場所であったと感じる。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

- ・納涼パーティーの打ち合わせ行っただが8月11日だった。遅い打ち合わせになってしまった。
- ・OB事務局との打ち合わせが不足だった。出席者の確認不足や挨拶等の依頼が伝わっていなかったりした。
- ・長井大会PVをリハーサル時点（当日前夜）で確認できなかった。委員会メンバー全員で確認が必要。
- ・当日、ご挨拶（理事長、直前理事長）や、紹介をしなくてはならない方（専務理事、次年度専務理事）に事前に、当日の流れ、役割を説明していなかった。例年通りとは言え、しっかりと依頼が必要であった。

【予算面】 無し

【その他】

- ・長井JCOB会ゴルフコンペと同日開催が望ましいという意見が多かった。ただ、現役のコンペ参加が少ない状況。メンバーがゴルフコンペに参加できるように練習会等の計画も考えられるのではないかと。

2.2 引継ぎ事項

- ・OB会事務局との事前の打ち合わせをしっかりと行ってください。納涼パーティーの在り方等も含めて。OB会事務局としてほとんどのOBは返信もくれず苦勞されているようでした。
- ・毎年継続して行っていますが、役割があるメンバーにはしっかりと依頼すること。
- ・50周年記念ゴルフコンペという話もOB側からあるようで、ゴルフコンペ参加推進を早くから行うこと。
- ・OBの挨拶や締めのお願いは出欠確認後、直ちにお願いくること。
- ・OBとの会話から、おもてなしする手段の一つとして酌婦の検討もあっても良いと感じた。
- ・ブロック大会のお礼を直接OBの方々に直接できたので良かった。
- ・アトラクションのパターゴルフはやはり盛り上がった。
- ・バツゲームの苦いお茶はリアクションが取りづらいとの声もありましたが、あまり酷なものには控えるべき。
- ・アンケートをその場で記入してもらったので回収率は例年に比べかなり良かった。
- ・次年度理事長候補者及び役員をOBの方々へ披露することができた。
- ・開催すべきかどうかという議論も近年ありますが、やはり開催して良かったと委員会では感じました。
- ・プログラムの順番を変えたことで、乾杯まで長いという声は聞かなくなりました。
- ・最後は時間を気にしている方もいたようですが、2時間以内のプログラムで概ね適正と感じます。

2.3 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告別添資料

2.4 各担当所見

委員長：影山孝史

まずは、多くのメンバーにご参加いただきましたことありがとうございます。

今思い返せば、ブロック大会の報告、御礼も兼ねた集まりにはゴルフ終わりの長井JCOB会の皆様に多数ご参加いただきまして、心から感謝、御礼を伝えることに必死だったことを思い出します。そして、最後に飯田先輩が仰った「心の幹を太くあれ」という言葉を今も大切にしている次第です。この地域っていいなと思える時間でした。今後も長井JCOB会、メンバーの参加が増

えるように様々なおもてなしが行われると思いますが、心の幹を太く、楽しく過ごせる時間となることを祈念しまして、簡単ではありますが所見とさせていただきます。本当にありがとうございました。

担当副理事長：井上典嗣

参加いただきましたOBの先輩方、そして現役メンバーの方々にお礼申し上げます。まことにありがとうございました。

近年開催するかどうかという議論もありましたが、実際開催するとやって良かったと思えました。OB先輩方から直接素晴らしいアドバイスをお聞きできる機会は必要だと感じます。長井青年会議所が主管したブロック大会の報告と感謝をお伝えすることもでき、とても有意義な時間でありました。お話すなかで納涼パーティーの設えに関してもさまざまご意見をいただき、課題も残りましたが次年度へしっかりと引き継ぐことで、これまで以上に有意義なOBとの懇親の場にしていかなければならないと感じております。

参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

長井市長選挙公開討論会

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

国民の政治へ対する期待と不安が入り混じる中、各地の首長選挙における関心度も徐々に高まりつつあります。また、長井市も例外ではなく首長の考える政策に耳を傾け自分たちの住む地域に対して高い意識をもって発言し行動する、そんな住民が主役のまちづくりへと変革する事が必要です。そんな中で、2014年12月14日に長井市長が任期満了となります。長井市民が立候補者の考える政策に耳を傾け、納得して市のリーダーを選んでいただけるような機会を与えていきます。

4 事業目的

立候補表明者の政策について地域の人々に聞いて頂き、市政に対しての関心を高めていただくとともに、地域の人々にその地域の問題点について意志の共有化を行い、今後の地域活動に対する気づきの場を創出し、住民主権による明るい豊かな地域の創造を目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

当日来場者にアンケートを実施し検証を行った。

6 事業概要

- ・長井市長選においてマニフェスト(政策提言)型の公開討論会を開催した。
- ・各立候補予定者のマニフェストをもとに委員会メンバーで質問を精査し、公開討論会の事前説明会時に提出した。
- ・市報のお知らせ欄に記載をすることで広くPRを行うよう努めた。(掲載できなかった)
- ・手話通訳の派遣を打診した。(コーディネーター側、候補者側の合計2名)(実施できなかった)

7 実施日時 2014年11月4日(火) 19:00~

8 実施場所・会場：長井市置賜生涯学習プラザ 舞と音楽のホール

9 事業対象者 立候補予定者及び有権者、長井青年会議所メンバー。

10 参加者募集方法 チラシ2800枚による広報。長井青年会議所HP掲載、facebook掲載。市報折り込み依頼、各地区長回覧板にチラシ配布依頼を行った。

11 決算総額：¥34,228

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	10名	7名
	その他メンバー	33名	14名
外部	立候補予定者	2名	2名
	山形ブロック協議会 未来選択創造委員会	5名	5名
	一般参加者	200名	150名
合計		250名	178名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市選挙管理委員会	協力
長井市社会福祉協議会	協力

16 実施プログラム

公開討論会タイムスケジュール及び広報計画について

・事前準備・広報についての流れ

- 10月6日 立候補予定者参加依頼書配布 (FAX使用ができなかったため)
- 10月8日 選挙管理委員会と打ち合わせ、市報掲載・地区の回覧での広報について意見交換。(日程的・前例がない内容ということで断られる)
- 10月10日 手話サークル依頼(技術的に難しいということで断られる)
- 10月21日 事前説明会を実施
- 10月23日 米沢記者クラブに取材依頼(中村委員長)、同日山形新聞社に依頼(影山)
- 10月26日 チラシ広報開始、口コミによる開催の告知を全メンバーにメールで打診
- 11月2日 山形ブロック協議会中村委員長と最終打ち合わせ
- 11月4日 事業実施
- ・当日プログラムについて
- 会場：生涯学習プラザ 舞と音楽のホール
- 控室：和室2部屋 撮影室：洋研修室1部屋
- 16:00 ・受付セッティング、ステージセッティング、控室セッティング
- 18:00 立候補予定者会場入り 控室へ誘導担当 まちづくり委員会※以下誘導
- 18:10 立候補予定者へのくじ引き及び注意事項説明(同時にeみらせんの撮影)
- 担当 井上副理事長 山形ブロック協議会 有権者、会場受付開始 担当 ひとつくり委員会
- 18:30 事前アナウンス①
- 18:45 立候補予定者会場入り口へ待機 誘導
- 18:55 事前アナウンス②
- 18:58 開会 司会者より
まちづくり委員会 委員長 影山孝史
- 19:00 主催者挨拶 齋藤理事長
- 19:03 コーディネーター紹介 司会者より
山形ブロック協議会未来選択創造委員会 委員長 中村圭介君
- 19:04 公開討論会のルール説明 中村圭介君より
- 19:08 立候補予定者入場 呼び込み 誘導
- 19:09 立候補予定者自己紹介立候補動機
- 担当 コーディネーター各3分×2 A→B順
- 19:16 ローカル・マニフェスト説明
各5分×2 B→A順
- 19:27 第1問目質問読上げ及び回答
「若年や子育て世代への支援に関して」
質問文読上げ1分各3分×2 A→B順
- 19:34 第2問目質問読上げ及び回答
「長井市の財政に関して」
質問文読上げ1分各3分×2 B→A順
- 19:41 第3問目質問読上げ及び回答
「長井市の教育・まちの魅力に関して」
質問文読上げ1分各3分×2 A→B順
- 19:48 プレイクタイム 担当影山委員長
「ご自身の夢を聞く」

19:57 質問文読み上げ1分各1分×2 B→A順
第4問目質問読上げ及び回答
「観光に関して」

19:54 質問文読み上げ1分各3分×2 A→B順
第5問目質問読上げ及び回答
「長井市の産業経済分野に関して」

20:07 質問文読み上げ1分各3分×2 B→A順
立候補予定者による最終弁論
読上げ1分 各3分×2 A→B順

20:14 立候補予定者退場 誘導

20:16 閉会 司会より

20:25 後片付け 全員

21:00 終了予定

当日の委員会ごとの役割

司会 まちづくり委員会 委員長 影山孝史
コーディネーター 山形ブロック協議会未来選択創造委員会
委員長 中村圭介君

立候補予定者受付 まちづくり委員会・事務局
eみらせん撮影 山形ブロック協議会未来選択創造委員会
会場係 会議体・ひとづくり委員会
時間・ベル・時間表示係り まちづくり委員会
ステージ上対応 会議体・ひとづくり委員会
・公開討論会シナリオ

17 対外配付資料

資料名	内容
1	警備依頼
2	市長選挙公開討論会会場アンケート
3	選挙公開討論会開催趣意書
4	選挙公開討論会参加回答依頼書
5	長井市長選挙公開討論会参加回答書
6	長井市長選挙事前説明会参加依頼書
7	長井市長選挙事前説明会 (2人ver)
8	手話サークル依頼文
9	市報掲載文
10	eみらせん承諾書 我妻氏
11	eみらせん承諾書 内谷氏
12	eみらせん申込書.jpg
13	長井警察署 提出書類 公安委員会集会申請書
14	お礼状
15	長井市長選挙マスコミ取材依頼文書
16	公開討論会チラシ

18 人員配置・役割分担表

当日の委員会ごとの役割

司会 まちづくり委員会 委員長 影山孝史
コーディネーター 山形ブロック協議会未来選択創造委員会 委員長 中村圭介君

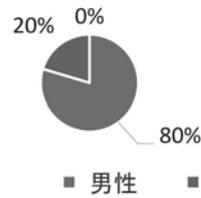
立候補予定者受付 まちづくり委員会・事務局
eみらせん撮影 山形ブロック協議会未来選択創造委員会
会場係 会議体・ひとづくり委員会
時間・ベル・時間表示係り まちづくり委員会
ステージ上対応 会議体・ひとづくり委員会
・メンバー行動表

19 引用著作物の有無 無し

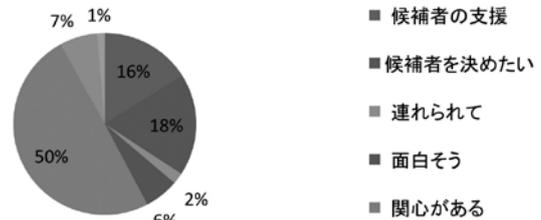
20 事業目的達成の検証

・アンケートに答えていただいた方は113名、特に若い年代の方に市政を身近に感じていただきたいと計画した事業内容ではありましたが、若年層への参加を推進できなかったという大きな反省点が見てとれます。女性の参加率も今後の課題として示されています。

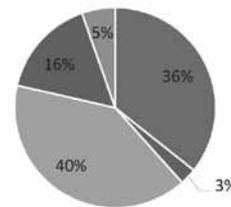
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	男女人数
男性	0	0	13	21	18	22	19	93
女性	0	2	2	1	4	7	4	20
年齢別人数	0	2	15	22	22	29	23	113



・動機について・・・課題の反面、問9「あなたはなぜ、今日の討論会に来られたのですか。」という質問から多くの方が「関心がある」と答えた中で、「候補者を決めたい」という思いを持ちこの事業に来場している方の割合が多いことは、今後も本来の趣旨である、立候補予定者の政策を聞き比べることができる場を作り続けることで、選択する場の可能性が若年層にも伝わっていくことを示しています。

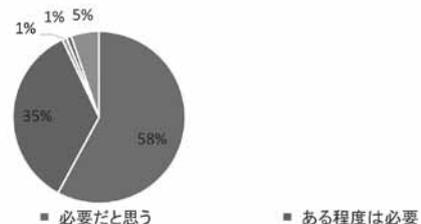


・参加することで意識が高まる・・・参加した方からは問6「この討論会を通じてあなたの政治に関する関心は高まりましたか。」という質問で以前から関心がある人と同等の人が関心が高まったと答えています。周知期間が短かった今回の公開討論会でもこのような結果であるならば、参加するきっかけづくりを青年会議所で行うことで若者の政治離れの不安を解消できることを表しています。



■ 高まった ■ 高まらなかった ■ 前から関心がある ■ 変わらない ■ 記入なし

・選択する未来にやる気が沸く・・・公開討論会に参加していただければ政策についての思いや政治に対する考え方の意識の改革ははじまります。問8「選挙後、公約について進捗状況を確認し合える機会はあると思いますか。」の問いから、9割以上の方が自分達が選ぶ未来を、確認し分かち合いたい、定期的に参加型なまちづくりを望んでいることが分かります。今回の公開討論会や現段階で計画されていないマニフェスト検証大会は地域活動に対する気づきの場を創出し参加するきっかけづくりの一つの手法だと感じます。



・まとめ・・・以上の事柄から、「立候補表明者の政策について地域の人々に聞いて頂き、市政に対しての関心を高めていただくとともに、地域の人々にその地域の問題点について意志の共有化を行い、今後の地域活動に対する気づきの場を創出し、住民主権による明るい豊かな地域の創造」という目的は少なから

ず達成したと判断できます。
アンケート集計結果

2.1 実施上の問題点

【運営面】

- ・11月2日(日) 未来選択創造委員会 中村委員長、齋藤副委員長と打ち合わせを行う。
実施プログラム(案)であった〇×で返答する内容など精査し、ブレイクタイムとして候補者ご自身の夢を語っていただく内容を実施することとした。また、実施プログラムの大きな変更として、主催者挨拶を行うことを決定、司会、ブレイクタイムを影山が対応すること、会場のステージセッティング変更、プロジェクターの使用など決定した。開催前の変更メンバーに当日の準備や行動表を確認する時間が無かった。
 - ・広報に関して、市報掲載ができなかった。配布日の4日後開催での内容だったため。回覧板担当者にも掛け合っていたが、前例が無い内容で断られた状況。その点をカバーするため、メンバーの皆様にご協力いただき口コミの方法を選択肢に入れ広報しました。
 - ・公平中立な運営に苦慮しました。候補者への案内も同時に行うように対応しましたが、事務所のFAX番号が記載されているビラがあっても、まだつながっていないということがありました。質問、問い合わせ等の対応では両立候補予定者に公平に伝える様、場合によっては書面または立候補予定者を呼び出しお話しすることも方法と教わりました。
 - ・公開討論会のステージ上で司会やコーディネーターの顔にも公平を期すため慎重に来場者の方からご意見いただきました。
 - ・e-みらせん撮影の控室がパーテーションで仕切る部屋を予定していたところ、音漏れや立候補予定者のバッティングを考慮して急遽変更しました。
 - ・会場の備品関係の確認作業をすべきでした。ワイヤレスマイクが故障しているハプニングがあった。会場担当者との打ち合わせを行うことで改善できる。
 - ・手話サービスの実施ができなかった。サークルメンバーで技術的に無理だと判断。事前に社会福祉協議会へ打診して依頼ができる。
- 【予算面】
- ・会場担当者との打ち合わせで備品関係の見積りをだしてもらったべきだった。
- 【その他】
- ・警備依頼は断られたが、長井警察署警備課の皆様は協力的な対応をしていただいた。
- *当日来ていただったり、もしもの時の連絡先交換などサポートいただいた。

2.2 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

1.9 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

9. 展示会、〇〇ショー

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
まちづくりに対する意識の高揚を図る目的、公平な立場で立候補者の声に耳を傾ける内容とする。
- ②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例: テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注) 公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。
地域の持つ問題点を明確にし、共有できる内容から、明るい豊かな社会の実現に必要なプログラムである。
- ③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例: 出展料に不当な差別がないか)

立候補予定者及び有権者が対象であることから公正に選定している。

④0

2.6 引継ぎ事項

- ・公開討論会開催の警備依頼書ではなく公安委員会宛の集会届のみ提出を行う。
- ・公平中立な立場から当人や代表者を呼んでの説明、返答会なども考えられる。
- ・〇〇市長選挙公開討論会、〇〇町長選挙公開討論会と明記することは選挙管理委員会から公職選挙法で良いとは言えない、グレーであるという意見をいただいた。
- ・チラシや告知方法で選挙管理委員会に随時相談し意見交換をすることが望ましい。
- ・開催日について、市報、町報掲載が極力可能な日程を選択するのが望ましい。

2.7 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告別添資料

2.8 各担当者所見

委員長: 影山 孝史

沢山のまちの人々にお世話になった本事業において、長井JCメンバーの皆様には積極的にご協力いただきまして誠にありがとうございました。皆様のお声により多くの参加者に来場いただいたと思っています。そして、公開討論会を通じて市政をより身近に感じ、政治にふれて少し感動もあったと思います。山形ブロック協議会未来選択創造委員会メンバーの皆様をサポート、e-みらせんの取り組みがあり、私達の住む地域にも政策本位による政治選択する機会を創出できたことに私自身が少し感動しました。まずは、第一歩となる本事業にご協力いただいた皆様に感謝の気持ちをお伝えし所見と致します。ありがとうございました。

担当副理事長: 井上 典嗣

まずは、この大切な公開討論会の実施を当委員会に託して下さった皆様に深く感謝申し上げます。また、広報や当日運営にご協力して下さった長井JCメンバーの皆様、ブロック協議会の皆様に重ねて感謝申し上げます。まことにありがとうございました。投票率が低かったことは非常に残念ではありますが、当日参加して下さった方々以外にも、ラジオで聞いたという声も聞かれ、少なからず今回の選挙に良い影響を与えられたのではないかと思います。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2013/10/10 (木)	J C ルーム	18:00~ 20:15	井上典嗣、影山孝史、風間正志、大竹貴之、 玉橋恵子	・基本計画書の修正 ・委員会の業務分担 ・次回委員会について
2013/10/21 (月)	J C ルーム	21:00~ 22:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、橋本一磨、 齋藤圭央、玉橋恵子 オブザーブ：齋藤繁喜、板垣洋一、佐藤真光	・委員会の業務分担 ・事業計画について ・次回委員会について
2013/10/28 (月)	J C ルーム	19:00~ 22:40	井上典嗣、影山孝史、風間正志、児玉大輔、 齋藤圭央、玉橋恵子 オブザーブ：齋藤繁喜、平宗正	・基本計画書の修正 ・事業計画書の修正
2013/11/8 (金)	はぎ苑 多夢炉	19:00~ 21:00	井上典嗣、影山孝史、風間正志、大竹貴之、 橋本一磨、齋藤圭央、玉橋恵子	・地域防災セミナーについて ・夢灯・まちづくり基金申請書類について
2013/11/26 (火)	長井市役所 第2庁舎	9:00~ 10:30	影山孝史、玉橋恵子	・元気創造プロジェクトまちづくり基金申請について
2013/11/28 (木)	J C ルーム	19:00~ 22:00	井上典嗣、影山孝史、風間正志、大竹貴之、 齋藤圭央、玉橋恵子	・第4回理事予定者会報告 ・基金事務局商工振興課打合せ報告 ・夢灯・元気創造プロジェクトについて
2013/12/17 (火)	J C ルーム	19:00~ 21:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、橋本一磨、 玉橋恵子 オブザーブ：佐藤真光	・夢灯・元気創造プロジェクトについて
2014/1/20 (月)	長井市社会 福祉協議会	13:00~ 14:30	影山孝史、玉橋恵子	・地域防災セミナーについて
2014/1/23 (木)	J C ルーム	19:00~ 21:00	井上典嗣、影山孝史、風間正志、大竹貴之、 橋本一磨、齋藤圭央、玉橋恵子 オブザーブ：佐藤真光	・地域防災セミナーについて ・夢灯について
2014/2/12 (水)	J C ルーム	19:00~ 21:00	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子	・地域防災セミナーリハーサル
2014/3/2 (日)	はぎ苑 多夢炉	18:00~ 21:00	井上典嗣、影山孝史、玉橋恵子 オブザーブ：齋藤繁喜	・夢灯について
2014/3/12 (水)	J C ルーム			
2014/3/18 (火)	J C ルーム	19:30~ 22:00	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、橋本一磨、 齋藤圭央、玉橋恵子 オブザーブ：齋藤繁喜、鈴木善典、板垣洋一、 椎名恭一、佐藤真光、樋口和哉、梅津壮一郎、 小関弾、齋藤憲幸、平宗正	・夢灯について
2014/3/31 (月)	はぎ苑 多夢炉	19:00~ 25:30	影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、玉橋恵子	・フラワーボランティアについて ・夢灯について ・長井駅周辺整備事業について
2014/4/8 (火)	J C ルーム	19:00~ 23:00	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、風間正志、 橋本一磨、齋藤圭央、玉橋恵子 オブザーブ：齋藤繁喜、鈴木善典、遠藤浩樹、 佐藤真光、樋口和哉、梅津壮一郎、小関幸一	・長井駅周辺整備事業について ・フラワーボランティアについて ・夢灯について ・長井大会懇親会アトラクションについて
2014/4/15 (火)	事務機セン ター青光社	20:00~ 21:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、風間正志、 児玉大輔、齋藤圭央、玉橋恵子	・夢灯企業協賛物品準備
2014/4/28 (月)	J C ルーム	19:00~ 26:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、玉橋恵子	・5月理事会資料作成
2014/5/6 (火)	J C ルーム	19:30~ 21:30	井上典嗣、影山孝史、橋本一磨、齋藤圭央、 玉橋恵子	・臨時理事会資料確認
2014/5/12 (月)	長井南 中 学 校	14:00~ 14:30	齋藤繁喜、井上典嗣、影山孝史、玉橋恵子	・長井南中学校夢灯講演会
2014/5/14 (水)	大 竹 電 気 工 事	19:00~ 21:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子 オブザーブ：板垣洋一	・夢灯大型ランタン作成準備
2014/6/12 (木)	はぎ苑	19:00~ 23:30	井上典嗣、影山孝史、風間正志、大竹貴之、 児玉大輔、齋藤圭央、玉橋恵子	・夢灯当日スケジュール、物品準備の最終確認
2014/6/13 (金)	プラザ、あ やめ公園、 風間書店等	15:00~ 25:00	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子	・夢灯使用物品借用・購入、あやめ公園会場確認、企業協賛ランタン作成
2014/6/15 (日)	プラザ、は ぎ苑、J C ルーム等	17:00~ 20:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子	・夢灯後片付け
2014/6/19 (木)	J C ルーム	19:00~ 21:30	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子	・OMOIYARIプロジェクト当日運営の確認 ・納涼パーティーについて
2014/7/23 (水)	河 川 緑 地 公 園	18:00~ 20:00	井上典嗣、影山孝史、風間正志、齋藤圭央、 玉橋恵子	・OMOIYARI花壇整備作業
2014/7/24 (木)	河 川 緑 地 公 園	18:00~ 20:00	齋藤圭央、玉橋恵子、板垣洋一	・OMOIYARI花壇整備作業
2014/8/11 (月)	J C ルーム	19:00~ 22:00	井上典嗣、影山孝史、大竹貴之、齋藤圭央、 玉橋恵子	・納涼パーティについて ・夢灯報告について

事務局 事業報告書

- 専務理事 佐藤 真光
- 事務局長 小関 幸一
- 事務局補佐 井上 真
- 事務局補佐 鈴木亜由美
- 事務局補佐 飯澤 喜治

委員長所感

本年度、事務局長を務めさせて頂き常に勉強になった一年でした。また、専務には最後の最後まで、お手数お掛けしました。本当に感謝しております。また、総務局長にも様々な場面で助けていただきました。心強く感じたこと幾度とあり、感謝しております。事務局補佐で助けて頂きました井上さん、亜由美さん、飯澤さんにも事務局運営になくてはならない存在であり、皆さん速やかに、快くご協力頂き、また私を何度も助けて頂き感謝しております。私自身、初めてのことで戸惑ったときもありましたが、皆様のお力があってなんとかここまで来ました。今後のJ C活動の自信に繋がります。メンバーの皆様にも事務局運営にご理解とご協力頂き、感謝の一年でありました。誠にありがとうございます。

年間事業報告

新春賀詞交歓会

- 1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
長井J Cとして、活動エリア内の行政関係者や各種団体の代表者、諸先輩といった各方面の方々をお招きし、2014年度の長井青年会議所の活動を発信していくことが引き続き必要であり、全メンバーが新春の時期に当年度の事業をしっかりと理解し、それぞれの意識を高めることが望ましい。また、多くの方々と触れ合うことで、互いに理解し尊重する関係性を保ち、今後のより良い事業展開に結び付けられるような機会が必要である。
- 4 事業目的
J C活動に対する意識向上と地域の発展を追求する。
- 5 事業の検証方法とその手段
交歓会終了後、アンケートを実施し、交歓会そのものに対するお意見や外部から長井J Cに望むこと、会の中で話し合った些細なことなど、アンケートに記入してもらい、事務局内で集計し検証しました。
- 6 事業概要
これまで長井J Cと関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2014年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを周知しました。同時に、全てのJ Cメンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、J C活動への参画意欲を向上することができました。
また、それぞれの団体の方々やOBの方々との懇話を通して情報交換と懇親を深めていただき、今後のまちづくりの更なる協力体制を構築する機会としました。
- 7 実施日時：平成26年1月9日（木）
18時30分～21時15分
- 8 実施場所・会場：(株)長井観光はぎ苑 新館
- 9 事業対象者
長井青年会議所メンバー・行政関係者・まちづくりに寄与している関係諸団体・長井青年会議所OB

10 参加者募集方法

招待者リストを作成し、招待状を発送し、近隣で直接会うことが可能な方は手渡しにて案内しました。

11 決算総額：¥17,260

12 特別の利害関係を有する理事 小関幸一 以上1名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事1名=13名

議決の成立する理事数=13名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	5名	5名
	その他メンバー	25名	16名
外部	招待者(来賓)	35名	25名
	長井JCOB	20名	15名
合 計		80名	61名

15 実施プログラム

- 18:00 受け付け開始
◇2014年度の基本方針並びに事業計画発表
※新館のステージ側の方のスペースで実施
司会 事務局長 小関幸一君
- 18:30 開会の挨拶 未来創造会議議長 遠藤浩樹君
18:31 国歌斉唱
18:33 J Cソング斉唱
18:35 J C I クリード唱和 総務局長 斎藤憲幸君
18:36 J C宣言朗読並びに綱領唱和、アフアメーション
未来創造会議副議長 梅津壮一郎君
直前理事長挨拶 直前理事長 鈴木喜典君
18:42 理事長挨拶 理事長 斎藤繁喜君
18:55 来賓紹介 専務理事 佐藤真光君
19:00 来賓祝辞
長井市長 内谷重治様（長井市副市長 遠藤健司様）
長井JCOB会会長 大竹薫様
19:15 2014年度理事役員の紹介
19:20 2014年度基本方針、事業計画発表
各委員会の担当副理事長と専務理事及び副実行委員長より発表
会場移動 ※司会が案内
◇宴席を新館2階、隣の会場（階段側）で実施
- 19:40 鏡開き
(1)長井市副市長 遠藤健司様 (2)長井市議会議長、小関勝助様
(3)公益社団法人 長井教育会 理事長、渡部秀一様 (4)長井市観光協会 副会長 齋藤裕之様 (5)長井JCOB会会長、大竹薫様
(6)長井商工会議所 専務理事 塚田弘一様 (7)長井市教育委員会 教育長 加藤芳秀君 (8)山形ブロック協議会会長 長谷川海秀君 (6)理事長、斎藤繁喜君 (7)直前理事長、鈴木喜典君
- 19:43 乾杯 公益社団法人日本青年会議所東北地区
山形ブロック協議会会長 長谷川海秀君
- 19:50 新入会員紹介専務 佐藤真光君
20:30 2013年度 スライド上映
21:00 2014年度 会員大会PV上映
21:10 中締め 公益社団法人長井教育会

理事長(長井JCOB会) 渡部秀一様

21:15 閉会の挨拶 副理事長 椎名恭一君

16 対外配付資料

資料名内容

- 1 招待状
- 2 出欠返信はがき 表 裏
- 3 2014新春賀詞交歓会次第
- 4 祝賀会 席次
- 5 2014長井青年会議所_基本資料・事業計画(抜粋)
招待者・長井JCOB会

17 人員配置・役割分担表

事務局内役割

招待者リスト作成	小関(幸)
招待状作成・発送	事務局
メンバー出欠確認	事務局
上映スライド制作	影山
当日配布資料作成	小関(幸)
席次構成	小関(幸)

当日役割

司会	
JCIクリード	斎藤(憲)
JC宣言・綱領	梅津(壮)
来賓紹介	佐藤(真)
鏡開き	事務局
新入会員紹介	佐藤(真)
スライド上映操作	影山
受付	井上・鈴木(亜)

18 事業目的達成の検証

29名中7名の方よりアンケートの回答を頂いた…回答率24%

Q1 あなたはこの度の新春賀詞交歓会でご来賓の方々、JCOBの方々と交流を持つことができましたか?

はい・・・100% いいえ・・・0%

Q2 来賓の方々、JCOBの方々どんな内容をお話ししましたか?

どんな内容

- ・先輩方が入会した当初のお話やJC活動を行う上でのアドバイスをいただきました。
- ・市役所からJCに入会し活動することは、仕事にもプラスになると思うので、これからのがんばってほしい。
- ・ブロック拡大、会員拡大、仕事
- ・事業企画のアドバイスなど
- ・納涼パーティーについて・・・今年度はゴルフコンペを開き、OBの参加を募りたいとのこと。
- ・仕事とJC活動の両立について
- ・人前で話すスリルについて
- ・長井中心市街地に関して
- ・昨年苦勞話

Q3 来賓の方々、JCOBの方々に、これからの長井青年会議所に期待することをお聞きすることができましたか?

また、どんな意見、感想を述べていらっしゃいましたか?

はい・・・70% いいえ・・・30%

どんな意見・感想

- ・自信を持って活動してほしい。
 - ・若い力を存分に発揮してほしい。
 - ・公益事業の発展的取り組み、JC後の各人の活躍。
 - ・大きな影響を与える団体であり、魅力ある事業によって会員拡大に繋がる。
 - ・いろんな行動・参加を期待する。
 - ・ブロック大会は会員一丸となってがんばってほしい。
- Q4 あなた自身この度の新春賀詞交歓会について、どのように思い、感じましたか?
- ・初めての参加でしたが、長井で活躍されている方々ばかりで大変有意義な会でした。
 - ・今年はブロック大会開催を控えているので、OBはもちろんのこと、他団体に対して大会の理解と協力を得るうえで、話題にもなっていたので非常に有意義であった。
 - ・今後も関係を深めていきたい。
 - ・素晴らしい賀詞交歓会でした。
 - ・冒頭の直前理事長の御礼は良かったと思う。OBの方もおっしゃっていただきました。
 - ・多くの関係者、応援している方々がいることを再確認できた一日でした。
 - ・ブロック大会長井大会に対する期待も感じ実りある一年にした

いという思いを行動に移したいと思いました。

- ・新春にふさわしい内容だと思い、来年も同様の内容で十分だろうと感じました。
 - ・他JCメンバーもお呼びして近年にもまして発信できたい大会だったと思う。
 - ・良いことはそのままに、さらにいいことを盛り込んでいく。
 - ・非常にたくさんの方と関わりを持つのだということが実感できた。またたくさんの方に支えられ活動しているということを感じ、今後も気を引き締めて頑張っていかなければならないと感じた。
- Q5 最後に、今年の新春賀詞交歓会は、JC活動への理解を深め、私たちの住む地域の発展について考える機会となりましたか?

はい・・・100% いいえ・・・0%

Q6 今回、来賓としてご参加頂いた団体の方以外に、次回、招待させて頂く団体などがございましたらご記入ください。

- ・白鷹町、飯豊町、小国町のまちづくり団体をリサーチして招待できればと思いました。

上記の内容から、来賓やJCOB会の方と交流全ての回答者の方がもつことができ、また、70%の方より、今後の長井JCに対する期待の声を頂くことができた。また、回答頂いた全ての参加したJCメンバーよりも今後の活動に対して理解を深め、私たちの住む地域の発展について考える機会となったと回答を得ることができた。よって、JC活動に対する意識向上と地域の発展を追求するという目的に対して、今回の事業は達成できたといえる。

19 実施上の問題点

【運営面】

- ・OB会長より、夜9時を過ぎていたため、早めの閉会の指示を頂いた。来賓、JCOB会の方への配慮が欠けてしまった。
- ・当日、お酒などを持参頂いた、来賓、JCOBの方の紹介が、想定しておらず、準備不足でうまく行えなかった。
- ・新春のスタート時にいかにメンバーの参加率を高めるかが必要と感じた。

【予算面】

- ・印刷製本費で予算よりもオーバーしてしまった。内容としては、参加人数が昨年より増えたのだが事前に予算計上をする必要があった。

【その他】

- ・アンケート回答率が24%と低く、アンケートの回収率が悪かった。

20 引継ぎ事項

- ・まず、メンバーの参加を促す。スタートが大事。
- ・宴会の終わり時間が遅くならないように時間調整を行う。
- ・当日のお酒を持参して頂いた方の紹介を事前に司会台本に組み込んでおく。
- ・アンケートの回収率を上げるために当日にアンケートをメンバーに書いて頂き、すぐ回収するなどの回収方法、記入場所・時間を検討する。

21 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容 1 事業報告書(別添)

22 各担当者所見

事務局長:小関 幸一

2014年スタートにふさわしい賑った会でありました。斎藤理事長を筆頭に、勢いよく関係者の方と共に長井青年会議所活動に理解を深めて頂くことができ、すばらしい新春賀詞交歓会だと感じております。司会をさせて頂き、参加頂きました来賓・JCOBの方の真剣な様子と、メンバーの積極的な姿をみて、今年一年改めてJC活動に皆さんの共に邁進して参りたいと感じました。関わって頂きました多くの方に感謝の気持ちでいっぱいです。誠に有難うございました。

専務:佐藤 真光

恒例の新春賀詞交歓会ではございますが、年頭の忙しい中多くのメンバーに出席頂きまして誠にありがとうございました。近年、来賓の数を減らした中で設えでありましたが、今年度に関しては案内数を増やし、今後連携していきたい団体などを各委員会からお聞きした中で案内を出したり、交歓会内で直接事業に関するお話をさせていただいたり、事業に直結する部分で交流を図れたのではないかと考えております。

個人的な意見としては、恒例事業ということもあり、本来の目的からただこなすだけの事業になっていた感もありましたが、今

後しっかりと開催の意味を認識をして、多くの方々と盛大に展開していくことが必要かとも思います。

まずは、年初はじめの事業として幸先のいいスタートをきいたのでないかと思います。また、外部の方を多く招いての事業が今後数多くあります。メンバーの方には引き続きご協力をお願いいたします。

ASPAC山形大会ウェルカムナイト・ジャパン ナイトブース出展メニュー事業報告

- 1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
特になし ※上程議案書フォームで上程した為、記載なし
- 4 事業概要
6月4日(水)～7日(土)の期間、第64回JCIアジア太平洋会議(ASPAC)山形大会が開催されます。公益社団法人日本青年会議所では、参加して頂いた海外メンバーに日本が世界に誇るべき日本文化と精神性を発信し、各国メンバーとの友好関係を深めて頂くことを目的に6日「ジャパンナイト」を開催します。また、4日には、「ウェルカムナイト」が開催され、2日間で、長井・西置賜の特徴がある食べ物(みそ餅、馬肉チャーハン各200食×2日分)をふるまう。
- 5 実施日時 2014年6月4日 19:30～22:30、
2014年6月6日 19:30～22:00
- 6 実施場所・会場：ウェルカムナイト：山形市総合スポーツセンター、ジャパンナイト：山形ビッグウイング
- 7 事業対象者 長井青年会議所メンバー
- 8 参加者募集方法 メール、電話
- 9 決算総額：¥193,519

10 決議の条件
議決権のある理事=理事12名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=12名
決議の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1.1 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	4名	3名
	その他メンバー	24名	21名
外部			
合計		28名	24名

1.2 実施プログラム

- 4月 メニュー決定
- 5月中旬 試食会開催
- 5月 備品確認、発注
- 6月頭 備品購入

【メニュー】

長井の名物である、みそ餅、馬肉チャーハンをウェルカムナイト150食、ジャパンナイト250食をふるまった。

- ・みそ餅(萬寿屋本舗)
- ・馬肉チャーハン(えんどう肉店・桜華楼)

1.3 対外配付資料

- 資料名内容
- 1 長井観光パンレット
 - 2 馬肉チャーハンレシピ

- 1.4 人員配置・役割分担表
 - ・事務局メンバー搬入・搬出
 - ・LOMメンバー調理・提供係り

1.5 実施上の問題点

【運営面】

・たくさんのメンバーの方にご協力頂いたが、電気容量の関係で一度に調理できる数が限られ、せっかく来て頂いたのだから細かく役割分担などを決め、関わって頂くように指示する必要があった。

【予算面】

・馬肉チャーハンの材料代を事前に調べる必要があった。馬肉チャーハンが肉だけでも相当な量が必要であったが、桃華楼支店さんに協力頂き、細かく刻んで頂きまんべんなくいきわたるように工夫頂いたり、材料の量も工夫頂いた。

【その他】

・容器がたまたま他のイベント等でも重なったためか、長井市内に容器がちょうどよいがなく、米沢や山形に購入しに行った。早め早めの段取りが必要であった。

1.6 引継ぎ事項

- ・ASPACということで、国内外の方がこられることで、情報収集は大事であった。
- ・時期にもよるが特に、食中毒にはとても気を使った。時期によりレシピ要検討。

1.7 審議対象資料一覧

- ◆電子資料 資料名内容
 - 1 事業報告別添資料
- ◆配付資料・回覧資料 資料名内容
 - 1 みそ餅・馬肉チャーハンPOP

1.8 各担当者所見

事務局長：小 関 幸 一

初めて、ASPACに参加させて頂き私としても、今までにない貴重な経験をさせて頂きました。ウェルカムナイト、ジャパンナイトともに海外の方との交流をできたのが、今回特に印象に残っております。言葉は話せないのですが、気持ちは通じることができたと思っております。長井の名物である、みそ餅は、どの国の方、全国の地域の方にも人気で、お菓子感覚で食べると大評判でした。また、馬肉チャーハンも、ほとんどの方が馬肉に対しての抵抗もなく、食べさせて頂きました。調理は時間がかかることが予想されましたが、萬寿屋さん、桃華楼支店さんの知恵をお借りし、更にメンバー皆様の協力で無事に長井・西置賜の特色を発信することができ、大好評で終わることができました。ご協力頂きました皆様、交流させて頂きました皆様、誠にありがとうございました。

専務理事：佐 藤 真 光

今回のアスパックでの出店ブースにつきましては、多くのメンバーの協力を得て実施できたこと、本当に嬉しい限りでございました。ウェルカムナイトとジャパンナイトと2回の出店ではありましたが、1回目の反省を活かして2回目ではより良く改善して出店協力が出来たかとも思います。メンバーにおいては、出店ブースの協力もして頂きながらではありましたが、アスパックという大きな大会に触れて食べて踊って云々、ずいぶん楽しめたのではないかと思います。今後また大きな大会が続きますが、自分にとって大きく感化されるいい機会と思って多くのメンバーの積極的な参加をお願いいたします。

置賜4JC合同例会

- 1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
山形ブロック協議会の第4エリア、この置賜地区に存在する米沢、長井、南陽、高島それぞれの会員会議所は年に一回会員相互の交流とJAYCEEとしてのスキル向上の為、継続して講師例会を開催してきました。近年同じ第4エリアからブロック協議会

会長として2度輩出しており、県内各地会員会議所の他エリアから見ても資質の向上が感じ取れます。これも第4エリアとして交流を年に1度開催してきた運動の結果だと感じます。またこれからもより一層の交流とスキル向上を培うため今年度も講師例会を行う必要があると感じます。

4 事業目的

同じ第4エリアの他地区の会員会議所と交流を図ることにより、親睦を深め、同じ仲間との意見交換を通して切磋琢磨出来る場を提供し、参加率を上げLOM全体の意気を高めることを目的とする。

5 事業概要

公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会2014年度
会長 久米川和行君を講師にお招きしての講演会
表題『J C活動の意義～活動無くして運動無し～』
内容：近年、例会セレモニーや各種大会の登録が少ないのが現状です。

これは会員減少が理由だけではないような気がしています。
何故活動が必要なのか？家族や社員に活動を理解してもらうにはどうすれば良いのかなどを織り交ぜて講演して頂きました。

※参考資料 講師プロフィール 例会シナリオ
懇親会シナリオ 懇親会席次

6 実施日時

2014年10月21日(火)、
18:00 受付開始 18:30 開会
20:15 閉会 20:40 懇親会開会
22:30 懇親会閉会

7 実施場所・会場：

講師例会会場 中央公民館 2階 大会議室
講師控室 中央公民館 2階 202号室
懇親会会場 旅館エビスヤ1階

8 事業対象者 (公社)米沢青年会議所、(公社)長井青年会議所、(一社)南陽青年会議所、(一社)高島青年会議所

9 参加者募集方法 メール配信、FAX並びに各自電話にて呼びかけ

10 決算総額：¥8,085 置賜4JC収支決算報告書

11 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=12名
議決の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

12 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	長井JC	33名	19名
外部	米沢JC	90名	26名
	南陽JC	56名	24名
	高島JC	27名	17名
	合計	206名	86名

13 実施プログラム

タイムスケジュール
17:00 会場設営 メンバー出席者全員
18:00 受付 事務局長 戸田聡君
事務局長補佐 大塚栄一君
18:00 講師接待 直前理事長 大浦英樹君
顧問 長谷川海秀君
18:30 開会宣言 まちだいき委員会
担当理事 井田和史君
18:33 講師入場
18:34 講師プロフィール紹介
18:35 国歌斉唱
18:37 JCソング斉唱
18:39 JCIクリード唱和 ひとだいき委員会
委員長 丸山俊秀君
18:40 JCI Mission並びに
JCI Vision唱和
まちだいき委員会委員長 酒井豪太郎

18:41 JC宣言文朗読並びに綱領唱和
会計理事 木村和弘君
18:42 東北JC宣言唱和 事務局長 戸田竜馬君
18:43 開催地LOM理事長挨拶 理事長 片平 琢朗君
18:50 講演開始
講師 東北地区協議会会長 久米川和行君
19:50 質疑応答
20:00 謝辞 副理事長 大河原一樹君
20:05 講評 顧問 長谷川海秀君
20:10 講師退場
20:15 閉会宣言
ひとだいき委員会担当理事 川井秀智君
20:40 懇親会会場(エビスヤ1F)移動
※講師、理事長、専務、ブロック役員は席次作成。
4LOMメンバーはくじ引きにて席決め
事務局長 戸田聡君
事務局長補佐 大塚栄一君
20:41 懇親会開会 南陽青年会議所理事長 佐藤寛介君
20:42 乾杯 米沢青年会議所理事長 白井裕久君
20:45 歓談
21:30 各LOM事業紹介(認証順)
次年度紹介(認証順) 今年度各LOM専務
次年度各LOM専務
22:25 2015年度ブロック役員紹介
22:35 中締め 高島青年会議所理事長 片平琢朗君
22:40 懇親会閉会 長井青年会議所理事長 齋藤繁喜君

14 事業目的達成の検証

【事業目的に達した点】

各LOMから多くのメンバーが集まり講話を拝聴することが出来た。新入会員やメンバーに対しても多くの気づきを与えることが出来た。

【事業目的に達しなかった点】

アンケートを取るなど今後の各LOM運営に役立つような資料を提供できなかった事。

15 引継ぎ事項

次年度開催地は米沢JCになります。
早期より理事長・専務会などで、各LOMと事業の内容を共有することにより、多くのメンバーが集まれる工夫をする必要がある。

より各LOM同士が交流できるよう、講演を開きつつ、グループディスカッション等意見を交わせる時間があれば尚よかったと思う。

16 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容
1 事業報告別添資料

17 各担当者所見

事務局長：小 関 幸 一

約3分2の参加率でした。高島の地ということで、少し早めの集合時間でありながらも、時間調整頂き参加頂きました皆様には感謝申し上げます。また、新入会員・仮会員の方にも参加頂き、現役メンバーと共に東北地区協議会2014年度会長 久米川和行君の講話が聞き、ざっくばらんに、和やかな雰囲気、何故活動が必要なのか？家族や社員に活動を理解してもらうにはどうすれば良いのかなどをお聞きでき、今後のJC活動にとっても参考になったのではないかと思います。誠にありがとうございました。

専務理事：佐 藤 真 光

毎年恒例の4JC合同例会ということで、今回は高島JCさんが担当ではありましたが、4年に1回は長井JCも持ち回りで担当する例会であります。メンバーの方には毎年参加していただき、しっかりとした設えが担当年度行えるよう今後とも心がけていただければと思うところです。

また、東北地区協議会2014年度会長の講演から、改めてJCとは何なのか？仕事も家庭も、そしてJCも自分の中でどうやって巧く熟していくかというヒントを感じ取っていただけたのではないのでしょうか？JCの事を人に伝える機会があれば、是非久米川会長が講じられていたこと自分の言葉にして、今後の拡大JCライブ活かしていただきたいと切に願います。

11月例会卒業式

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

卒業者の皆様は、これまで、よりよいまちづくりの実現や地域発展の為にJC活動を通して、御尽力されてきました。その活動で得た経験や知識はすばらしいものがごございます。現役メンバーにとっては、その経験や知識をきちんと今後のJC活動に継承し、活かしていかなければなりません。卒業者の皆様の、JC活動への功績を讃え、労をねぎらうとともに、その経験・知識を共有する場が必要であると考えました。

4 事業目的

卒業者よりJC活動を通して経験してきた事を拝聴し、現役メンバーの今後の糧とし、「明るい豊かな社会の実現」に向け、更なる意識向上を図る。

5 事業の検証方法とその手段

電話にて、卒業生・参加メンバー数名から感想、意見を頂戴し検証とします。

6 事業概要

卒業者のこれまでのJC活動の功績を讃え、感謝し、労をねぎらい卒業者の今後の更なる飛躍を祈念し、また、今まで経験してきたJC活動を現役メンバーに伝えて頂く機会にしました。

7 実施日時 2014年11月20日(木)

午後7時～7時45分

8 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 電子メール、SNS、電話

11 決算総額：¥32,520

12 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=12名

議決の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

13 参加員数

		【計画】	【実施】
内部	担当委員会	5名	5名
	その他メンバー	28名	18名
外部			
	合計	33名	23名

14 実施プログラム

19:00 例会セレモニー

19:10 卒業例会開始

1) 開会

2) 卒業者の紹介

椎名恭一君 風間正志君

3) 理事長より卒業者へ記念品の贈呈

4) 卒業者椎名恭一君より贈る言葉(約10分)

19:40 監事講評

19:45 例会終了 終了後、卒業生を祝う会を開催

15 人員配置・役割分担表

・受付 鈴木亜由美・飯沢喜治
・カメラ 齋藤憲幸
・PV担当 井上 真
・ナレーション 小関幸一
・司会 飯沢喜治

16 事業目的達成の検証

・近年にも増して盛り上がった卒業式で、大変楽しかったです。おそらく、卒業生の椎名さんにとっても、思い出に残る卒業式だったのではないかと思います。
・数々の演出は本当にすばらしかったです！喜治君・真さんの司会、現役のスピーチもよかったです。卒業生いじりもなかなか面白いですね。ぜひ、私の卒業式もこれぐらい盛り上がるといいな—と思いました。
・食事も良かったし、特にこれといった意見や不満などは一切ございません。
・して言うなら、風間さんが欠席なのが残念だったな—ぐらいです。
・風間さん欠席で残念。
・ならではのしつらえは楽しかった
・結婚式チックな設えよかったです。
・例会時、司会の手元のライトがあればよかったです。
・予算の使い方がよかったです。全身タイツもよかったです。
・素晴らしい。全て閉めてからの監事講評でもよかったですのでは。
・お疲れさまでした。今後につながった。
・流れがよかったです。理事長挨拶は3回良かった。タイツは楽しかった。
以上のことから、卒業者よりJC活動を通して経験してきた事を拝聴することができ、また、現役メンバーの今後の糧とし、「明るい豊かな社会の実現」に向け、更なる意識向上が図ることができ、事業目的は達成したと考えております。

17 実施上の問題点

【運営面】

・卒業者である風間正志君が参加できずに残念であった。卒業者に出ていただける方法を検討する。
・監事講評のタイミングをお知らせしておらず、全てのプログラムが終了してからでもよかったですのではないかと意見があった。

【予算面】 ・特になし

【その他】 ・司会の手元ライトがあればよかったです。

18 引継ぎ事項

事前に卒業者への卒業式出席の依頼。卒業者の予定や設えを早めに検討する。暗転する場合は、事前に司会の手元ライトが必要であった。理事長挨拶が3回あったので、次回検討いただきたい。

19 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

1 事業報告別添資料

20 各担当者所見

事務局長：小 関 幸 一

ご卒業おめでとうございます。残念ながら風間さんが欠席となりましたが、終始楽しく開催できたのではないかと感じております。ご協力頂きました事務局メンバー、専務、理事長、ご卒業者、椎名さん、風間さん、参加頂いたメンバーの皆様、誠にありがとうございます。青年会議所をご卒業され、また、新たな出会いや、事業に携わる機会があるかと思います。ご活躍されることを期待しております。現役メンバーにも、今までの経験を通じたお話なども頂き、今後の活動の力になったと思います。

専務理事：佐 藤 真 光

卒業される御二方、本当におめでとうございます。風間さんについては結果欠席ということで残念ではありましたが、残る現役のメンバーからの気持ちは十分届いたのではないかと感じております。出席いただきました椎名さんには、当日の無茶なお願いにもかかわらず全身タイツを着ていただきまして本当にありがとうございます。様々な設えの中でも最後に異色の設えができて、椎名さん本人、多くのメンバーにとっても思い出に残る卒業式が開催できたと感じております。

御二方の今後より一層のご活躍を祈念いたします。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
9月17日	齋藤繁喜宅	19:00～24:00	齋藤繁喜、佐藤真光、齋藤憲幸、平宗正、小関幸一	顔合わせ、役割分担
10月9日	J C ルーム	19:00～22:30	佐藤真光、齋藤憲幸、平宗正、鈴木亜由美、小関幸一	役割分担、新春賀詞交換会、基本計画書、収支予算
10月25日	サンノー企画印刷	19:00～22:30	齋藤繁喜、佐藤真光、齋藤憲幸、平宗正、小関幸一	新春賀詞交換会、基本計画書、年間事業予算計画書、アジェンダー作成方法、収支予算
11月11日	サンノー企画印刷	19:30～20:30	齋藤繁喜、佐藤真光、齋藤憲幸、平宗正、井上真、小関幸一	新春賀詞交換会、年間事業予算計画書、収支予算
4月11日	居酒屋いざ	19:00～	齋藤繁喜、佐藤真光、齋藤憲幸、井上真、鈴木亜由美、小関幸一、飯沢喜治	黒獅子まつり売店、ASPACブース出展、広報誌あゆみ
7月8日	J C ルーム	20:00～23:00	佐藤真光、齋藤憲幸、飯沢喜治、小関幸一	アワード申請、水まつり売店、8月通常総会
8月29日	居酒屋いざ	12:00～14:30	佐藤真光、齋藤憲幸、飯沢喜治、小関幸一	事業報告書、東北青年フォーラム、全国大会等
11月5日	タスパータホテル	14:00～17:00	佐藤真光、齋藤憲幸、小関幸一	卒業例会、臨時総会、次年度事業発表例会、2014年度報告書作成について
11月12日	P a s s i o n	12:00～14:00	佐藤真光、齋藤憲幸、井上真、小関幸一	卒業例会、臨時総会、次年度事業発表例会、2014年度報告書作成について
12月10日	頓 珍 館	12:00～14:00	佐藤真光、齋藤憲幸、小関幸一	次年度事業発表例会、会員褒章、2014年度報告書作成について

総務局 事業報告書

- 専務理事 佐藤 真光
- 総務局長 齋藤 憲幸

委員長所感

本年度、総務局長を務めさせていただき感じたことは、佐藤専務や小関事務局長、事務局補佐の皆様のご協力があった、何とか一年間務めることが出来たという感謝の想いです。

総務局はL O Mの活動の下支えを担い、情報発信を行ってまいりました。情報発信については、より良い情報の発信にはツールを時代に合わせ検討して行く必要があると思います。担当した例会では、私自身貴重な経験をさせていただき、メンバーの皆様からも励みとなる言葉をいただくことが出来ました。本年度総務局長として得た経験を次年度以降もより良い活動が出来るよう活かして行きたいと思っております。

最後にメンバーの皆様、一年間ご協力をいただき本当にありがとうございました。

年間事業報告

次年度理事長候補者所信発表例会

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
2015年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要であり、柱となる理事長所信にある内容を全メンバーで共有する機会が必要である。
また、当会の事業には花を扱う事業が複数あり、「花育」という花や植物を通じた教育について理解を深めることも重要かと思われる。今後の活動における一助となると考え、次年度理事長候補者所信発表と合わせて人材育成を考慮したセミナーを実施しました。
- 事業目的
次年度の方向性を理解し、地域に有益な活動の実現を図る。
- 事業の検証方法とその手段
メンバーの理解度をアンケートにて調査し、検証しました。
- 事業概要
次年度理事長候補者に所信を発表してもらおう。2015年度の長井青年会議所の方向性をL O Mメンバーが深く理解し、地域の発展のために自分たちに何が出来るのかを一人ひとり考えるきっかけとしてもらおう。そして、次年度の活動につなげていく。2部としてセミナーを開催。「花育」という花を通して子どもたちに思いやりや自然を大切に育てる活動について実際にフラワーアレンジメントを体験して理解を深めていただきました。
- 実施日時 9月18日(木) 19:00～
選定理由 第3週木曜日が例会日のため
- 実施場所・会場
山形県白鷹文化交流センターあゆ～む 文化伝承室
選定理由
当会議所は広域L O Mであるということ、来年は50周年という節目の年でもあり、益々活動の輪を広げて行くという思いを持っていただくために、長井市の次にメンバーの多い白鷹町で開催でき、会場の規模から山形県白鷹文化交流センターあゆ～むを選定。
- 事業対象者 長井青年会議所メンバー
- 参加者募集方法 同報F A X及び電子メール

11 決算総額：¥5,000

12 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=12名

決議の成立する理事数=12名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

13 参加員数

内部	担当委員会	4名
	その他メンバー	16名
外部		
	合計	20名

14 実施プログラム

18:30 受付開始

受付 事務局補佐：飯澤喜治君

19:00 例会セレモニー

進行 専務理事：佐藤真光君

国家斉唱並びにJ Cソング斉唱

J C I クリッド朗読ひとつくり委員会：小関 弾君

J C I ミッション並びにJ C I ヴィジョン唱和

議長：遠藤浩樹君

J C 宣言文朗読及び綱領唱和 副議長：樋口和哉

スローガンアファメーション

総務局長：齋藤憲幸

東北J C 宣言文唱和 副議長：梅津壮一郎

理事長挨拶 理事長：齋藤繁喜君

19:15 開会、趣旨説明

司会・進行・趣旨説明 総務局長：齋藤憲幸

19:20 次年度理事長候補者所信発表

発表 次年度理事長候補者：板垣洋一君

20:00 花育セミナー講師 総務局長：齋藤憲幸

20:45 講評直前理事長：鈴木喜典君

20:50 閉会の挨拶副理事長：椎名恭一君

20:51 例会終了

15 人員配置・役割分担表

当日役割

所信発表：次年度理事長候補者 板垣洋一君

花育セミナー講師：総務局長 齋藤憲幸

司会：総務局長 齋藤憲幸

記録：事務局 小関幸一君

プロジェクター：齋藤憲幸

講評：直前理事長 鈴木喜典君

受付：事務局補佐 飯澤喜治君

16 引用著作物の有無

全国花育推進活動推進協議会ホームページ

17 事業目的達成の検証

回収アンケート用紙 13人分 65%

Q1 本日の次年度理事長候補者の所信をしっかりと理解し、次年度においてやるべき事を明確に想像できましたか？

しっかりと理解出来た 7人

なんとなく理解できた 5人

理解できなかった 0人

無回答 1人

しっかりと理解出来た 54%

なんとなく理解できた 38%

Q2 次年度理事長候補者の所信を拝聴し、あなたが想いを共感した部分や、疑問点・もっと詳しく聞きたいと思ったことをお書き下さい。

・様々な方々との交流や、地域活動をできるところがいいところだと感じた

・色々な事に対して行動していく部分は共感できた

- ・心の大切さの部分で再認識、共感できました
 - ・「流汗悟道」板垣次年度理事長予定者らしさのある基本理念であると思います
 - ・率先して行動し、夢を実現できるように共にがんばりたいと強く思います
 - ・流汗悟道の通りリーダーが自ら汗をかき行動するのは必要だと思いました
 - ・仲間を増やすこと 生きる力を育むこと 広い視野でまちづくりを実現することこれまで紡いできた活動を更に情熱を燃やして展開していくこと
 - ・真実を得るには自ら行動しなければならない事
 - ・自ら行動。数多くの事業で各々が担いを持つ中一番大事な事と思います
 - ・実際に経験をしなければ結果を得られないという点に深く共感しました
 - ・流汗悟道、とても共感できる言葉でした
 - ・人と人、地域とのつながりを大切にしたいものと感じました
- 疑問点・もっと詳しく聞きたいこと
- ・50周年の事業の具体性が難しい
 - ・自分が次年度担当する委員会についてももっと詳しく聞きたい
 - ・長井西置賜地域のことを認識するところがなかった エリアに関するところをみる必要がある
 - え〜が多すぎる 聞く人を次年度はまったく見ていない、下の紙ばかり見ている×
 - 下を向くと声が伝わらない
- Q3 あなた自身のJ.C運動・活動における2015年度の抱負をお書き下さい。また、希望することなどございましたらお書き下さい。
- ・積極的に活動参加していきたい
 - ・様々な事業に対し参加していく
 - ・極力参加していこうと思います
 - ・創立50周年を迎える2015年度、周年記念事業、式典をはじめ長井・西置賜を中心に長井J.Cの活動を大きく発信する一年にしたいと思えます。会員拡大頑張りましょう
 - ・来年度は重要な役職をいただきました、所信をしっかり理解して事業の構築などをして参ります
 - ・抱負 楽しく実践、確実にこなす、そして挑戦することを忘れない希望すること せっかくやるなら楽しくJ.C活動をしていきましょう
 - ・出向先のブロックで全力をつくします
 - ・長井の事業を数多くの市民参加につなげたい
 - ・メンバー、外部協力者の参加を今以上に増やしたい 運営に携わる人以外も興味がある事業を展開したい
 - ・自分が楽しめる、笑顔ある活動をしていきたい
 - ・一生懸命汗を流しががんばります
 - ・厳しく行くよ 出向ががんばります LOMでは監事
- Q4 来年、長井青年会議所は50周年という節目の年を迎えます。さらに魅力ある団体になるためにあなたが感じる長井青年会議所の良いところ、自慢出来るところをお聞かせください。
- ・地域のために活動でき、様々な方々と交流できることが良いところだと感じる
 - ・これから探します
 - ・団結力
 - ・素敵な仲間が多く集うLOMです
 - ・ブロック大会長井大会を成功させ、メンバーの皆さんの自信につながったと思います
 - ・50周年という大きな節目もこの仲間なら素晴らしい一年に出来るかと確信しています
 - ・何だかんだで底力
 - ・最後に勝つところ
 - ・奉仕の心
 - ・人!
 - ・いっぱい フワフワしたところがない所、目的、結果が出ている 能力が外部でも通用
- Q5 本日の9月例会、次年度理事長候補者所信発表例会、及び第2部の花育体験の感想やお気付きの点などございましたらご意見をお聞かせ下さい。
- ・一緒になって頑張っていきたいです
 - ・貴重な体験ができて良かった
 - ・花育セミナーとても素晴らしい内容でしたし、初めての体験でしたのでとても良かったです。
 - ・ありがとうございます
 - ・板垣次年度らしい所信でわかりやすく理解できました、私も汗をかいてがんばります。
 - ・花とふれあう機会があり心が和みました。総務局長おつかれさ

- までした
- ・総務局長 頑張った! お疲れ様!
- ・段取りお疲れ様でした
- ・花育とても楽しかったです。またやりたい
- ・花育セミナー楽しかったです。講師では改めてマナーなど教えていただき大変良かったです。
- ・花育やってみないと分からない楽しさがありました
- ・花育セミナー楽しめました
- ・所信発表例会で質問、意見が一人もなかったのが残念
- ・花育はとても楽しかったです。相手の事を考えながら(どういう花、雰囲気が好きか)
- ・何かつくるのは難しいと改めて感じた
- ・人に伝わらない、読んでいただけ、花言葉って意味あるの?おもしろいな

アンケート結果より54%の方が次年度理事長候補者の所信をしっかり理解したと回答。一方でなんとなく理解出来たと回答した方が38%いたということは、伝える工夫が足りなかったといえる。共感した所があったと85%の方が回答。以上のことから工夫が足りなかったとはいへ次年度の方向性を理解していただけたと考えます。

Q4については、メンバー同士の絆についての回答が多かったと感じる。

地域に有益な活動の実現については、花育について貴重な経験が出来た、楽しめた等の回答があり、花育という花を通して子ども達に気付きを得てもらうという活動に理解を深めていただいたことは、よりよい活動をする一助となったと考える。以上のことから目的を達成したといえる。

18 実施上の問題点

〈運営面〉

司会・進行について台本を作成しなかったため、進行に不備が出てしまった。

参加率が65%とまいちであった。

アンケート回収の呼び掛け不足だったため、アンケート回収率が61%と100%回収出来なかった。

〈予算面〉

花育セミナー材料代を当日負担としてメンバーから500円いただいた。

〈その他〉 特になし

19 引継ぎ事項

- ・講師もする場合、司会・進行の担当は別の方にすべき。司会・進行の台本を作成すべき
- ・メンバーへの連絡を密に行うべき
- ・アンケートの回収はその場でしっかりと声掛けて回収する
- ・花育について初めての体験で楽しかった等の感想が多く、メンバーの知識・経験を深めることが出来たことが楽しさに繋がったと考えられる。今まで経験したことのない体験が出来るセミナーを考えて行くべき

20 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

- 1 次年度理事長候補者所信発表例会事業報告書(別添)

21 各担当者所見

総務局長：齋藤 憲 幸

次年度の長井青年会議所がスタートするこの次年度理事長所信発表例会が白鷹町で開催出来たこと。次年度理事長候補者の所信を参加されたメンバーの多くの方に理解・共感していただくことが出来、花育セミナーでは花育について興味を持っていただけたことは担当をさせていただいたものとして、感謝の気持ちで一杯であります。ありがとうございました。

専務：佐藤 真 光

この例会は毎年行っている事業ではありますが、改めて次年度モードに入る前段階でやることで、次年度理事長候補者の所信をもとに、自分には何が出来るのかをしっかりと考えることが出来る機会であると認識しております。引き続き、来年度もJ.C活動を楽しく、そして汗水かきながらしっかりと運動を展開できることを祈念いたします。

また、2部での花育セミナーは齋藤総務局長が得意とするところで開催させていただきました。メンバーにとっても新鮮なセミナー内容でしたし、齋藤総務局長本人も講師を務めることで貴重な機会を経験したものと考えております。今後も、こういった楽しい雰囲気で出来るセミナー開催を検討いただければと思います。

そして、内部の例会事業を長井市以外のいつもとは少し違った

環境で行えたことは、長井 J C にとってちょっとしたエッセンスになったのかと感じております。今後も広域 L O M として様々な会場で事業を行うことも面白いかと考えます。是非、このような機会を増やして頂ければありがたいです。まずは、出席頂きましたメンバーの方々、誠にありがとうございました。

次年度事業発表例会

- 1 事業の区分：他 1. 内部例会及び会員交流事業
 - 2 定款上の根拠
第 2 章第 5 条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
 - 3 事業実施に至る背景
2015 年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の各種事業の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要であり、各委員会に発表する機会を設け、改めて確固たる自信と責任を持ってもらう。また次年度の各種事業の内容を全メンバーで知る機会が必要であるため。
 - 4 事業目的
次年度の J C 活動の重要性の認識と活動意欲を向上させる。
 - 5 事業の検証方法とその手段
メンバーの理解度を発表時のアンケートにて調査し、検討しました。
 - 6 事業概要
各委員会の次年度事業計画を発表していただく。
 - 7 実施日時 実施日時：12月18日（木） 19時
選定理由 第3木曜日が例会日であるため
 - 8 実施場所・会場：タスパークホテル アゼリア
選定理由 例会場のため
 - 9 事業対象者 長井青年会議所メンバー
 - 10 参加者募集方法 電子メール
 - 11 決議の条件
議決権のある理事＝理事 13名（総理事）－特別の利害関係を有する理事 0名＝13名
議決の成立する理事数＝13名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権＝出席理事数×1/2を越える員数
 - 12 参加員数
- | | | |
|----|---------|-----|
| 内部 | 担当委員会 | 4名 |
| | その他メンバー | 17名 |
| 外部 | | |
| | 合計 | 21名 |
- 13 実施プログラム
 - 19：00 例会セレモニー
 - 19：02 国家斉唱
 - 19：04 J C ソング斉唱
 - 19：06 J C I クリード唱和
未来創造会議 副議長：梅津壮一郎君
 - 19：08 J C I ミッション並びに J C I ヴィジョン唱和
総務局長：齋藤憲幸君
 - 19：10 J C 宣言並びに綱領唱和 玉橋恵子君
 - 19：11 東北 J C 宣言文唱和 佐藤和之君
 - 19：12 理事長挨拶 理事長：齋藤繁喜君
 - 19：18 開会宣言 副理事長：井上典嗣君
 - 19：20 趣旨説明 総務局長：齋藤憲幸
 - 19：23 事業発表（まちづくり委員会）
委員長予定者：齋藤圭央君
 - 19：28 事業発表（ゆめあかり委員会）
委員長予定者：玉橋恵子君
 - 19：34 事業発表（創立50周年実行委員会）

- 委員長予定者：齋藤繁喜君
- 19：40 事業発表（未来創造会議）
議長予定者：齋藤繁喜君
- 19：46 事業発表（事務局）
専務理事予定者：樋口和哉君
- 19：50 事業発表（ひとづくり委員会）
委員長予定者：小笠原信吾君
- 19：55 質疑応答
- 20：00 会員褒賞事務局長：小関幸一君
- 20：20 監事講評監事：板垣洋一君
アンケート回収

- 14 人員配置・役割分担表
- 司会・進行 総務局長：齋藤憲幸
- 趣旨説明 総務局長：齋藤憲幸
- 事業発表者 次年度ひとづくり委員長予定者：小笠原信吾君
- 事業発表者 次年度副理事長予定者：梅津壮一郎君
- 事業発表者 次年度ゆめあかり委員長予定者：玉橋恵子君
- 事業発表者 次年度創立50周年実行委員会
委員長予定者：齋藤繁喜君
- 事業発表者 次年度未来創造会議議長予定者：齋藤繁喜君
- 事業発表者 次年度事務局局長予定者：齋藤憲幸
- 監事講評 監事：板垣洋一君
- 記録係 事務局長：小関幸一君
- 受付 事務局補佐：飯澤喜治君
- プロジェクター操作：山口康幸君

- 15 事業目的達成の検証
次年度事業発表例会アンケート結果. docx
アンケート結果から100%の方が2015年度どんな事業をするか「よく理解できた」と回答。94%の方が事業・運動に対して活動意欲が「とても向上した」と回答。各委員会・会議体・局に対して、アドバイス、決意表明、期待のコメントが多かった。そのことから参加したメンバー全員がしっかりと理解しており、活動意欲が向上したことから事業目的は達成出来たと思われる。

- 16 実施上の問題点
- 【運営面】
- 〈良い点〉
- ・今回は例会単独の開催であったため。しっかりと発表の時間と確保出来た。
- 〈悪い点〉
- ・今回はクリスマスパーティーと同日開催ではなかったこと。年末の忙しい時期に短い間隔で開催のためか参加率がいまひとつであった。
- 【予算面】 特になし 【その他】 特になし

- 17 引継ぎ事項
- ・参加しやすい日時の選定をする。
- ・出席率80%を目標に、メンバーへの声掛けをしっかりと行う。

- 18 審議対象資料一覧
- ◆電子資料 資料名内容 1 事業報告別添資料

- 19 各担当者所見
- 委員長：齋藤 憲 幸
2014年度最後の例会を担当させていただきました。また、発表していただきました各委員長・議長・局長の皆様ご協力ありがとうございました。2015年度委員長・議長・局長はこの例会がメンバーに伝える・知ってもらう一番最初の機会となりました。この経験が2015年度の良好な結果に繋がると思います。是非アンケートの激励やアドバイスを参考に頑張っていたきたいと思います。私もこの経験を大切に2015年度頑張ります。

- 専務理事：佐藤 真 光
次年度計画発表に関しては重要な機会でもあり、発表者にとってもいい経験となります。ただ、その中で前提となるのが聞く側です。参加率という点で言えば、いまいちのところであり、もっと多くのメンバーが次年度に向けてしっかりと聞いてもらいたい例会でした。最近では例会の出席率もなかなか芳しくなく状況です。今一度メンバーの皆さんには時間厳守と出席義務の意識を持っていただきたいと切に願います。

ホームページ運営

- 1 事業の区分：他2. 広報事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
ホームページは情報の発信において、非常に有効な手段である。本年度も、長井青年会議所の活動を多くの方に知って頂くためホームページを活用する。
- 4 事業目的
長井青年会議所の活動を幅広く発信し、事業への協力と連携を深める。ホームページの更なる活用として、記録の管理、メンバーの名簿を管理し適正な活用を図りました。円滑な情報の発信のために必要な技能の習得を図りました。
- 5 事業の検証方法とその手段
アクセス数、パブリックコメントをもって検証としました。
- 6 事業概要
ホームページ閲覧者への正確な情報の発信を、各委員会と連携しホームページを運営する。
2013年度のホームページをベースとし改良を加え、以下の修正を行う。
 - ①オンラインストレージを追加し、記録の管理をしホームページの更新にも活用する。
 - ②他団体とのリンクをバナーでつける。
 - ③会員名簿をWEB管理し、メンバー専用サイト（ID、パスワード付）で閲覧できるようにする。
 - ④facebookの活用・ホームページ更新方法・個人情報の取り扱い・顔写真等の配慮に関するマニュアルについて理事と各委員会の担当者を対象に講習会を行う。
 - ⑤不適正な個人情報の使用が無いよう管理をする。
 - ⑥トップページに山形ブロック大会長井大会のPVを流す。
 - ⑦事業紹介を動画で流す。

7 実施日時 通年
選定理由 常に新しい情報を発信して行くため。

8 事業対象者 メンバー全員

9 参加者募集方法 メール配信

10 決議の条件
議決権のある理事=理事13名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=13名
決議の成立する理事数=13名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

11 参加員数

内部	担当委員会	6名
	その他メンバー	27名
外部		
合計		33名

12 人員配置・役割分担表

委員会担当者	
ひとつくり委員会	那須丈雄君
まちづくり委員会	玉橋恵子君
未来創造会議	遠藤浩樹君
事務局・総務局	齋藤憲幸

13 事業目的達成の検証

ホームページアクセス解析	
年間アクセス状況 (1/1~12/31)	
・年間訪問者数	2011年：3,000 2012年：3,994 2013年：3,726
・ページビュー数	2011年：8,700 2012年：17,194

2013年：12,841

・2014年度年間訪問者数 3,540
・2014年度ページビュー数 14,339
昨年度より年間訪問者数はおよそ200人減少したがページビュー数は10%増えた。
ただしアクセス解析結果から直帰率が60%ということからトップページから他の記事を見てもらうにはもっと工夫が必要だった。

今年にはfacebookへ当青年会議所のページを作成し積極的に活用した結果367件のいいね!をいただいた。リアルタイムの情報発信のツールとして大変有効であると感じる。2つを上手く活用してリアルタイムな情報をfacebookから発信してホームページの詳細なページへリンクさせると良いと思われる。

14 実施上の問題点

【運営面】

<良い点> facebookについてはしっかりと活用が出来多くの方への情報発信が出来た

<悪い点> facebookとの連携がとれていなかった
ホームページについてももっと情報量を多くすべきだった

【予算面】 特になし 【その他】 特になし

15 引継ぎ事項

- ・facebookとホームページの連携をしっかりとしてください
- ・各委員会との連携を図り迅速な情報のUPに努めてください

16 各担当者所見

総務局長：齋藤 憲 幸

ホームページの運営という一年を通しての広報を担当させていただきありがとうございました。貴重な経験と知識をいただくことが出来ました。ホームページ運営について痛感したことは、自分一人ではより良い情報を発信することが出来ないということでした。今年は各委員会との連携ができず、記事のUPが遅れたり、無かったりしてしまい情報の充実が出来なかった。もっと緊密に連携するべきだったと反省しております。この経験をしっかりと次年度へと繋げて行きたいと思います。

専務理事：佐藤 真 光

ホームページ運営に関しては毎年課題も多く、意見も皆様から頂くわけですが、なかなかそれに対応できる組織的な運営が実質できていないのが現状であり、2014年度もうまく運営できたかと考えると、いまいち巧く活用できていなかったと言わざるを得ないような結果となりました。メンバー専用のページでの会員名簿等の発信も試みましたが、実現できず。最終的には次年度体制の中で再度確立いただきたく切にお願いしたいところです。

また、情報発信の上では各個人に任せるのではなく、組織構築した上で責任を以ってホームページ運営をすることも一つの課題として、今後展開していくことが肝心かと思えます。

17 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容 1 事業報告別添資料

広報誌「あゆみ」

1 事業の区分：他2. 広報事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

今年度は我々長井青年会議所の主管する山形ブロック大会長井大会が開催されるため、ブロック大会実行委員会の総務・式典部会と連携を図り山形ブロック大会長井大会を多くの方に知っていただくなくてはなりません。紙媒体の広報誌は、限られた地域内では目にする機会の多い非常に有効な手段であるため。

4 事業目的

我々、長井青年会議所の活動を広く地域の方に発信し、JC活動の魅力を知っていただく。更には長井青年会議所の主管するブロック大会の開催を告知し、JC活動を間近で見感じていただく機会とする。

5 事業の検証方法とその手段

ブロック大会での実施アンケートに、「この事業・大会を何で知りましたか?」という設問に、その答えの選択肢に広報誌あゆみを追加し、広報誌あゆみを見て参加していただいた方がどのくらいいたかをもって検証としました。また、メンバー以外の方の意見を発行後聞き取りを行いました。(友人や家族など)

6 事業概要

広報誌「あゆみ」を発行し、長井青年会議所活動への地域の皆さんの理解を深め、共感を得ることができるような内容を目指しました。JC運動の目的や事業内容、更には山形ブロック大会会長井大会が開催される事を分りやすく、見やすく紙面を作成し、情報発信を行いました。

7 実施日時 6月29日(土)

選定理由 山形ブロック大会会長井大会が7月5日に開催されるため、1週間前の6月29日に折込みました。

8 実施場所・会場: 西置賜管内 新聞折り込み

選定理由 当青年会議所の担当するエリアに配布するため。

9 事業対象者 西置賜管内にお住まいの方

10 参加者募集方法 西置賜管内にお住まいの方

1.2 決議の条件

議決権のある理事=理事12名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=12名

決議の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1.3 参加員数

内部	担当委員会	6名
	その他メンバー	27名
外部		
	合計	33名

1.4 実施プログラム

2月24日	レイアウト案作成
3月27日	校正依頼
4月24日	校正依頼
4月23日	原稿依頼(理事長、まちづくり委員会、ひとづくり委員会、未来創造会議)
5月18日	原稿提出期限(理事長、まちづくり委員会、ひとづくり委員会、未来創造会議)
5月23日	校正依頼
5月29日	校正依頼
6月15日	校正依頼
6月22日	校正依頼
6月26日	あゆみ最終決定
6月29日	あゆみ発行

1.5 人員配置・役割分担表

原稿依頼

みんなで灯そう夢灯り	まちづくり委員会
長井駅周辺整備事業	まちづくり委員会
OMOIYARIプロジェクト	まちづくり委員会
防災セミナー	まちづくり委員会
ながい寺子屋 食の楽校	ひとづくり委員会
JC杯中学野球大会	ひとづくり委員会

入会説明会	未来創造会議
JCAアカデミー	未来創造会議
個別依頼	
理事長挨拶	齋藤理事長

1.6 事業目的達成の検証

アンケート結果 新聞折込枚数
ブロック大会のアンケート結果からこの大会をチラシを見て知った方が23%と様々なメディアの中でトップだった。ブロック大会の告知についても新聞折込というのは効果的であったと考えられる。

聞き取り結果

・夢灯り楽しかった ・JC杯に子どもが出場した ・花植え楽しかった ・今年はこんなことをするのか
各事業に対する肯定的な話を多く聞いた。
以上のことから我々の活動の魅力とブロック大会の告知について地域の皆様に伝えられたと考えられる。

1.7 実施上の問題点

【運営面】

<良い点>
アンケート結果から、他のメディアより目にした方が多かった。新聞折込は効果的である。

<悪い点>

検証について客観的に出来る方法がないか検討する必要がある。

【予算面】

今年度においては、ブロック大会の広報を兼ねているため、ブロック大会運営費から予算が出る形となった。

【その他】 特になし

1.8 引継ぎ事項

- ・新聞折込は継続すべき
- ・検証方法について、客観的に検証出来る方法を検討するべき

1.9 審議対象資料一覧

◆電子資料 資料名内容

- 1 広報誌「あゆみ」事業報告書(別添)

2.0 各担当者所見

総務局長: 齋藤 憲 幸

まずは、広報誌「あゆみ」発行にあたり、多くの皆様から写真や原稿寄稿のご協力をいただきありがとうございます。今年の広報誌「あゆみ」は、例年と違いブロック大会の広報も兼ねていたため、片面のみでの発行となり皆様に知っていただきたいことを厳選して掲載することになりましたが、情報の質を落とさず発行できたと感じました。今後も様々な形へ変化することも考えられるためしっかりと次年度へ引継ぎをしたいと思っております。

専務理事: 佐藤 真 光

2014年度の「あゆみ」に関しては例年とは少し違う形で発行することとなり、予算のスリム化や公益比率の兼ね合いを検討する中で、良い前例が出来たのではないかと考えております。内容に関しても、ブロック大会広報、各委員会の事業報告や事業広報も兼ねての広報誌となり機能的な役割を果たしたと思っております。また、毎年懸念にあがるこの「あゆみ」に関する検証方法は、今年度に関してはブロック大会のアンケートによる事業周知媒体の結果で検証いたしました。この方法が確実的かどうか、今後更に検討をしなければならないと思っておりますが、1つの手法として参考にして頂ければと思います。

まずは、寄稿していただきましたメンバーの方々大変ありがとうございました。

【出 向 報 告】

山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会
副委員長 梅 津 壮一郎

所 感

今年度、ブロック大会運営委員会に副委員長として出向させて頂きました。ブロック大会主管L O Mから出向する副委員長という事で、主催のブロック協議会と、主管の長井J Cとの調整役という重要な役職でした。私の力不足で連絡調整等がうまくいかず、関係団体等にご迷惑お掛けした部分もございましたが、星川委員長をはじめとする委員会メンバーと協力し合い、素晴らしいブロック大会を構築でき、県民の皆様には私達の運動を広く強く発信出来たのではないかと思います。

また、担当の式典の部では厳粛かつ長井西置賜の特色を活かした式典になったのではないかと思います。オープニングアトラクションやP V等で苦労した部分もありましたが、委員会が納得できる内容になったのではないかと思います。当日はアクシデントもなく、滞りなく式典を行うことが出来ました。

今回、初めてのスタッフ出向という事で不安な部分が大きかったのですが、一緒に出向して頂いた5名の長井J Cメンバーに支えて頂き、何とか役目を全うできました。今回得た経験を、次年度以降のL O Mの活動に活かして行きたいと思っております。この度は、このような貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月20日	スタッフ会議	村山J Cルーム
2月 1日	第1回委員会	高島町中央公民館
2月12日	小委員会	南陽J Cルーム
2月17日	第4エリアP R	高島町
2月19日	第1エリアP R	鶴岡市
2月26日	第2エリアP R	尾花沢市
3月 1日	第2回委員会	寒河江市
3月 4日	第3エリアP R	上山市
3月13日	スタッフ会議	村山J Cルーム
3月26日	第3回委員会	新庄J Cルーム
4月 2日	小委員会	米沢J Cルーム
4月 9日	スタッフ会議	村山J Cルーム
4月19日	スタッフ会議	長井J Cルーム
4月28日	スタッフ会議	長井J Cルーム
5月 7日	第4回委員会	長井市民文化会館
6月20日	第5回委員会	長井市民文化会館
6月27日	スタッフ会議	村山J Cルーム
7月 2日	第6回委員会	長井市市民文化会館 式典リハーサル
7月 4日	リハーサル・準備	つつじ公園 長井市市民文化会館
7月 5日	大会当日	つつじ公園 長井市市民文化会館
8月 1日	第7回委員会	山形市中央公民館
9月13日	スタッフ会議	村山J Cルーム

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
会計幹事 井 上 典 嗣

所 感

今年度、山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会に会計幹事として出向させて頂きました。ブロック協議会への出向は数多く経験させて頂いておりますが、ブロック大会運営委員会への出向は初めてであり、会計幹事という担いもいただき大変有意義な一年間を過ごすことができました。ブロック大会は最大のJ C運動発信の場であり、メンバー同士の深い友情と絆の構築、そして市民の皆様と共に作る大会を、長井市でこのような立場で経験でき非常に嬉しく思っております。主催の運営側にに関わり、最高のブロック大会を目指し舞台裏の細部にわたって議論を重ねたことで私自身も成長させて頂いたと感じているところでございます。また、主管青年会議所としての立場で部会長という役職もさせて頂きましたので、主催側と主管側両方からの視点でブロック大会に携わることができ、忙しくも贅沢な時間を過ごさせて頂きました。

今回の出向では様々な活動を通して、多くのことを学ぶことができ、またメンバーとの友情を育むことができた充実した一年間でありました。このような出向という貴重な機会を与えてくださいました齋藤理事長をはじめ、長井青年会議所メンバーに心から感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2013年		
12月 9日	スタッフミーティング	長井市 長井J Cルーム
12月28日	委員会	村山市 村山J Cルーム
2014年		
2月 1日	委員会	高島町
3月13日	スタッフミーティング	長井市 長井J Cルーム
4月 9日	小委員会	米沢市 米沢J Cルーム
4月19日	スタッフミーティング	長井市 長井J Cルーム
4月26日	会員会議所会議オブザーブ	八戸市
5月 7日	委員会	長井市 市民文化会館
5月20日	スタッフミーティング	村山市 村山J Cルーム
5月23日	つつじ公園視察、決起会	長井市 タスパークホテル
6月20日	委員会	長井市 市民文化会館
7月 2日	委員会	長井市 市民文化会館
7月 4日	リハーサル、準備作業	長井市 市民文化会館
7月 5日	ブロック大会当日	長井市
7月16日	会計監査	高島町 高島J Cルーム
9月27日	員会議所会議オブザーブ	上山市 月岡ホテル

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
委員 遠藤浩樹

所 感

今年度も、昨年度に引き続きブロック大会運営委員会に出向させて頂きました。昨年の寒河江大会で学んだことや資料など有効に使えたと思います。副委員長の梅津壮一郎君のもと、式典担当の小委員会として式典の流れの作成、関係する諸団体へ案内、とりまとめなどの式典の準備です。私としては昨年の経験も生かせたと思います。当日を振り返るとアクシデントもなく無事、成功に終わったと思います。運営委員会メンバーの力があって当日の成功があったと思います。一年間お疲れ様でした。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月 1日 16:00	第1回委員会	高島町中央公民館
2月12日 19:30	小委員会	南陽青年会議所J Cルーム
2月17日		第4エリアブロック会長公式訪問時P R
2月26日		第3エリアブロック会長公式訪問時P R
3月 4日		第2エリアブロック会長公式訪問時P R
3月26日 19:30	第2回委員会	新庄青年会議所J Cルーム
4月 2日 19:30	小委員会	米沢青年会議所J Cルーム
4月19日 19:30	第3回委員会	長井青年会議所J Cルーム
4月28日 19:30	スタッフ会議	長井青年会議所J Cルーム
6月20日 19:00	第3回委員会	長井市市民文化会館
7月 2日 19:00	第4回委員会	長井市市民文化会館 式典リハーサル
7月 4日 9:00	準備	つつじ公園 長井市市民文化会館
7月 5日 6:00	大会当日	つつじ公園 長井市市民文化会館

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
委員 佐藤和之

所 感

出向先では、様々な地域の方との交流を通し、他市町での政策等について色々とう事ができました。J C活動を通して、本業にも活かせるような交流ができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

委員会では、様々な意見が出る一方で、開催地である長井市を盛り上げる設え、意見を取り入れる体制が少し希薄だったと感じました。正直に申し上げさせていただくと、平日の19時開催の委員会に遠隔地に出向くことは大変難しい。少しでも開催地での委員会開催を多くし、現地にて現地踏査も兼ねた委員会開催があれば、開催地の委員だけでなく、開催地J Cメンバーの意見を取り入れる体制が強化されたのではと考えます。

当日は大変な賑わいがあり、長井市内の人に多く顔を出していただいたのかなと思う一方、市外からの参加者はど

うだったのか。市外から関係者以外にも多く参加していただけるような設えを今後検討していけば、より山形県内のJ C活動が各市町村にも認められ、県内の循環を促すよい大会になると考えます。

最後になります。出向させていただいたのに係らず、仕事の都合を付けることができず数少ない参加しかできなかったことをお詫び申し上げ、所感とさせていただきます。

出向先活動開催日	内 容	場 所
3月 1日 (土)	委員会	寒河江市
7月 5日 (土)	ブロック大会	長井市

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
委員 玉橋 恵子

所 感

今年度、山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。

今年度の大会は15年ぶりに長井が開催地であり、県内のメンバーや市民の方々に地域の魅力やJ C活動が発信できた素晴らしい大会だったと感じます。私自身は大会当日に式典の司会という大役を務めさせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。初めての出向でしたが、小さな組織の中でひとつの事業に対し真剣に協議し、成功に向けて動いていくのはブロックもLOMも同じだと感じました。

この出向での活動を通して、県内各地のメンバーの方々とのお会いがあり、親交を深めることができました。この出会いを大切に、今後のJ C活動へ繋げていきたいと思えます。最後に、1年間お世話になりました星川委員長をはじめとする運営委員会の皆様、このような機会を与えてくださった齋藤理事長をはじめ長井青年会議所の皆様に感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
12月28日	委員予定者会	村山市 J Cルーム
3月 1日	第2回委員会	寒河江市 そば焼肉ふくろう
5月 7日	第4回委員会	長井市 市民文化会館
6月20日	第6回委員会	長井市 市民文化会館
6月27日	式典部会	長井市 J Cルーム
7月 2日	合同委員会	長井市 市民文化会館
7月 4日	ブロック大会準備	長井市市民文化会館
7月 5日	ブロック大会当日	長井市 市民文化会館

総務・J C運動発信委員会
風間 正志

所 感

2014年度は山形ブロック協議会の総務・J C運動発信委員会委員として一年間出向させて頂きました。担当である第4エリア以外での委員会、会員会議所会議等への出席はなかなか出来ませんでしたが、総務委員として議事録の作成、会員会議所会議の設営、運営のお手伝い等、縁の下での力持ちに徹した役割をさせて頂きました。今年度の山形ブロック協議会では総務委員長、運営専務また副委員長の皆様が事業の立案、開催において大変ご苦勞されました。一委員として十分な力添えが出来なかった事は、申し訳ない思いと不甲斐なさも感じておりますが、なんとか2014年度すべての活動を終える事が出来、ふりかえってみればこの一年間はあっという間に過ぎ去っていったなと感じております。

私は今年度でJ Cを卒業となりますが、この出向の経験を今後の自社の仕事、地元地域の活動に活かして行ける様、頑張っ参りたいと思えます。

このたびは出向という貴重な機会を頂き誠にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
4月30日	第1回臨時会員会議所会議	米沢市 東京第一ホテル米沢
7月13日	総務委員会	山形市 霞城セントラ22F会議室
10月 3日	組織進化学理事長座談会	高島町 旅館エビスヤ
10月 6日	組織進化学理事長座談会	南陽市 J Cルーム
11月 8日	第9回会員会議所会議	高島町 高島町中央公民館

所 感

今年度、山形ブロック協議会 協働運動実践委員会に出向させていただきました。

委員会の主な活動内容としては、「会員拡大」と、「OMO I Y A R Iプロジェクト」の二つの大きな柱で取り組んで参りました。

会員拡大につきましては、『各LOM30%拡大』を目指してもらうため、拡大セミナーの実施と、メールマガジンを活用した拡大の手法や情報の発信・提供を行って参りました。30%以上拡大出来たLOMもあれば、目標に達成には至らなかったLOMもあり、結果はそれぞれではありましたが、担当副会長や委員長はじめとするスタッフの方々は率先して行動されておりました。そんな中、私はなかなか委員会やLOMに対して協力出来なかったのも、大変申し訳なく感じております。

OMO I Y A R Iプロジェクトにつきましては、2008年からの継続事業でありまして、今回で7回目を迎えます。だいたい地域の方々に浸透しているのが肌で感じられ、とても嬉しく思いました。同じ日に、山形県全ての17LOMが地域の方々と一斉に活動することはとても意義深いものだと思います。大変素晴らしい事業でありますので、可能な限りこれからも続けてくれることを願います。

2015年もこの委員会に続けて出向することとなりました。今年度この委員会で学んだことを活かして、LOMや地域の為、そして自分の為に取り組んで行きたいと思っております。

最後に、今回このような機会を与えてくださいました齋藤理事長に感謝を申し上げ、出向者所感と致します。

出向先活動開催日	内 容	場 所
3月27日(金)	委員会	寒河江市 ホテルアネックス
6月10日(水)	委員会	山形市 山形テルサ
7月 5日(土)	ブロック大会分科会	長井市 長井市民文化会館

所 感

今年度山形ブロック協議会地域連携推進委員会に出向させていただき、昨今様々な自然災害が起こる中、我々JCを含めた地域団体等が独自に動くよりも行政や他の地域団体とどのように連携を図り、災害時に対応していくかというのをこの地域連携推進委員会として考える形を実践してまいりました。ブロック大会でのメインフォーラムも第1部・第2部と対象者を変えての開催でしたが、県内各地の社協や行政にも参加していただき、いい連携を今後も図っていくきっかけづくりが出来たのではないかと思います。中々委員会の方には参加出来ませんでした色々な役割を頂き、メール等でのやり取りをしながら当委員会での活動を行わせていただきました。他団体との連携に携わることが出来ました貴重な機会をこの委員会活動を通していただくことが出来ました。今後もこの地域の安全を我々JCという一つの団体だけでなく地域が連携して、この地域の安全を確保していけるように今年出向させていただいて得た内容を活かしてJC活動にさらに邁進していきたいと思っております。1年間誠にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
4月30日	UNMDGs 認知セミナー(会頭公式訪問)	米沢市 東京第一ホテル
6月11日	委員会	長井市 JCルーム
7月 4日	委員会(ブロック大会事前準備)	長井市 市民文化会館
7月 5日	山形ブロック大会	長井市 市民文化会館

所 感

本年度、私を副委員長として出向させていただきましたありがとうございます。未来選択創造委員会は、憲法論議を通し国の未来像を考える機会とする国民参加型の憲法事業を行い、政策本位の政治選択を推進するために首長選挙の公開討論会の支援を3回、衆議院選挙の公開討論会を開催させていただきました。

憲法事業と憲法セミナーについては、自身も中々意識する機会が少なかった憲法について勉強出来る大変有意義な機会となりました。首長選挙の公開討論会の支援ではe-みらせんを担当させていただきました。インターネットを利用した政策本位による政治選択の推進に携わらせていただきました。11月に入り突然の衆議院解散により、21日の解散から1週間という短い準備期間ではありましたが、委員会メンバーの協力とブロック協議会の役員の皆様や各地LOMの皆様からの多大なるご支援により公開討論会を無事開催させていただくことが出来ました。この公開討論会

を通して、有権者の一人ひとりが主権者としての意識と責任を強く持つことの大切さと、今後も継続して行っていく必要性を感じました。

最後に、出向という貴重な経験をいただき、日本の国民であるということ強く認識出来た一年となりました。齋藤理事長を始め長井青年会議所メンバー皆様のご協力の賜物であります。本当にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月 1日	第1回委員会	高島町 高島中央公民館
2月 4日	スタッフミーティング	米沢市 伝国の杜
2月14日	第2回委員会	新庄市 新庄JＣルーム
2月25日	スタッフミーティング	村山市 金森副委員長宅
2月27日	憲法事業広報担当会議	米沢市 ランドトラスト
3月 5日	第3回委員会	米沢市 伝国の杜
3月22日	第3回会員会議所会議	西川町 西川交流センター「あいべ」
4月12日	小委員会	米沢市 ランドトラスト
4月17日	第5回委員会	上山市 月岡ホテル
5月 2日	行列が出来るほどの憲法教室	米沢市 伝国の杜
6月26日	南陽市市長選挙公開討論会	南陽市 交流プラザ「蔵楽」
7月 5日	ブロック大会ブース出展	長井市 つつじ公園
7月14日	米沢JＣ徳育セミナー	米沢市 東京第一ホテル
9月12日	公開討論会ミーティング	長井市 長井JＣルーム
10月25日	憲法セミナー	南陽市 證誠殿
11月 2日	公開討論会ミーティング	米沢市 米沢JＣルーム
11月 4日	長井市市長選挙公開討論会	長井市 生涯学習プラザ
11月22日	国政選挙公開討論会ミーティング	南陽市 南陽JＣルーム
11月28日	衆議院議員総選挙公開討論会	庄内町 コア・アルザ
11月29日	衆議院議員総選挙公開討論会	高島町 高島中央公民館
12月 1日	衆議院議員総選挙公開討論会	山形市 ビックウィング

アカデミー委員会副委員長 板 垣 洋 一

所 感

今年度アカデミー委員会へ副委員長として出向し、塾長としての担いを頂きましたことを心より感謝致します。また佐藤副会長、小林委員長を始め小笠原幹事、他委員会内各スタッフの皆様にも一年間を共に過ごし、様々な事業を行う上での楽しさを共有できたことを本当に嬉しく思います。

JＣ入会年度が浅いアカデミー生をまとめ、それぞれを事業実施者として導くことは私には非常に困難で苦勞を要しましたが、それ以上に自分が自身のJＣ活動や仕事を展開していく上で大きな原動力となる経験をさせて頂きました。今年度アカデミー委員会出向で得た成長と共に今後のあらゆる活動に精進してまいります。アカデミー委員会の皆様、そしてLOMで支えて頂いた皆様、本当にお世話になりました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2013年12月13日	顔合わせ・会議	山形市 グランドホテル
1月16日	会議	山形市 中央公民館
1月27日	会議	長井市 JＣルーム
2月 1日	開校式・第1回プログラム	高島町 中央公民館
2月 4日	会議	鶴岡市 JＣ会館
2月14日	会議	山辺町 JＣルーム
2月27日	会議	村山市 JＣルーム
3月 5日	会議	鶴岡市 JＣ会館
3月15日	第2回プログラム	山形市 ビッグウィング
4月22日	会議	庄内町 余目第1公民館
5月12日	会議	村山市 JＣルーム
5月18日	第3回プログラム	村山市 農村伝承の家 他
5月22日	会議	山辺町 JＣルーム
6月30日	会議	長井市 交流センターふらり
7月 5日	第4回プログラム	長井市 つつじ公園
8月11日	会議	庄内町 余目第1公民館
9月 6日	会議	酒田市 地区フォーラム内
9月20日	第5回プログラム	庄内町 月の沢温泉北月山荘

10月 9日	会議	辺町 J Cルーム
10月16日	会議	山辺町 J Cルーム
10月25日	第6回プログラム・閉校式	南陽市 熊野大社證誠殿
11月 1日	会議	鶴岡市 J C会館
12月15日	離散会	天童市 栄屋ホテル

アカデミー委員会幹事 小笠原 信 吾

所 感

- 私は、2014年度、アカデミー委員会に幹事として出向いたしました。
私にとり、これは、長井青年会議所入会后、はじめてのブロック出向となります。
- アカデミー委員会は主に入会后数年の新人を対象とする新人研修であると考えられています。私は、長井青年会議所に2013年度に入会したため、他のLOMからの出向委員と同じ視線で参加できました。例えば、第1回プログラムにおいてはJ Cとは何かという、そもそも論を出向委員にたたき込むねらいがあると考えられますが、私も出向幹事ながら係るねらいの対象となり、J Cとは何かというところを叩き込まれました。その他、各プログラムに参加し、各プログラムのねらいとするところを享受いたしました。
また、懇親会等においては、出向委員と語り合い、横のつながりが出来たと思います。
- 一方、運営側として各LOMから出向してきた方々もおります（以下、出向幹事等と表記します）。出向幹事等は、次年度理事長候補者など幾多のJ C経験を積んだ方々です。その出向幹事等の方々とともに委員会を行い、また、事業の設営等を行ったこと等から、J Cとは何か、メンバーとしての在り方、事業の段取りの仕方などをたくさんのノウハウを有形無形の方法で学びました。
- 以上のように、出向幹事として出向することにより、出向委員として出向するよりも前項において述べたような+αをいただけてきました。人集めの苦労なども経験しましたが、今回の出向は私のJ C活動の礎となるだろう点、有益であったと思います。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月16日	委員会	山形市 市民文化会館
1月30日	委員会	長井市 中央会館
2月 1日	第1回プログラム	高畠町 中央公民館
2月 4日	委員会	鶴岡市 鶴岡J C会館
2月14日	委員会	山辺町 山辺J Cルーム
3月15日	第2回プログラム	山形市 ビッグウイング
4月28日	塾会議	長井市 青少年勤労ホーム
5月12日	委員会	村山市 村山青年会議所
5月18日	第3回プログラム	村山市 伝承館
5月22日	委員会	山辺町 山辺J Cルーム
6月 3日	エリア会議	米沢市 置賜総合文化センター
6月16日	エリア会議	南陽市 南陽市民会館
6月23日	エリア会議	高畠町 中央公民館
7月 3日	エリア会議	長井市 市民文化会館
7月 5日	第4回プログラム	長井市 白つつじ公園
9月20日	第5回プログラム	庄内町 北月山荘
10月 9日	委員会	山辺町 山辺J Cルーム
10月25日	第6回プログラム	南陽市 熊野大社
12月15日	離散会	天童市 栄屋ホテル

以 上

アカデミー委員会 井 上 真

所 感

本年度のアカデミー委員会に出向させていただきまして誠にありがとうございました。
また仕事柄土日の参加が難しくせっかく出向させていただいたのにほとんど参加できず誠に申し訳ございませんでした。少ない回数の参加ではありましたがそれでもたくさんの方々と交流することができ、本当によかったと思っております。中でもブロック大会の中で行われましたアカデミー委員生の発表は、すごく心に残るものがありました。
自分たちの地域の良さをたくさんの方々に知っていただくにはどうしたらいいのか、何をどのように伝えたいのか議論したことは良い経験でした。職場以外の方と真剣に考えて発表までの手順を考えるのも初めてでしたし、ましてや見にいっしょしている一般の方にそういった発表をするのも始めてでしたので、段取り不足と緊張でしっかり

発表できるか不安もありました。当日は何とか無事発表も終えることができほっとした次第です。

今後のJC活動でも1回でも多く参加して自分たちの地域をより良くするための行動をしていきたいと思います。本年度はアカデミー委員会に出向させていただき本当にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月 1日	アカデミー委員会	開校式高畠町役場
6月23日	アカデミー委員会	南陽市民文化会館
7月 5日	山形ブロック大会 (アカデミー委員発表)	つつじ公園広場

所 感

アカデミー委員会幹事 鈴木 亜由美

なかなか出席できずに残念でした。長井で行われたブロック大会では、日本酒についてとても勉強になりました。また、他の青年会議所の方と交流ができうれしく思います。一年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
7月5日	第4回プログラム長井市	白つつじ公園

以 上

所 感

アカデミー委員会 小 関 弾

J Cに入会して日の浅いメンバーが一堂に会し、同じプログラムを受けたり、懇親を深めたりすることで、多くの知り合いをつくることのできるまたとない機会を得ることができ、出向を勧めていただいた先輩方に御礼申し上げます。また、プログラムの準備や運営に携わっていただいたメンバーの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。ここで得た経験を存分に活かせるように今後の活動に励んでいきたいと思っています。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月 1日	開校式・第1回プログラム	高畠町 中央公民館
3月15日	第2回プログラム	山形国際交流プラザ
10月25日	閉校式	南陽市 熊野大社證誠殿

所 感

アカデミー委員会 齋 藤 圭 央

私は、2014年度、アカデミー委員会に出向し、長井青年会議所入会后、はじめてのブロック出向となりました。

アカデミー委員会は主に入会后数年の新人を対象とする新人研修であるという認識でしたが、なかなか都合が合わず出席の回数は少なく終わってしまいました。

他LOMのメンバーとの交流も第1回のプログラムのみで、非常に残念でしたが、同じ塾の塾生が第4回のプログラムであるブロック大会長井大会に参加いただき、たくさんの方と話が出来た事は大変嬉しく思います。

アカデミーで得た人脈から様々な方々との繋がりを実感でき、今後のJC運動に活かしていければと思います。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月 1日	第1回プログラム	高畠町 中央公民館
6月16日	エリア会議	南陽市 南陽市民会館
7月 5日	第4回プログラム	長井市 白つつじ公園

以 上

2014年度 貸借対照表 (案)

2014年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	721,314	218,259	503,055
未収金	36,000	0	36,000
未収会費	436,000	336,000	100,000
流動資産合計	1,193,314	554,259	639,055
2. 固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	864,958	1,814,617	-949,659
特別積立金	87,414	87,393	21
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	1,452,375	2,402,013	-949,638
固定資産合計	1,452,375	2,402,013	-949,638
資産合計	2,645,689	2,956,272	-310,583
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	249,254	0	249,254
流動負債合計	249,254	0	249,254
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	249,254	0	249,254
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,396,435	2,770,387	-373,952
(うち特定資産への充当額)	(1,452,375)	(2,161,599)	-(709,224)
正味財産合計	2,396,435	2,770,387	-373,952
負債及び正味財産合計	2,645,689	2,770,387	-124,698

2014年度 貸借対照表内訳表 (案)

2014年12月31日現在

(単位: 円)

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	721,314	0			721,314
未収金	0	0	36,000		36,000
未収会費	225,000	0	211,000		436,000
流動資産合計	946,314	0	247,000		1,193,314
2. 固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	864,958	0	0		864,958
特別積立金	87,414	0	0		87,414
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
固定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
資産合計	2,398,689	0	247,000		2,645,689
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	249,254	0	0		249,254
流動負債合計	249,254	0	0		249,254
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	249,254	0	0		249,254
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	2,396,435	0			2,396,435
(うち特定資産への充当額)	(1,452,375)	(0)	(0)		(1,452,375)
正味財産合計	2,396,435	0	0		2,396,435
負債及び正味財産合計	2,645,689	0	0		2,645,689

2014年度 正味財産増減計算書 決算(案)

2014年1月4日から2014年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	50,000	240,000	△ 190,000	
受取入会金	50,000	240,000	△ 190,000	¥10,000×5名(新規会員数)
受取会費	2,951,500	3,383,000	△ 431,500	
正会員会費	2,791,500	3,303,000	△ 511,500	¥90,000×26名(市役所会員を除く年初会員数)+¥85,500×3名(市役所会員)+年度内入会者分¥45,000×3名(飯澤・川合・中川)+¥52,500×1名(飯澤)+7,500×1名(船山)
特別会員会費	120,000	40,000	80,000	¥20,000×6名(卒業者より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	40,000	102,500	△ 62,500	
登録料収益	40,000	68,000	△ 28,000	J C 杯中学野球大会(春季)登録料：¥40,000 …一校参加できず
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	34,500	△ 34,500	
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	317,970	590,000	△ 272,030	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	140,000	570,000	△ 430,000	講演会長井市まちづくり青少年育成市民会議より： ¥110,000、講演会長井市 P T A 連合会より：¥30,000
地方公共団体助成金	20,000	20,000	0	フラワーボランティア謝礼金：¥20,000
民間助成金	157,970	0	157,970	寺子屋子どもゆめ基金：¥157,970
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	1,261,554	859,860	401,694	
受取寄付金	1,261,554	859,860	401,694	夢灯企業協賛金：¥783,000、ブロック大会協賛金 ¥470,000、JCカード還元金¥8,554
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	545	583	△ 38	
受取利息収益	545	583	△ 38	
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	4,621,569	5,175,943	△ 554,374	
(2)経常費用				
事業費	4,092,839	3,947,098	145,741	
地域開発事業	2,129,402	2,116,949	12,453	
青少年育成事業	892,676	972,400	△ 79,724	
公益事業共通	272,878	267,462	5,416	
内部例会及び会員交流系事業	143,332	240,577	△ 97,245	
広報系事業	85,412	282,355	△ 196,943	
その他組織運営に関する事業	569,139	67,355	501,784	
収益事業等共通	0	0	0	
管理費	1,088,567	1,042,960	45,607	実数合計：¥1,977,938
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	26,750	33,400	△ 6,650	香典・弔電・花代：¥26,750
会議費	19,080	12,810	6,270	1月総会会場使用料：¥9,450、2月理事会会場使用料 ¥：¥3,150、12月例会会場費：¥6,480
旅費交通費	0	0	0	

通信運搬費	18,185	18,355	△ 170	郵送料、切手代、ゆうメール：¥18,185
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	48,080	35,510	12,570	スローガン看板：¥20,000、会員ネームプレート・バッジ：¥23,100、コピー代・ゴム印・定款規程訂正シール：¥4,980
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	310,077	315,000	△ 4,923	手帳：¥210,000、年賀はがき：¥33,339、封筒印刷：¥15,309、総会資料：¥51,429
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	20,000	0	JCルームの賃借料：¥20,000×12ヶ月 ※案分
保険料	9,300	10,500	△ 1,200	ボランティア活動保険料：¥8100、追加ボランティア保険活動保険料：¥1,200(300円×4名)
委託費	134,552	162,855	△ 28,303	長井商工会議所事務員¥432,000(1ヶ月¥35,000×12+消費税) ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥99,045 ※案分
租税公課	600	700	△ 100	膳代：¥600
支払負担金	354,187	334,350	19,837	JCI会費¥39,690：¥1,134×30名(年初会員数) + ¥1,134×5名(新規会員数) 日本JC負担金¥192,500：¥30,000(基本額) + ¥5,000×30名(年初会員数) + ¥2,500×5名(新規会員数) 地区協議会負担金¥50,000：¥5,000(基本金) + ¥1,500×30名(年初会員数) + ¥10,000×0名(ゼミナール委員出向者数) ブロック協議会負担金¥185,000：¥10,000(基本金) + ¥5,000×30名(年初会員数) + ¥5,000×5名(アカデミー委員出向者数) 国際協力資金¥63,875：¥1,825×30名(年初会員数) + ¥1,825×5名(新規会員数) 日本JC出向者負担金¥0：0 We Believe購読料¥96,000：¥3,000×30名(年初会員数) + ¥1,250×5名(新規会員数) - ¥250(退会者1名) ※案分
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	110,918	83,560	27,358	周年会議所お祝い 関係団体年会費 電報 他
雑費	36,838	15,920	20,918	振込手数料 祈願初穂料 JCバッチ・ネーム 他
経常費用計	5,181,406	4,990,058	191,348	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 559,837	185,885	△ 745,722	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 559,837	185,885	△ 745,722	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 559,837	185,885	△ 745,722	
一般正味財産期首残高	2,956,272	2,770,387	185,885	
一般正味財産期末残高	2,396,435	2,956,272	△ 559,837	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
.....	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,396,435	2,956,272	△ 559,837	

2014年度正味財産増減計算書(事業区分単位) 決算内訳表(案)

2014年1月4日から2014年12月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 地域開発事業	公2 青少年育成事業	小計	他1 内部関係及び 会員交流系事業	他2 広根系事業	他3 その他組織運営 に関する事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	50,000
受取入会金	0	50,000	50,000	0	0	0	0	0	50,000
受取会費	0	1,073,787	1,073,787	0	0	0	797,883	797,883	1,079,830
正会員会費	0	983,787	983,787	0	0	0	797,883	797,883	999,830
特別会員会費	0	60,000	60,000	0	0	0	0	0	120,000
賛助会員会費	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	40,000
その他会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0	40,000
登録料収益	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0	40,000
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	20,000	297,970	317,970	0	0	0	0	0	317,970
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民間補助金	0	140,000	140,000	0	0	0	0	0	140,000
地方公共団体助成金	20,000	0	20,000	0	0	0	0	0	20,000
民間助成金	0	157,970	157,970	0	0	0	0	0	157,970
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	1,253,000	0	1,253,000	0	0	0	0	0	1,261,554
受取寄付金	1,253,000	0	1,253,000	0	0	0	8,554	8,554	1,261,554
受取寄付金控除額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	362	362	0	0	0	0	0	362
雑収益	0	362	362	0	0	0	0	0	362
受取利息収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	1,273,000	337,970	1,211,149	2,735,119	0	0	797,883	797,883	1,088,567
(2) 経常費用									
事業費	2,129,402	892,676	2,728,788	3,294,956	143,332	85,412	563,139	563,139	4,092,839
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	22,800	0	0	0	0	22,800
会議費	11,880	0	11,880	5,400	0	0	104,482	104,482	121,762
旅費交通費	0	70,580	70,580	0	0	0	0	0	70,580
通信運搬費	7,708	13,956	21,664	0	4,240	0	0	4,240	25,904
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	317,240	163,209	480,449	0	7,050	88,951	0	96,001	576,450
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	567,320	114,710	682,030	10,320	5,970	14,670	0	30,960	712,990
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

賃借料	92,880	101,390	0	194,270	24,570	20,000	57,904	0	102,474	0	296,744
保険料	0	10,500	0	10,500	0	0	0	0	0	0	10,500
諸謝金	404,797	285,903	0	683,700	0	0	22,274	0	22,274	0	715,974
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	272,878	0	272,878	8,085	0	90,000	0	98,085	0	370,963
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	604,640	116,114	0	720,754	67,961	48,152	48,152	0	164,265	0	885,019
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	122,937	133,114	0	136,251	4,196	0	142,706	0	146,902	0	283,153
管理費							1,088,567	0	1,088,567	0	1,088,567
役員報酬							0	0	0	0	0
給料手当							0	0	0	0	0
退職給付費用							0	0	0	0	0
福利厚生費							26,750	0	26,750	0	26,750
会議費							19,080	0	19,080	0	19,080
旅費交通費							18,185	0	18,185	0	18,185
通信運搬費							0	0	0	0	0
減価償却費							0	0	0	0	0
消耗什器備品費							48,080	0	48,080	0	48,080
消耗品費							0	0	0	0	0
修繕費							31,077	0	31,077	0	31,077
印刷製本費							0	0	0	0	0
燃料費							0	0	0	0	0
光熱水料費							0	0	0	0	0
賃借料							20,000	0	20,000	0	20,000
保険料							9,300	0	9,300	0	9,300
委託費							134,552	0	134,552	0	134,552
租税公課							600	0	600	0	600
支払負担金							354,187	0	354,187	0	354,187
支払寄付金							0	0	0	0	0
支払利息							0	0	0	0	0
交際費							110,918	0	110,918	0	110,918
雑費							36,838	0	36,838	0	36,838
経常費用計	2,129,402	892,676	272,878	3,294,956	143,332	85,412	569,139	797,883	797,883	1,088,567	5,181,406
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 856,402	△ 554,706	851,271	△ 559,837	△ 143,332	△ 85,412	△ 569,139	797,883	797,883	0	△ 559,837
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 856,402	△ 554,706	851,271	△ 559,837	△ 143,332	△ 85,412	△ 569,139	797,883	797,883	0	△ 559,837
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 856,402	△ 554,706	851,271	△ 559,837	△ 143,332	△ 85,412	△ 569,139	797,883	797,883	0	△ 559,837
一般正味財産前期末残高	0	0	2,966,272	2,966,272	0	0	0	0	0	0	2,966,272
一般正味財産前期末残高	△ 856,402	△ 554,706	3,807,543	2,396,435	△ 143,332	△ 85,412	△ 669,139	797,883	797,883	0	2,396,435
II 指定正味財産増減の部											
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産前期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産前期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産前期末残高	△ 856,402	△ 554,706	3,807,543	2,396,435	△ 143,332	△ 85,412	△ 669,139	797,883	797,883	0	2,396,435

2014年度 財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

- (1) 価証券の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当無し。
- (4) 引当金の計上基準
該当無し。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
該当無し。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	554,259	491,945		1,193,314
小 計	554,259	491,945		1,193,314
特定資産				
事業実施積立金	1,814,617	50,341	△1,000,000	864,958
特別積立金	87,393	21	0	87,414
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	2,402,013	50,362	0	1,452,375
合 計	2,956,272	542,286	△1,000,000	2,645,689

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	1,193,314		1,193,314	249,254
小 計	1,193,314	0	1,193,314	249,254
特定資産				
事業実施積立金	864,958	0	864,958	0
特別積立金	87,414	0	87,414	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	1,452,375	0	1,452,375	0
合 計	2,645,689	0	2,645,689	249,254

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収会費	436,000	0	436,000
合 計	436,000	0	436,000

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金 フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000	0	
民間補助金 子供ゆめ基金 助成金	独立行政法人国立青 少年教育振興機構	0	157,970	157,970	0	
市民文化会館サポート 事業補助金	長井市まちづく り青少年育成市 民会議		110,000	110,000	0	
長井市PTA連合会 補助金	長井市PTA連 合会	0	30,000	30,000	0	
合 計		0	317,970	317,970	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

16. 重要な後発事象

該当無し。

17. その他

該当無し。

2014年度 附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

2014年度 財産目録(案)

2014年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場 所・物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管		0
	預金	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583		6
		普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707		721,255
		普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960		18
		普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318		35
	未収金	預り金一部		36,000
	未収会費	大滝和春君2010年度分 (¥116,000) 大滝和春君2011年度分 (¥109,000) 菅原純一君2013年度分 (¥111,000) 菅原純一君2014年度分 (¥100,000)		436,000
流動資産合計				1,193,314
(固定資産)				
特定資産				
	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	864,958
	特別積立金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	87,414
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道(株)の有価証券で、 地域振興を目的とする。	500,000
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。	3
固定資産合計				1,452,375
資産合計				2,645,689
(流動負債)				
	預り金残金		2015年1月に処理 (返金)	236,000
	繰入事業費未申請		2015年1月に処理	13,254
流動負債合計				249,254
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				249,254
正味財産				2,396,435

2014年度 委員会別事業費収支予算書 決算(案)

(単位：円)

事業名称	事業区分	当 年 度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
ひとづくり委員会				
第23回 J C 杯中学野球大会	公2	102,794	40,000	62,794
ながい寺子屋	公2	206,596	157,970	48,626
第23回 J C 杯中学野球大会 1 年生大会	公2	41,157	0	41,157
地域教育力向上計画	公2	346,015	140,000	243,000
小計		696,562	337,970	358,592
まちづくり委員会				
地域活性化事業「夢灯」	公1	852,414	783,000	69,414
地域防災セミナー	他1	9,766	0	9,766
公開討論会	公1	34,228	0	34,228
長井駅周辺整備事業	公1	10,806	0	10,806
ふるさとOMOIYARIプロジェクトIN長井	公1	59,850	20,000	39,850
小計		967,064	803,000	164,064
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	17,260	0	17,260
ASPAC 出展ブース	他3	193,519	0	193,519
卒業式	他1	32,520	0	32,520
置賜 4 J C 合同例会	他1	8,085	0	8,085
小計		251,384	0	251,384
未来創造会議				
会員拡大の主務	他3	11,000	0	11,000
長井 J C アカデミー	他3	13,254	0	13,254
人材育成セミナー	公1	0	0	0
小計		24,254	0	24,254
総務局				
次年度理事長予定者所信発表例会	他1	5,000	0	5,000
小計		5,000	0	5,000
ブロック大会実行委員会				
ブロック大会長井大会	公1	975,990	470,000	505,990
ブロック大会長井大会大懇親会	他1	283,214		283,214
小計		1,259,204	470,000	789,204
合 計		3,203,468	1,610,970	1,592,498

※事業区分について、公1=地域開発事業、公2=青少年育成事業、他1=内部例会及び会員交流系事業、他2=広報系事業、他3=その他組織運営に関する事業

監 査 報 告 書

公益社団法人長井青年会議所

理事長 齋藤 繁喜 殿

2014年1月1日から2014年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係種類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の終始状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

2015年 / 月 5日

公益社団法人 長井青年会議所

監事

板垣 洋一 

備 品 目 録

〔2014年度12月31日現在〕

1、木製書（89年度卒業記念寄贈）	1台
2、演題（90年度卒業記念寄贈）	1台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1台
4、ネームプレートキャリーバック（91年度卒業記念寄贈）	1台
5、スチール書庫	3台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1額
7、ゴング（米沢J C寄贈）	1式
8、野球ユニフォーム	10着
9、J C法被	26着
10、J C綱領版（新潟J C寄贈）	1式
11、腕章	19本
12、CD（国家、J Cソング他）	1枚
13、J Cジャンパー	25着
14、入会認定書	1額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）V o l . 1 ～ 3	1式
16、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1張
17、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1台
18、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1枚
19、プレジデントリーフ（98年度卒業記念寄贈）	1式
20、国旗、J C旗（99年度卒業記念寄贈）	1式
21、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1台
22、P Cカード	1枚
23、I Cレコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1台
24、プレジデントリーフ J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
25、ハンマー J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1台
26、J C旗J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
27、J Cゴング J C I マーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1台
28、デジタルビデオ	1台
29、ホワイトボード	1台
30、テント	3貼



1月 新春賀詞交歓会



1月 京都会議



2月 地域防災セミナー



5月 第23回 J C 杯中学野球大会(春季)



5月 長井駅周辺整備事業



5月 山形ブロック大会長井大会決起会



6月 みんなで灯そう「夢ゆめあかり灯」
2014つむぎあい〜



6月 ふるさと OMOIYARI
プロジェクト IN 長井



7月 山形ブロック大会会長井大会



7月 サマーカンファレンス



8月 ながい寺子屋



8月 納涼パーティー



9月 地域教育力向上計画 講演会



9月 次年度理事長所信発表例会



10月 全国会員大会



10月 異業種交流会



11月 長井市長選挙公開討論会



11月 第2回JCIアカデミー



11月 卒業式



12月 クリスマスパーティ

〒993-0011 山形県長井市船町北6番27号 [長井商工会議所内] TEL.0238-84-5394 FAX.0238-88-3778 <http://nagai-ic.jp/> E-mail : info@nagai-ic.jp